

八十日日波有禮止。今日乎生日乃足日止齋定米氏祭主某我。弱肩仁
 太手繼取掛天。持齋麻波里持清麻波里乍母。此小床乎。伊豆乃眞屋登
 掃支清米豆(文武農工商)乃祖神止坐寸。某乃大神乎請招奉里令座奉
 里天。稱辭竟奉良久波。遠津神代乃昔。大神達乃某乃業乎。創米賜比起
 志賜比豆。天下四方乃國內仁。所有留公民等諸乎。福閉給閉留仁因利
 天之。何何乃禍乎免禮。何何乃利益乎得留事乎喜美忝美氏。御祭仕奉
 留狀乎。哀禮止見行波之聞食之天。今母行前母。高伎貴伎御恩賴乎幸
 比賜比。武支茂之支大御稜威乎爲垂給比天。今日乃御饗止進留海河
 山野乃種種乃膳物乎母。平久安久聞食受賜比氏。某等我家爾母身爾
 母。禍事不爲在。內爾毛外爾母障無久。日爾異爾勞支勤牟留。何何能業
 仁悟深久之天。爲志止爲志。計止計留物仁事仁。悉久幸加良志米賜閉
 止。鹿自物膝折伏世。鷓自物頸根突拔天。恐美恐美母白寸。

○初午、甲子、庚申、惠美須講等の諸祭

〔語例〕

大神乃廣支厚支大御德乎。慕比奉里乞祈奉留。清支赤支眞心乎。神隨
 毛。米久志刀所思坐氏。大神の廣き厚き御功德を慕ひ申して乞ひねぎ奉る。清

き赤き某が誠の心を神の御心のまゝに可愛しいと思ひましてとなり。

姓名我。手肱仁水沫搔垂里。向股仁泥搔寄世氏。取作留五穀乎始米。

前に説けり。

作里刀作留物乎。惡風荒水仁遇志米受。八束穗乃茂穗仁。成幸比賜比
 氏。前に説けり。

産業乃助仁刀飼閉留。蠶養乃業仁毛。幸比給比氏。家業の助けにもと思

ひて飼へる。養蠶の業にも、幸を下し賜へとなり。

家乃業乎。功美勞介留隨仁。月仁増志日仁進美。彌年年仁繁昌由留事
 波。家業を勉強するにつけて、月に日に年々に家門の繁昌することはとなり。

某我。大神乃御心刀。清支赤支眞心以氏。世乃便宜乎專刀志氏。某が、大

神の御心の如き清き赤き眞心もて世の中の便宜ならむことを専らとしてとなり。

貪留事无久。欺久事无久。偽留事无久。曲留事无久。少毛私心乎置受。

聞えたるが如し。

天下乃公民乃。食比氏活久倍支五穀乎始米刀爲氏。天下の總べての人

民が、食べて活くべき五穀を始めとしてとなり。

養蠶牛馬萬乃業仁至迄。落留事无久漏留隈无久。御靈幸給比。守惠給

布我故仁。養蠶や、牛馬を飼ふこと、及び萬づの業に至るまで、少しも漏れ落つる所

なく、御靈徳を幸ひ給ひ、恵み給ふが故にとなり。

汝命波。父大神乃詔乃隨仁。世乃荒振神等乎言平和志氏。大國主刀成

給比。汝命は、御父素佐之男命の仰せのまゝに、世に荒ぶる邪神等を、詞にて諭し、武力

にて平げて、大國主宰と成り給ひてとなり。

少彦名命刀。同心戮力座。國土乎經營美。大汝命は、少彦名命と、心を同じ

くし、力を戮せて、國土を經營し給ひてとなり。

顯見蒼生乃爲。畜産乃爲仁。病乎治留方乎定米給比。顯見蒼生とは、この

世に現存する人民をいふ。さて、人民の爲に、又は、人民の飼へる牛馬などの爲に、病を

治むる方法を定め給ひてとなり。

又藥乃法。禁厭乃術乎毛始米給比氏。聞えたるが如し

大造奈留功績乎樹給比。大なる御功徳を立て給ひてとなり。

天神天祖乃神勅乎畏美坐志氏。現事乎避奉給比。大國主神は、高皇産靈

神、天照大御神の勅命を畏み承けまして、此の世の御政事(現事)を、避け離れて、天孫に

譲り申し給ひてとなり。

幽事乎所知食牟刀。百不足八十隈手仁隱給比。かくて、大國主神は、目に

見えぬ幽冥の政を治めむとて、八十隈手とて、あまたの道のくまゝを経て行く、幽

世に隠れ給ひてとなり。百不足は、八十の枕辭なり。

出雲乃八百丹杵築宮乎。天日隅宮刀定米氏鎮給。出雲國の、杵築の、大社

を、潛み隠るゝ宮、天日隅宮として、鎮まり給ふことなり。八百丹は、杵築の枕詞なり。

神代毛今毛變事无久。守惠幸給留留。神功乎仰支尊美奉氏。大國主神

の、神代も今の世も變ることなく、皇室、及び國家を守り、恵み幸へ給へる御功徳を、仰

今日までも、甲子の日を、御祭日と定めてとなり。

伊豆乃眞屋仁。注連引延木綿取垂氏。忌み清めたる家伊豆乃眞屋に、注連を引き延へ、木綿今は紙を切りて用ふを取りかけしだらせてとなり。

朝夕仁勤美勞久商業仁御靈幸賜比。御靈幸賜比とは、御靈徳を蒙らしめ賜へといふ意なり。

天乃磐座乎離禮。天乃八重雲乎。伊豆乃千別仁千別支氏。天の磐座とは、皇孫命の天上にて就き給ひし高御座をいふ。その高御座を離れて、天に幾重も棚

ひきたる雲路を、殿めしき威勢もて、道を別け別けて、天降り給へるをいふ。

汝命波。天之八衢爾立志天。皇孫命乃御先仕奉里。猿田彦命の、天之八衢

(空中の道俣なり)に立ちて、皇孫命の天降り給へる、御先驅を仕へ奉り給ひてとなり。

神風乃伊勢乃國。析鈴五十鈴乃川上仁鎮里座氏。天照大御神乎待受

給比。猿田彦神の、早く伊勢の五十鈴川のほとりに住み居て、後に、天照大御神の祀

られ給ふを、待ち受け給ひしとなり。語の解は、皆上に見えたり。

天甕和仁齋籠里。終夜仕奉良久。天甕和とは、神酒を作る瓶をいふ。さて神

酒を造り、その他の神饌を作る爲に、祭の前夜より、一室に忌み籠りて、夜通しに支度

するをいへるなり。

〔作例〕

初午祭祝詞

(杉通舎諱辭集)

掛卷母畏支稻荷大神乃御前仁。稱辭竟奉良久。宇迦能御魂命止。御名波申志。山城國紀伊郡三乃峰仁鎮坐須大神乃分御靈乎。此乃處仁招奉里齋奉里。毎年乃二月初午日乎。生日乃足日乃吉日止定米。乃美乃禮代止獻留物波。秋乃垂穗乃八握穗乎。忌火以炊介留。宇豆乃大御饌乎。天乃平迦仁。高山那須盛双反。和稻乎以清麻波里。荒稻乎以由万波里。釀米。宇豆乃大御酒乎。天甕和爾深淵如。寸滿湛反。甘菜辛菜。波多都物種種乎置足波志。御祭仕奉留狀乎。宇麻良仁聞食享給比。咎過在良牟乎婆。神直日大直日仁。見直聞直坐。八十禍神乃枉事不令在。皇神乃。皇孫命仁依給反留。瑞穗乃稻乎賜里。飢留事无久凍由留事无久命長久。諸乃幸比乎令満足給比。萬乃寶乎令得給比。

夜守日守仁守里給比。幸波反給反止。畏美畏美母。稱辭竟奉久止白須。

甲子祭祀詞

(杉迺舍諄辭集)

懸卷母恐支。百不足八十限手仁隱呂比坐互。幽冥事所知食寸大己貴。大神乃珍乃御前仁。畏美畏美母白左久。千早振神代乃昔豐葦原中國。如水母浮漂反留時仁。五百箇鉏神鉏所取互。國土經營堅米給比之。故仁。國造大穴持命止申之。又如狹蠅惡神。如螢火光神等乎。神攘仁攘比平介給比志。御稜威武久坐志。故仁。葦原志許男神止申志。廣矛乎御杖止突加志互。天下巡給比志仁依互。八千矛神止稱反。國等悉言向互。大國主神止成里。此乃顯見蒼生乃爲仁。種種乃法乎教。閉授介給反。顯國玉神止稱反。其乃所知食志現事顯露事乎。天神乃勅乃隨仁。皇御孫命仁禪給比互。吾作里志國波。御孫命仁奉禮里。但八雲立出雲國波。吾鎮坐須國。青垣山四方仁迴良志。玉置互守留止宣給比。千尋乃栲繩。百結結八十結結下互。柱波高久太久。板波廣久厚久。造禮留天乃日隅。

宮。八百丹杵築大社仁。隱里鎮里給比支。故其乃廣支厚支御恩賴乎。綾仁貴久。文仁畏久。敬比忝那美奉里互。今日乃生日乃足日乎。吉日止定米互。御酒御食。種種乃物乎。御前仁置足波志互。稱辭竟奉良久乎。平介久安久聞食互。命母長久。病志支事無久。諸乃福乎滿足志米給比。子孫乃八十連續爾至万天爾。堅石仁常石仁。令榮給比。咎過有良牟乎。婆見直聞直坐互。禍物乃枉事不令在。夜乃守日乃守仁。守里幸波閉惠美給反止。畏美畏美母白須。

祭少彥名神祝詞

(杉乃舍諄辭集)

掛卷母畏支。少彥名大神乃御前仁。稱辭竟奉良久。高天乃神王御產巢日大神乃御子。一千五百座坐志中仁。御祖命乃御指間與里漏坐世留御子止坐志互。彼乃日乃入留諸乃國等。造堅米給比。雀乃羽乎衣止志。天之羅摩船仁乘里。此乃日出留國仁歸來給比。所造天下大穴貴命止。兄弟止成里。心合世力。戮世互。大八島國乎。蘆菅殖互造堅米。又顯見蒼

生及畜產乃爲仁。藥法咒術乃方乎定給比。又人皆乃給比。惠良具酒乎造里。初米給比。伯考國乃粟島仁。至給比。粟莖仁乘里。再比常世鄉仁。渡里給比。其乃國國乃土毛乎。千船八千船仁積載世。此乃皇國仁令獻貢給比。大凡内外乃萬國々仁。盡仁御恩賴乎。令蒙給布。高支貴支御德乎。畏美忝奈美奉里。今日乃生日乃足日乎。吉日止定米。御酒御食。種種物乎。御前仁捧奉里。稱辭竟奉留狀乎。平久安久聞食志。守里幸波反給閉止。畏美畏美母申須。

惠美須講祝詞

祝詞全書

挂卷母畏伎。都味羽八重事代主命乃大前仁。恐美恐美母白久。皇睦神漏岐神漏美命乎以氏。皇御孫命者。豐葦原乃瑞穗國乎。安國止平久所知食刀。事依志氏天降志賜布時爾。大神波。出雲國三穗之崎爾。鳥遊魚取遠樂美座之乎。立處爾。葦原乃中國乎。皇御孫命仁奉里座。氏父大神刀共爾事避座之波。最毛畏久。君親爾忠誠奈留道乎。顯之座之。廣支厚

支神德乎。仰支尊美。貴毛賤毛。家家乃神棚爾齋奉禮留乎。十月二十日波之母。惠美須祭。登稱奉里。市人等乃。御祭仕奉良久乎。平爾安爾聞食。氏商乃業乎。守給比。清伎明伎真心仁。家乎毛身乎。毛令治賜比。氏。樛乃木乃彌嗣嗣仁。絕留事無久。墮留事无久。富榮仕奉良之米給閉刀。今日乃朝日乃豐榮登爾。稱辭竟奉良久刀。恐美恐美毛白須。

庚申祭祝詞

祝詞全書

掛卷毛畏支。猿田彦大神乃大前乎。慎美畏美畏美母白久。高天原仁神留坐皇睦神漏岐神漏美乃命乎以。皇御孫命仁。豐葦原乃水穗國乎。安國刀平介久所知食刀。言依之奉里。天乃磐座乎。離知。天乃八重雲乎。伊豆乃千別仁千別。天降之奉里之時。天乃八衢仁迎奉里。日向乃高千穗乃串觸峯仁。啓行奉里給比。大神波。神風乃伊勢乃狹長田五十鈴乃川上仁鎮里座。天照大御神乎待受給比。諸乃荒振邪神乎拂却天。上波皇美麻命乎齋奉。下波青人艸乎守惠美氏導支誘比給反留

神功乎。萬世乃今仁至迄。仰支尊美奉留加故仁。今日乃生日乃足日乃夕日乃降與里。五百枝賢木仁木綿取垂神繩引延兵。是乃小床乎。伊豆乃真屋刀齋麻波利清米。由紀乃御酒。御饌種種乃物乎貯反。天襲和仁齋許母里。終夜仕奉良久乎。平仁安仁聞食。諸乃禍事乎。祓比給比兵。惟神直支正支大道仁。誘比導支座。太支雄雄之支功乎立之米給反止。畏美畏美母。稱辭竟奉良久登白須。

山神祭祀詞

(祭文私稿)

掛卷久母畏伎。大山津見大神。正鹿山津見大神。於騰山津見大神。奧山津見大神。闇山津見大神。志藝山津見大神。羽山津見大神。原山津見大神。戸山津見大神。止御名波申志天。大神等乃大前仁。恐美恐美母白左久。明津御神止大八洲國知食須天皇乃。神奈我良。天乃御蔭日乃御蔭止。隱座左武大宮乎始天。天津社國津社仁。造仕奉良武大殿乃。柱桁梁及大河路仁架濟左武橋桁。大海原仁浮反武大船小船。天下乃公民諸

我住止住武辨伎家造乃用材。又窳木乃類仁至迄。皇神等乃依給留留恩賴乎。重美尊美。於牟賀之美奉利天。今日奈毛御祭仕奉良久止。宇豆乃御酒。御食種種乃幣帛乎。捧奉利天。拜美仕奉良久乎。相宇豆那比給比天。久久能智大神。大屋毘古大神等止。御力乎合世坐志。神議議給比。今毛去前毛。彌益益仁。守惠乃比幸給反止。恐美恐美母白須。

四、祭典中の諸行事祝詞
○各種の祓除、昇降神開閉扉等

〔語例〕

この類の祝詞は、何れも簡短にして、文辭も、大抵一致せるものなれば、語例を掲げず。直ちに、作例のみを示すべし。

〔作例〕

祓詞(諸祭ノ祓式ニ用フベシ)

(神職必携)

掛卷母畏伎。神伊邪那岐命。筑紫乃日向乃橘乃小戸乃檍原仁。身禊祓

給比志時仁。成坐世留祓所乃神等。今日乃祭乃神事仕奉留刀爲天。此乃齋場乃集侍禮留神職及諸人我。過犯介牟雜雜乃罪穢在良武乎婆。海川仁持出天遠支涯仁。伊吹放知佐須良比失給比天。神事清久麗志久仕奉良志米給方止白須事乎。馬耳乃彌高仁所聞食世刀。畏美畏美毛白須。

同上

(孔子祭典會々報)

落多藝津速川乃瀨仁座須瀨織津比咩大神。荒潮乃潮乃八百會爾座須速秋津比咩大神。氣吹戶仁座須氣吹戶主大神。根乃國底乃國爾座須速佐須良比咩大神。四柱乃祓戶乃大神等乃神靈乎。乞祈美奉里豆畏美畏美母白左久。今日波志母。是乃齋場爾志豆。何々乃祭典爲之行布爾因里豆。式乃隨隨祓乃神式仕奉良久乎。聞食豆。祭官乎始米豆。關係留人人諸賀身仁觸禮牽里豆在良武罪穢乎。瀧津速瀨乃淀美無久。天津菅曾乃須賀須賀之久。麻乃朝風佐夜佐夜爾。祓比給比清米給比

豆。祭乃本末過良受亂禮受。仕竟之米給閉刀。畏美畏美毛白須。

神馬祓詞

(祭文私稿)

掛卷久母阿夜仁畏伎。祓戶乃大神等。今日乃御祭仁仕奉留御馬乃。右往伎。左往伎。往觸禮介牟穢乎。祓給比清給比天。忌忌志伎事無久。前乃足爪後乃足爪。上津磐根仁踏堅米。下津磐根仁踏凝良之。健久逸久仕奉良之米給反止。恐美恐美母白須。

輿丁祓詞

(祭文私稿)

掛卷久母畏伎。皇祖神伊邪那伎命乃。筑紫乃日向乃橘乃小戶乃阿波岐原仁。御身乃禊爲給比之時仁阿禮麻世留。祓戶乃大神等。今日乃御祭仁奉仕留輿丁乃諸人等我。過犯之氣牟諸乃惡事罪穢乎。祓給比清給比天。御祭麗之久仕奉良之米給反止。恐美恐美母白須。

内外乃汚穢乎清牟流詞

(杉乃舍諱辭集)

掛卷畏支天爾坐寸神。國爾坐神乃。惠給比養給布。顯見蒼人草波毛。天

乃下爾所在萬乃物乃中仁。勝里優禮。其乃靈波。即其乃天津神乃。授給比與反給反留御賜物止。清久直久美支。奇魂久志備仁。幸魂幸布人乃。本津主仁在禮婆。傷留事無久。損布事無久。放左受汚左受。治米留米齋比鎮米。目仁波諸乃下淨乎見。耳爾波諸乃不淨乎聞伎。鼻仁波諸乃不淨乎嗅伎。口爾波諸乃不淨乎舐米。且諸乃不淨乎言比。身仁波諸不淨乎觸禮。心仁波諸乃不淨乎思布刀母。速介久。直良仁美良爾。清良仁明良仁。祓清米天波。諸乃事物波。形仁影乃添布事乃如久。花乃後仁菓生留事乃如久。吉事仁八福從比。凶事仁波禍從布。神都理乃隨仁。此乃身此乃心盡仁。清久明久直久正久。我靈波。雖畏天地乃大神等止同根種。萬物乃靈乃物止平介久安介久。天神。國神相宇豆奈比。相幸波閉給比。請願久事共。心乃隨仁成就給比。惠給波武物會止。大神等乃授給比。傳給閉留可美道。可美御法。天津宮事以天璽乃神寶奈須。上无支奇靈支。天津祝詞乃太祝詞事。言祓比祈支禱里奉良久止白寸。

一七六

右倣六根清淨祓之意以古意古語試作之者也

降神祝詞

臨時に神座を設くる時に用ふべし。昇神祝詞も同じ。

掛卷母畏支。何何神等。此神牀仁來格座之坐世刀。畏美畏美母白須。

同上

(祭文箋)

掛卷母恐伎。吾大神乎。此神床乎。伊豆迺眞屋登。忌比鎮米兵。招奉里坐奉良久衰。平介久安介久聞之兵。天翔神集比仁集比坐世止。畏美畏美母白。

昇神祝詞

(同上)

此神床仁招奉里座世奉留。某神等。本津御座仁。還里鎮座之坐世刀。畏美畏美母白須。

同上

(同上)

此神床爾神留里坐之天。御靈幸比給閉留吾大神。本津宮居爾還里鎮里坐世登。畏美畏美毛白。

祝詞作文便覽 語例作例の四

開扉祝詞

(祝詞作文集成)

掛卷母恐支。某大神乃大前爾。某恐美恐美母白左久。是與利。今年乃春乃大御祭。或八秋乃御祭。又八年仁一度乃大御祭。或八年始乃御祭。仕奉留仁依利互。恐美恐美母。大御扉開奉良久乎。相宇豆那比給比互。手乃躓比足乃躓比有良志米受。心靜爾仕奉良志米給閉止。恐美恐美母白須。

閉扉祝詞

(同上)

言欲母畏支。某大神乃宇豆能御前爾。畏美畏美母白左久。大神等乃廣支厚支冥助爾依利互。障留事無久。今年乃秋乃大御祭。心安久賑賑志久。今仕奉利畢奴。故。今御扉閉奉良久乎。平介久安介久。相宇豆那比給閉止。恐美恐美母白須。

○神樂、流鏑馬、探湯、御籤、葦目等の諸神事の祝詞

〔語例〕

今度天雲乃遠支乎厭波受。村鳥乃群立氏。我神社仁參上里來氏。天雲乃遠きの枕詞。群鳥乃打群の枕詞なり。このたび天雲の如き遠き所をいとほす。群鳥の如く、多く人々が打ち群り、我が神社に、参る上り來てとなり。

御前仁神樂乎奏奉里氏。御恩頼乎報奉牟刀。大神の御前にて、神樂の舞を行ひて、御恩頼を報い奉らむとすとなり。

奏留大神樂乎。阿那面白。阿那手伸志刀見行志。奏づる御神樂を、あゝ面白し、あゝ樂しと思して御覽じてとなり。

愛賜比諾比賜比氏。此乃真心結倍留者等乎婆。御心に、人々を愛し賜ひ、承諾し給ひて、此の眞の心をもて、神樂講を結集し居る人々をばとなり。

明久清支誠心乎。神隨毛。阿波禮刀所思食氏。解前にあり。

天禍津日刀云神乃禍事仁。相率里相口會事无久。解前にあり。

煩大人刀云神乃煩仁罹里。煩腦牟事无久。煩、大人とて、人々を病み煩はしむる神の、起す病にかゝりて、煩ひなやむことなくとなり。

火乃迦具土神乃御荒毘仁。觸留事无久。迦具土神乃御荒毘仁觸るゝとは、火の神の荒びて起し給ふ、火難に罹ることなくとなり。

穢久異志久怪志支奴我竊業仁。物奪波留々事无久。心のきたなくて、怪しきわざする盗人などに、人々が物をぬすみ取らるゝことなくとなり。

日仁異仁勤美勞介留家乃業波。日日仁増里。年年仁盛里。解前にあり。家内平穩仁。家族睦比合比氏。己我向向成志米受。守幸給閉。解前にあり。

子孫乃八十續五十櫃八桑枝乃如久。立榮志米。解前にあり。

長久久志久。大神乃御前遙仁。仕奉良志米給閉。御前遙に云々は神の御前を距ること遠き地にて、御祭に仕奉らしめ給へとなり。

祈奉留事乃由乎。天斑駒乃耳彌高仁所聞食氏。解前に見ゆ。

抑毛御馬波。振立留耳乃高支貴支神乃御祭仁。古昔與里。必牽立留事仁氏。古支祝詞仁毛。御馬仁御鞍具氏刀言比支。抑も御馬は、其の振り立つる耳の高さがごとく、高き尊き神の御祭には、昔より、必ず牽立つる例ありて、古き

祝詞にも、御馬に鞍を置きて奉るといへることありとなり。

己我自志。弓矢執持。馬牽立氏。御前仁參來氏。馬追比。弓射留事仕奉留。銘々に、弓矢を執り持ち、馬を引き立て、御前に參り出で流鏑馬を仕へ奉るとなり。

石上古支世乃例乃隨仁。誓神探湯仕奉良牟刀爲氏。石上は、古きの枕詞

なり。誓神探湯とは、眞偽を糺さむとて、神に誓ひて、熱湯に手を入れる、神事をいふ。此處仁探湯釜乎居惠。伊豆乃眞湯乎沸志氏。誓神探湯乃神事奉仕奉。

探湯釜とは、くがだちの湯を沸かす釜なり。伊豆乃眞湯とは、清めたる湯のこと、其の湯を沸かして、くがだちの神事を仕らむとなり。

虚實乎正志定米牟刀。誓奉里願奉留狀乎。聞えたるが如し。

仕奉留神職。御巫等仁。過有良志米受。舞奏傳牟狀乎。阿那面白。阿那樂志刀見行波志氏。御巫は、御子なり。他の解前に在り。

四方八方仁打散良武湯花乃。清久佐夜介支大御心仁。人乃心乎神習波志米。湯が四方八方に、花の如くに散らむ、其れの如く、清く曇りなき神の御心に、人々の心をも習はしめ給ひてとなり。

彌遠仁彌長仁。黑支心乎持多志米給波受。遠く長く、人々に、穢き心を持たしめ給はずとなり。

天地乃成乃隨奈留。誠意乎常刀志氏。天地の神の、成し下されし其のまゝなる誠心を、常の心としてとなり。

常石堅石仁、笑比賑比榮由倍久。睦魂合閉志米給閉。何時も、笑ひ賑ひ榮ゆるやうに、相互に、睦しく心魂を合はしめ給へとなり。

御前仁神闕捧奉里氏。菅根乃懇切仁。祈願奉良久乎見行志氏。菅根は、ねもごろの枕辭。他は、聞えたるが如し。

吉事毛一言凶事毛一言仁。事諭志給閉。吉事凶事ともに、たゞ一言にて御諭し下されとなり。

此乃神籤仁。良不良吉事凶事乎現志給比。正手仁告給閉。此の神籤の上、吉事凶事を現し給ひ、真に正しく告げ知らしめ給へとなり。

卜庭乃神乃御心刀。告出氏牟太占乃卜事乎。一心仁守給比助給比氏。占ひをする、齋庭に坐す、神の御心として、告げ出て給はむ太占の卜事を、我が大神も、一つ心になりて、守り助けなされてとなり。

探得多良牟御闕乃兆波。高光留日月乃。明久直佐夜氣久有里氏。探り得む御籤のしるしは、高く輝きたる月日の如くに、明かに正しくありてとなり。宮處乃大路。正志久眞直仁。ト相麻迦那波志米給閉。都大路の、正しく眞直なるが如くに、眞直にトに合はせて、爲すわざを執り行はしめ給へとなり。

何乃神乃御心加。疎布留者乃率里加。嫉妬米留者乃怨奈留加。家乃業刀繼支氏來志。漁業乃幸薄久。打垂留々鈎毛。引延布留網毛空志久。

何といふ神の御心によれるか。又我を疎んじ悪みてわざはひする神のつきたるにか。妬める者の怨みによりてか。家業として、世々繼きて來し漁業の、幸ひ薄くて、垂るゝ鈎りも、引き延ふる網も、何時も空しくて、得物なきはとなり。

乘廻寸船左閉。猶豫比。日乎重彌月乎經禮杆。獲物无支乎歎加比。海原を乗り廻はす船さへ、ゆた／＼するのみにて進まず、日月を経れども、獲物なきを歎きてとなり。

此度某等御前仁參來氏。藝目乃神事仕奉里氏刀。一向仁乞出氏多里。藝目は、鑷の鐵に穴ありて、射れば鳴り響くものなり。妖魔恐れ伏すといふ。この矢を射る神事をするなり。他は、聞えたるが如し。

其乃乞乃隨仁。神職等我。齋志里嚴志里。御前仁參集比。其の乞ひに隨ひ、神職等が、精進潔齋して、神の御前に參り集りてとなり。

波自弓乎取持八目鳴鏑乎取副閉。嚴乃雄誥踏健毘氏。波自弓(黃楡にて造れる弓なり)を持ち、八目鳴鏑(鏑矢の穴のあまたあるもの)を取り副へて、嚴しく

雄々しく叫び足踏みし健くふるまひてとなり。

燒太刀乃利心振起志氏。千尋栲繩。只一筋仁思凝志氏仕奉留。利心

とて、鋭き心をふり起し、一筋に、思ひを凝らして、藁目の神事を仕へ奉るとなり。燒太刀は、利心の枕詞、千尋栲繩は、一筋の序詞なり。

荒里疎布留妖鬼等乎。事過受射退介志米給閉。荒び疎じて禍事する妖

鬼を射過らずに射退けしめ給へとなり。

嫉妬米留者乃怨靈乎。事速介久射離左志米。此方を妬める者の怨靈を、速

かに射離さしめ賜へとなり。

今日與里始米氏。惡風荒波乃難无久。海上安久穩仁。聞えたるが如し。

乘里廻寸船乃猶豫布事无久。前に解けり

打垂留々鈎乃空支事无久。前に解けり。

引延布留網仁漏留々物无久。聞えたるが如し。

爲寸隨仁利潤有良志米。幸久眞幸久榮由留家刀有良志米賜閉。事

を爲すがまゝに、利益あらしめて、幸福にして繁榮する家と、あらしめ賜へとなり。

〔作例〕

神樂祝詞

（祭文集）

掛卷母恐伎。某大神乃御前仁。恐美恐美母白左久。大神乃高伎尊伎大御德乎重美。廣伎厚伎大御惠乎乞禱奉良牟止爲互。今日乃生日乃足日仁。神職等齋麻波利清麻波利天。大御神樂乎式乃任爾。事執持氏仕奉良久乎。平介久安介久聞食止白須。如此仕奉大御神樂乃起因波。千早振神代乃昔。高天原所治天照大神。天岩窟爾入里。岩戸乎閉天刺隱給志時仁。高天原波更奈里。葦原中國悉仁闇志。故常夜往久。諸神等愁迷比。五月蠅如惡神等湧發里奴。爾仁八百萬神。天安乃河邊爾。神集比仁集給氏。大御心乎柔米和志奉牟方乎。神議仁議給布時。八意兼兼神深謀遠慮天。常夜乃長鳴鳥乎集閉氏。互仁長鳴令米。鏡作遠祖石凝姥命仁科世互。八咫鏡乎作良志米。玉造連遠祖玉祖命仁科世互。八尺瓊之五百箇之御統之玉乎作良志米。天日鷲命仁科世氏。長白羽命仁青和幣乎。津咋見命仁白和幣乎造良志米。中臣連遠祖天兒屋根命忌部

首遠祖太玉命乎召兵。天香山乃眞男鹿乃肩乎。内拔仁拔兵。天香山乃
 天乃樺櫻乎取天。占合擬志米天。天香山乃五百津眞賢木衰。根掘耳
 掘兵。上枝仁八尺瓊五百箇御統玉乎取着。中枝仁八咫鏡乎取懸。下枝
 仁白和幣帛青和幣乎取垂天。此種々乃物波。太玉命。太幣帛止取持多
 志天。天兒屋根命。太詔戸言禱白兵。天手力雄命。磐戸乃掖仁隱里立多
 志天。天鈿女命。天香山乃天蘿葛乎。手襁爾繩支天。天真析葛衰髮止爲
 天。天香山乃小竹葉乎。草仁結比。手仁鐸著。太留矛乎持天。天磐戸
 乃前爾。空箭伏世兵。踏登杼呂許志。庭燎乎舉介。神懸志天。胸乳乎搔出
 兵。裳緒乎陰仁押垂給。閉婆。高天原動里天。八百萬神。共仁笑給比支。爾
 爾天照大神。怪志止思志天。天磐屋戸乎細目仁開支。天内與里詔給。閉
 留波。吾幽坐仁因里天。天原自闇久。葦原中國毛皆暗氣武止思布乎。何
 度天。鈿目波樂比爲。亦。八百萬神。諸咲布會止詔給支。乃天鈿目。汝命仁
 勝里天。貴神坐我故爾。歡喜咲樂布止申給布問仁。天兒屋根命。太玉命。

彼御鏡乎指出天。天照大神仁見世奉留時仁。天照大神。愈々奇志止。思
 志天。稍戸余里出天。臨座時仁。隱立世留天手力雄命。其御手乎取里天。
 引出志奉里。太玉命。尻籠繩乎。其御後方仁控渡志天。此余里内仁。奈還
 里入坐曾止申給比支。故高天原母。葦原中國母隈無久照輝支。萬物悉
 仁光乎添閉。天晴阿那面白志。阿那多能志。阿那佐邪氣之止言立。神樂
 仁樂給比志。任仁。久方乃天止長久。荒金乃地止久敷。千早振神乃代余
 里。顯見乃人乃世迄母。動事無久變事無久。高天原波彌高仁。豐葦原波
 彌廣仁。天津日乃照左奴所無久。大御光乃被良奴物無久。平久安久皇
 御孫。命仁事依幸奉志。神事乃例乃任仁。某大神能御前仁仕奉良久乎。
 大御心母宇豆良仁。鈴乃音乃彌高々仁。笹乃葉乃彌左也々々仁。聞食
 兵。廣伎厚伎大御惠乎垂左世給比。天下波浦安久。四方乃海波浪靜
 氣久。風雨乃時節乎違事無久。五穀波豐仁。茂榮仁令熟給比。各々毛家
 門高久廣久。諸乃産業乎。緩事無久怠事無久。彌獎仁獎米。諸乃災波。萌

左奴先仁。遠久拂比退介給比氏。親族家族命長久。子孫乃彌繼々。彌益々仁令榮給比。夜守日守仁守幸給閉止。鹿自物膝折伏。宇自物頸根突拔天。恐美恐美母白須。
辭別天申左久。今日乃齋庭仁參集侍留諸人乃中仁。不慮穢氣不淨乃事在止母。神直日大直日仁。見直聞直給比天。罪毛無久崇毛無久。守幸給閉止。恐美恐美母白寸。

流鏑馬式祝詞

(祭文私稿)

此乃某神社仁鎮坐須。掛卷久母綾仁畏伎。某大神乃宇豆乃大前仁。恐美恐美母白佐久。藤原宮仁天。下知食之天皇乃大御世仁。事始米給比之與利。樛木乃彌繼々仁行來之例乃隨仁。己我自志馬牽立天。大前仁參來天。今日奈母夜夫佐米乃和邪仕奉良久乎。廣伎厚伎大御心仁。受宇豆那比給比天。獻留幣帛乎。安幣乃足幣止。平介久安良久聞食世止。恐美恐美母白須。

探湯式祝詞

(祭文案)

掛卷母畏伎。八十禍津日神。大禍津日神。神直日神。大直日神。四神爾。卜庭神止坐寸。太祝詞命。櫛眞智命。二神衰毛。此里乃產土神止持崇久。吾大神乃御前爾奉招利奉坐里氏。神職某。畏美畏美母。稱辭竟奉良久波。今日乎生日乃足日登齋比定米氏。此處爾探湯瓮乎居惠。伊豆乃眞湯乎沸之氏。氏子乃八十氏人乎集閉氏。區訶多智乃神事奉仕利。虛實乎正之定米奉止。誓奉里願奉留狀乎。神隨毛聞食諾比給比天。天之禍津日乃云神乃言波奉八十乃禍事。萬乃惡業爾。氏子乃諸人波更仁毛言波受。天下四方乃公民諸爾至迄。一人毛相麻自許里。相口會閉之米給波受。衆多乃人乃中爾波。思波奴過計。良奴咎有利止母。神直毘大直毘乃神乃禍事惡業乎。憎美嫌比給布御心止。見直之聞直之坐之天。卜庭乃神乃御心止。告出氏奉太任乃卜事乎母。一津御心爾守給比助給比氏。吉事凶事乃分別乎。一母枉具留事那久。違布事那久。正支直支赤支

清支誠乃卜事爾。登保加美延美多米止。町波正手爾母多米合阻之米給閉止。畏美畏美母白。

一九〇

御籤詞

同上

掛卷母恐伎。吾產土大神。殊爾波天御中主神。天兒屋根命。太玉命。櫛真知命。遠奉招留御前仁。神職某。十六自物。膝折伏世。鵜自物。頸根突拔。氏恐美。恐美母白左久。是度願主某氏。姓伊（疾病又）仁。罹里。天雲乃奧香毛不知。天船乃思比將憑嫌疑。吝無伎任仁。皇神等乃天津御量以氏。（良伎醫藥乃安養免乎）神隨成。直支正支清支赤支眞正乃道理。哀授氣賜比與閉賜奉事。哀請願申須賀任爾。天神乃御慮。窺比奉止乃麻知波。眞男鹿之肩乎。內拔爾拔伎氏。波々加乎以氏。肩燒卜合麻迦那波令米。神迺命乃神事爾。賴氏。太占眞卜乃神籤爾。（其此不其）左依右依里。（將解月日平）懇到爾。占問奉留乎。登保加美惠美多米。登唱閉奉留。此玉串耳。神憑爾歸來坐天。瑞兆。哀示左江。正手仁告之米給閉止。畏美畏美母白。

白。

墓目祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

掛卷母畏支。阿夫利大神。大雷大神。高竈大神乃。宇豆乃大前爾。姓名畏美畏美母白須。八十日日波有禮籽毛。此乃年乃何月乃七日止云日乎。活日乃足日止撰定米天。引目乃術仕奉良久止。持齋麻波里持清麻波里。奧山乃榮木乃枝乎。折持來天。青和幣。白和幣乎取垂。豆。八十玉籤止奉里。御酒波。囊上高知。囊腹滿竝天。御饌波鏡乃餅。洗米。堅鹽。御水爾。大野。原爾生留物波。甘菜。辛菜。青海原爾生物波。鱈乃廣物。鱈乃狹物。奧津藻。邊津藻爾至迄爾。橫山乃如久打積置天。獻留宇豆乃幣帛乎。安幣帛乃足幣帛止。聞食受賜比天。仕奉留引目乃術爾。稜威乃神靈乎。幸賜比天。姓名我燒太刀乃利心。振起之。千尋。栲繩。只一筋爾。思凝之天。天乃桅弓乎取持。八目鳴鏑乎取副反。嚴乃雄詰踏詰天。仕奉良。天津神乃咀賜比天。返矢以天。天稚彦我高胸坂乎。射通之坐之事乃如久。大國主大

祝詞作文便覽 語例作例の四

一九一

神乃活弓矢持互。八十神乎。坂乃御尾每爾追伏世。河乃瀨每爾追撥比。賜之事乃如久。荒備疎布留妖鬼等乎。事過多受射殺左之米。追退介志米賜閉。如此此術執行天婆。今與里以往波。世爾妖物乃荒布留事奈久。皇神等乃大御德波。彌益爾世爾響可比坐之。皇孫命乃大御代波。常磐堅磐爾立榮衣坐之。大神乃領坐留。此乃鄉中。及朝夕爾大御前爾仕奉良不神官等我。家々爾波。荒備疎備來牟妖言爾。相口會相率留事奈久。愁迷波牟事母奈久。煩惱萬牟事母不在互。幸久真幸久榮行牟斗喜毘奉嬉毘奉里天稱言竟奉良久登白須。

墓日式祝詞

(堀秀成祝詞文集)

懸卷者畏加禮杆。出雲國杵築宮爾坐大國主神。大和國三輪山爾坐大物主神。二柱乃神乃御前乎。姓名畏美敬比拜互。稱言竟奉流。此大神爾奉獻弓矢者。上津代爾。天照大御神乃。速須佐之男命乃御荒比乎退氣給波牟止。御曾比良爾千入之。靴乎負比給比。大御手爾弓腹振立給比。

太流乎始米。須佐之男命乃大國主神爾。八十神乎坂之御尾爾追伏。河乃瀨爾追撥閉止。生弓矢乎授氣給比。皇御孫命乃天降坐時爾。不隨順神等乎拂比退氣牟止。天忍日命。天津久米命。天之波士弓乎取持。天之真鹿兒矢乎手挾。御前爾立而奉仕志爾至麻互。凡互仇奈須物乎退太流。古乃例爾依互。今奉獻此弓矢乎。生弓矢乃足弓矢止守護給比。天鹿兒弓天羽々矢止取成給閉。如此取成給比守護給布。此弓矢乎取互。奉獻餅鏡乃望月乃如久。大御酒乃八折爾引折互。御魚乃尾緒立進互。訴云久。云卷者畏支。此二柱乃大神達。并天神千五百萬國。神千五百萬。和魂者鎮坐。荒魂者皆悉。弓爾母矢爾母懸坐互。皇神乃愛給布人草乎惱都々。世乎迷須妖怪乎波。坂乃尾每爾追伏。河乃瀨每爾追撥給比志事乃如久。葦原中津國爾違布神母無久。不隨順人母無加里志事乃如久。神乃依給志。此弓矢乃稜威者。彌輝久神乃傳給志。此墓日矢乃業者。彌正久立所爾。御驗得志米給閉止。畏美畏美母申。

五、獻進各種の祝詞

○幣饌、その他、各種物品獻進報告祭

〔語例〕

此度政府與里。此郡市町村仁仰世氏。 今回政府より、此の郡に申しつけて
となり。

彌益仁廣久厚久齋奉留倍支由。事依志給比支。 大神にいよくますます

す、廣く厚く御祭仕へ奉れと、申しつけ給ひたりとなり。

故其旨乎畏美承里。今與里後永世乃例刀爲氏。 其れ故に、政府の御主旨

を謹みて承り、今より後永き世の例としてとなり。

此郡市町村與里。特仁御饌。御幣帛乎奉出志。仕奉留倍支事刀波成里

奴。 此の郡より、我が大神に、特に、神饌を奉りて、御祭することになりぬとなり。

國內乃社々乎。眞津夫佐爾考竅米氏。政府乃御法乃隨爾。御饌。御幣帛、

料乎獻流事止成奴。眞津夫佐爾は、具に詳かになり、國々にある各神社の資格を、

詳細に取調べてとなり。政府の御法は、法律規定をいふ。他は、聞えたるが如し。

某等我取作禮留物乃。麗志久豊介久成出多留波。專大神乃廣伎厚伎
御恩頼爾會依禮里介留。 誰々等が作りたる物の、うるはしく豊かに出來たる

は、全く、吾が大神の廣き厚き御惠に由つて、かく成れりとなり。

何何乃初穗乎。大神乃宇豆乃御前爾奉里置伎天。高久尊伎御恩頼乎。

嬉美辱美奉良久乎聞食天。 聞えたるが如し。語の解前にあり。

我大神乃依志賜留。八束穗乃重初穗乃荒稻。 我が大神の、寄せ授け給

へる、長く、太き初穂の荒稻(稻のまゝなるをいふ)となり。

黄金如寸御統乃珠刀。千穎八百穎仁引据惠。 黄金色の御統玉の如き、瑞

々しき稻穂を、千穎八百穎(解前にあり)と、澤山に御前に引きする置きてとなり。

尙來牟年毛。嚴穗乃足穗仁支那比榮衣志米給。 尙來年も、嚴めしき稻穂

と、しなひ垂れて、榮えしめ給へとなり。

某我家門乎。嚴穗乃嚴家門仁。其足穗乃富足布家門刀成幸給閉。 某

が家門を、この奉る初穂の嚴めしきが如き家門となし、この足穂の如き不足なき家

門と成るべく、幸へ守り給へとなり。

某伊大神乃御恩頼乎辱美天。明久清伎燈火乎。夜每爾廣前爾揭奉良

久乎。宇豆那比給比天。

某が大神の御恩を辱く思ひて、明く清らかなる御燈を、毎夜御前にかゝげともし奉ること、うけ納れ賜ひてとなり。

堅石乃燈籠乎。齋牆乃下爾曳据立列天。大神乃御心乎慰米奉牟刀須。

齋牆は神社の廻りの玉垣をいふ。他は聞えたるが如し。

何何乃木乎。佐根古自爾掘抜持參來天。瑞垣乃外爾移植天獻良久乎。

佐根古自は根ごめに掘り抜くをいふ。瑞垣とは玉垣に同じ。何々の木を根ごめに掘りて持ち参り來て、玉垣の外に移し植ゑて奉ることなり。

某我家門毛。此乃樹乃枝刺打茂里行加牟事乃如久。彌益益爾立榮衣

志米給閉。某が家も、今奉る樹の枝の茂り行かむがやうにいよく益々立ち榮えしめ給へ」となり。

〔作例〕

饌幣料供進指定奉告祝詞案

（神職必携）

掛卷毛惶支。社格何神社乃御前爾。職姓名恐美恐美毛白左久。昔與里此郡市町村乃守止坐天。公民等我。高久尊支恩賴乎蒙里奉留我故爾

恒毛尊美敬比仕奉禮留乎。此度政府與里。此郡市町村爾仰世天。彌益仁廣久厚久齋奉留倍支由。事依左志坐支。故其旨乎畏美承里。今與里後。永世乃例止爲天。此郡市町村與里。特仁。御饌。御幣帛乎奉出志仕奉留倍支事刀八成奴。爰乎以天。今日乃生日乃足日仁。此由報告奉良久乎。甘良爾聞食世止白。如此聞食天。天皇尊乃大御廷乎始米天。仕奉留百官人。此郡市町村乃公民等。洩留々事無久。墮留事無久。伊加志夜具波延乃如久。立榮志米給方止。恐美恐美毛白須。

奉幣使奏上詞案

（神職必携）

掛卷毛畏伎。社格何神社乃御前仁。何郡市町村乃長勳位姓名仁代理天役某。慎美敬比毛白左久。往古與里。此郡市町村乃守護止座天。人民乃廣久厚支恩賴乎蒙奉留我故仁。今年明治何年與里始天。每年乃例乃任仁。御饌。御幣帛捧奉良久乎。豐御饌乃。足御幣帛止。平介久安介久所聞食天。天皇我大朝廷乎始米奉里。敷坐世留郡市町村乃人民乃在

現乃悉皆茂志彌桑枝乃如久立榮志米給方止。慎美敬比毛白須。

奉初穗祝詞

(祭文私稿)

掛卷久毛綾仁畏伎。某大神乃大前仁。恐美母白佐久。某等我。日仁異仁勤之美勉米天。取作禮留物乃。阿之伎風阿良伎水仁遭布事無久天。如此之毛麗之久作獲都留波。母波良。大神等乃。廣伎厚伎大御米具美仁古曾依利介米止。今日奈母。何乃初穗乎。宇豆乃大前仁捧奉利。高久尊伎御恩賴乎。重美奉利。忝美奉良久乎。所聞食宇豆那比給反止。恐美恐美母白須。

告神寶奉納祝詞

(祭文私稿)

此里乃底津磐根仁。宮柱太敷立。高天原仁千木高知利天。神奈我良鎮座坐。掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母白佐久。汝大神乃廣伎厚伎大御惠仁依利天。諸人我家仁毛身仁毛惡事無久。日爾異爾彌榮仁榮延之米給布事乎。重美奉利尊美奉利。忝美奉留我故仁。今度某

伊思起之天。諸人仁議利。何何乎。大神乃神寶止。長久久之久廣前仁納奉良久乎。眞澄乃鏡乃面淤之波流之天。見曾奈波之給比。獻留諸人乃清久明伎誠乃心乎。慈之愛之止宇豆那比給比。神寶乎。彌遠仁彌長仁愛納給比天。今與利後毛彌益爾。夜乃守日乃守仁。守幸給反止。恐美恐美母白須。

獻燈詞

(祭文私稿)

掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母白佐久。齋麻波理。清麻波理天揭奉留嚴乃燈火乎。明久清久宇豆那比給比天。火釜乃如輝久神乃。惡之伎事無久。五月蠅奈須騷具物乃。禍事無久。參入利罷出留人乃。手乃躡比足乃躡比爲佐志米受。彌進仁進米。彌勤仁勤志米天。咎過有良牟乎婆。神直日大直日仁。見直志聞直坐天。平那久安良那久。仕奉良志米給閉止。畏美畏美母白須。

奉納石燈籠祝詞

(祭文私稿)

祝詞作文便覽 語例作例の五

掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母白佐久。汝大神乃常仁撫。給比慈給布。廣伎厚伎恩賴乎。重美奉利尊美奉利忝美奉留我故仁。某等清久明久直久正之伎誠乃心以天。人人仁相議利天。堅石乃廣伎大石乎打破利天。高久太伎燈籠乎切作利天。今日乎生日乃足日止卜相定天。大地乃底毛斗騰呂仁曳持參來天。宇豆乃齋牆乃右左乃御阿加之止。立奉里捧奉良久乎。眞澄乃鏡乃面於之波流志天。見曾那波之給比。愛所閱之宇豆那比給比。爲夜自乃幣帛止進留大御酒。大御食種種乃味物乎毛。平介久安良介久聞食世止。恐美恐美母白須。

奉樹木祝詞

(祭文私稿)

掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母白佐久。今日乃生日乃足日仁。某等我清久明久直久正之伎誠乃心以天。何乃木乎佐根古自乃根古自仁古自天。擎持來天。御牆內仁移植天獻良久乎。所聞食受宇豆那比給比天。此木乃彌榮仁榮行加武事乃如久。家門高久立榮衣之米

給比。子孫乃八十繼。家仁毛身仁毛禍事有良世受。夜乃守日乃守仁。守幸給反止。恐美恐美母白須。

奉獻刀劍諄辭

(阿夫利神社祝詞集)

言卷母畏支。阿夫利大神乃大前爾。畏美畏美母白左久。多幸神乃御世與里。現身乃世仁傳禮留。神術乃多有留中爾。擊劍乃術婆可里。尊久妙奈留毛乃波有良受奈母。素蓋鳴尊乃。八俣大蛇乎切屠里給比。神日本磐余彥。天皇乃長隨彥乎始米。許多乃賊等乎誅滅之賜比。日本武尊乃熊襲健。出雲建乎擊賜比。又御代御代乃天皇。天下政治給比。時時乃軍將乃。不順伏人等乎。討罰米賜布母。此乃術爾從賜波受止言不古斗無之。玆仁武藏國高麗郡馬引澤村乃御民山口和十郎波母。少壯伎時與里。心雄雄志久勇健支事乎好美。花井信勝爾就支互。一心流乃擊劍乎學比。又比留間利充爾隨比互。甲源一刀流乃擊劍乃術乎學比。遂爾其乃與儀乎得多里。後自身思得留劍法有里互。兩流乎合世互。一刀流乃

一流乎立互。日日其乃道乎講究免。又國國乎經歷利。諸藩爾出入里。丁寧深切爾教授介多里介禮婆。隨比學夫者多久。門人殆千有餘名爾及倍里。然留爾世中時時爾變遷里以互來互。然之母尊支。神代與里傳來之此乃術乃。既爾衰廢禮牟止須。和十郎思惟良久。是此乃道乃危急存亡時奈里。爭挽回反左牟止。思乎凝之力乎盡寸波。此乃道爾志世留者乃常奈禮籽母。熟考布留仁。此波中中爾人。智人力乃及夫倍支爾有良受斗思定米互。信敏止相議里互。平常母仰尊美敬慕比奉留大神乃大前爾。一身乃守護斗之互。秘藏多留。長三尺一寸七分。切又二尺四寸二分。粟田口近江守忠綱乃鍛鍊反多留。太刀一口乎奉獻里。長久神庫爾納奉里天。此乃道乃復興良牟事乎乞祈奉留爾那母。阿波禮大神等。山口父子我誠心乎。憐禮止所思之愛之止看行之互。高久貴伎嚴乃靈乎幸賜比互。今與里以往。何流此流斗言事无久。世間爾有里止有留此乃術乎。日爾殊爾進米。月月爾隆盛奈良之米。天地乃共變呂布事無久。易

留事無久。無究爾令傳米賜反止。乞祈奉留事乃由乎。御心母多親爾所聞食之守幸賜反。又如此振起世留。山口我家内。裳無久事無久。安久穩爾。末遠長爾令榮米賜反止。畏美畏美母白須。

六、神殿造營、遷座、附屬建設物、及び合祀、分祠等諸祭の祝詞

○地鎮祭、柚祭、上棟祭、遷座祭等各種

〔語例〕

忌竹仁神繩引廻志。眞榊刺立氏。此乃地内乎。嚴乃磐境刀祓清米氏。

忌竹(解前にあり)に注運繩を引き廻らし、其の内に榊を刺し立て、この場所の内を、嚴の磐境神の鎮り座す境域をいふとして祓ひ清めてとなり。

大神乎常石仁堅石仁。齋鎮奉良牟御殿乎。造仕奉良牟刀。大神を、長に祭り鎮め奉らむ爲め、御殿を造りて進せむとてとなり。語の解前にあり。

此乃處乃高支乎平仁志。低支乎埋米。堅石乃大石乎。齋柱乃根本深久。

齋比掘居牟刀志底。この地所の高き土地を平かにし、低き所を埋め、堅固なる大石を齋柱(中央の柱なり。心柱なり)の根石として、深く掘り居るむとしてとなり。雨零里風吹支地震布留刀毛。此乃宮地乃由流岐損布事无久。動支崩留事无久。たとひ大雨ふり大風吹き、地震ありとも、この宮所が揺り損ね、動き崩るゝことなく守り賜へとなり。

某伊。是乃處爾新仁家居建牟刀。麁草薊退介土踏均志底。某が新に家屋を建てむとて荒草を薙り拂ひ、土地を踏み均してとなり。

掘居留礎乃彌堅良仁。衝立留柱乃動久事无久。掘り居るたる土壘石がいよいよ堅く、つき立つる柱が、動くことなくとなり。

暴風洪水乃難无久。地震香具土乃禍无久。堅石仁常石仁守幸給閉。暴風洪水乃難无久。地震香具土乃禍无久。堅石仁常石仁守幸給閉。

大神乃領給閉留何山仁。茂立留木乎。本打切里末打斷知兵。何仁切造良牟刀。大神の領し給へる何山に、茂れる木を伐りて、其の本末を打斷ち、中間をも

取懸留大綱小綱乎。國引乃三身乃綱刀有良志米。山より材木を引き出

さむとて、大小の綱を取りかけたる、其の綱が、神代の昔神等が國土を引き來まし、強き綱の如くあらしめ給へとなり。三身乃綱は、三つ續みの綱なり。

引寄寸留事波。三身乃綱打懸介底。久留耶久留耶仁。毛曾呂毛曾呂刀。國引支坐志々事乃如久。材木を引き寄することは、太き綱を打ちかけて、久留

耶々々々にたぐり、たぐりなり。毛曾呂々々に、そろそろと、神等の國引きせられしことのやうにとなり。

杣人等仁過无久。手人等仁災无久。事幸久切得志米。運得志米給閉刀。材木を切る杣人や、其の他の人夫等に災なく、その材木を切り得て、運び得しめ給へ

となり。此所乎伊豆乃磐境刀掃清米底。神籬刺立招奉里坐奉留。手置帆負命。彦狹知命。一こゝを、伊豆乃磐境前に解くとして、掃き清めて、神籬前に解く刺し立て

て、招き申す手置帆負命、彦狹知命となり。此の二神は、大工の祖神にませり。此乃齋庭仁齋竹挿樹。伊豆乃注連繩曳回志。招奉里令坐奉留何乃神。

語の解前にあり。木匠等乃祖神刀持齋久皇神等。大工、小工の祖神として、大切に御祭する神

祝詞作文便覽 語例作例の六

等なり。即ち、手置帆負命、彦狹知命なり。

何何改造良牟刀。今日乎生日乃足日刀。ト相定米氏。ト相定は、トひ定め
てなり。他は、上に解せり。

木匠何等。齋回里清回里。高山短山仁茂立留。眞木乃大木乎伐取奉里。
柚人、大工何某が、潔齋して、高山や低山に茂り立てる眞木(檜)をいひ、また他のよき木
をも云ふの大木を、伐り取り奉りてとなり。

本末乎山乃神仁奉置支氏。中間乎取持來氏。材木の本末を、山神に奉り
残しおきて、中間を持ち來てとなり。是、伐木の古法なり。

齋鉏齋斧以氏。齋柱立始米牟刀。御祭仕奉良久。齋み清めたる鋤もて穴
を掘り、清き斧もてけづりたる齋柱中央の柱、天の御柱とも、心の御柱ともいふを立
て始めむとて、御祭するとなり。これ、主柱祭なり。

今日與里始氏。木工手人諸我。日仁異仁勤美仕奉良牟業仁。違布事无
久過津无久。今日より、大工や人夫が建築に取りかゝりて、毎日怠りなく、つとめ
造らんとする業に、事違ひて過ちすることなくとなり。

手乃躓足乃躓有良志米受。事麗志久造竟志米給閉。手足の亂れて、怪

我過ちなどすることなく、立派に美事に、宮殿を造り竟へしめ給へとなり。

木匠等勤美務米氏。喪无久事无久。柱桁梁漏留事无久作畢閉牟刀志
氏。喪无久は、恙なく、災なくの意なり。他は、前に解けり。

彌益益仁御靈幸給比氏。突立留柱乃彌堅良仁。打墨繩乃速仁。事成竟
志米給閉。彌増々に、御靈徳を幸ひ給ひて、突き立つる柱の堅固なるが如く堅固に、
打つ墨繩の直きが如く、速に落成せしめ給へとなり。

今日乎生日乃足日刀齋定米氏。齋柱起建牟禮代乃幣帛奉良久乎。
齋柱を起し立てむ爲の、禮代(御禮の物品)の幣帛を奉るとなり。

世間乃例乃隨仁。木匠等乎參集波志米氏。上棟祭刀稱閉留御祭仕奉
良久。世間の例に隨ひて、木工等を集めて、棟上げ祭と申す御祭を仕るとなり。

大神乃常宮乃正宮刀。鎮座左牟此御殿乎。造里仕奉良牟業波。奥津藻
乃最毛輕加良奴業仁志有留乎。大神の常住の本營として、鎮り座さむ此の
御殿を造り奉ること、最も重き事業にて有るをとなり。奥津藻は、最の序詞なり。

皇神等乃厚支廣支恩頼仁依里氏。如此麗志久作竟奴禮婆。聞えたる
が如し。

今日乃御賀乃禮代刀。供奉留物波。繁榮由留物刀五百箇眞榊。今日の御悦びの御禮の品として供ふる物は、繁り榮ゆる物として、枝あまた刺し出でたる榊となり。

齋齋志支物青幣白幣乎取懸氏。左右仁供奉里。忌み清めたる物として、青幣(青き布帛)白幣(白き布帛)を榊に取りかけ、左右に供へてとなり。
咲榮由留物刀。豊御酒足御酒。飲めば咲み榮ゆる物とて、豊かにして善き御酒を供ふとなり。

取重奴留物刀鏡乃餅。味有留物刀甘菜辛菜。取り重ねるものとしては、鏡餅や、うまさ物としては甘菜辛菜などの野菜をこなり。

鮮介支物刀。鱧乃狹物鱧乃廣物。鮮かなるものとしては、鱧の狹物、鱧の廣物、即ち大小の魚類となり。

又耀久物刀鏡玉。打斷津物刀鉞劍。照りかやくものとして鏡や玉、打ち断つ物として鉞や劍となり。

立並布留物刀楯。打靡久物刀赤旗白旗乎。齋庭毛狹仁取粧比。立て並ぶる物として楯、打ち靡く物として赤旗や白旗を神庭も狹きばかりに取り装ひ

ひ飾りてとなり。

又看行寸物刀。倭舞巫舞乎奏奉里氏。又大神の御覽じ給ふ物としては、倭舞、巫舞を奏し奉りてとなり。

此乃御殿波。築立氏多留柱乃動久事无久。朽留事无久。この句以下、社殿の、永久に無事ならん事を賀きたるなり。

指上多留棟木乃搖久事无久。傾久事无久。聞えたるが如し。
壁草乃曾々岐亂禮受。迦具土神乃千早振荒振事无久。社の板壁や、葺草の破れそ、けて亂るることなく、迦具土神の千早振、稜威早ぶるにて、神威の武き

ことごと、即ち火災なくとなり。

集閉留工匠等波更仁毛言波受。眞心盡世留者等我。家内平穩仁。禍神乃禍事无久。建築場に集まれる大工、小工は無論、眞心を今回の建築の業に盡せる者共の、家内を安全にとなり。

飛驒人我打墨繩乃一筋仁。大支御稜威乎。畏美仰支尊毘奉里氏。飛驒人(飛驒國は、古來、名匠を出せるより、大工をかくいふ)が打ちわたす墨繩の如くに、一筋に心をこめて、神の大なる御威靈を仰ぎ尊びてとなり。

三枝草乃三端四端乃殿造。彌精久彌美久成行久毛。三枝草は幸福草にて、靈芝のことなりといふ。この物の一莖に三つ四つ笠のあるを、三端四端といひて、宮殿の屋根の多く並びたるに比したるなり。他は、聞えたるが如し。

眞木柱本乃心乎忘禮受。注連引延閉。幣立奉里氏。檜柱の本といひて、其の元の心、即ち始めのことを忘れず、注連を引き延え、幣帛を獻りてとなり。

御祭仕奉留手風乎。工等我家仁毛殘志氏。木匠等が、祖神の御祭する風儀を、その家にも傳へ殘してとなり。

負那々々其形計里毛仕奉里慣在留波。木工等の、各自の身のほどくに合せて、御祭の形ばかりも、仕へ奉る習はしあるはとなり。

大神乃御心仁毛。然古曾宇牟賀志久聞食米。大神の御心にも、それこそ悦ばしと思しめすことならめとなり。

御殿乃幾百年加經介牟。漸々仁破損波牟刀須。この御殿が、幾百年を経たるにてあらんかやうくに破れ損はれむとすとなり。

無端久。去年乃何月奇炎燃發里氏。御社炎上里。はからずも、去年何月、怪しき火の燃え起りて、御社焼けたりとなり。

相共仁歎支憂比津留隨仁。今度御殿乎修理仕奉良牟刀思起志氏。

氏子も、信徒も諸共に、歎き憂ひ居たるがまゝに、このたび御殿を修理(建築のこと)し奉らむと思ひ立ちてとなり。

豫氏乞祈奉禮留如久。此乃御社仁遷奉里津禮婆。前々より願ひ申し、如く、この御社に遷し申したればとなり。

今日與里始氏。本殿乎修理仕奉里畢留日仁至留迄仁。聞えたる如し。此乃何神乃御相殿仁。令坐奉良久乎。所聞食諾比給閉。此の何神と、暫くは御同殿に座させ奉ることを承諾し給へとなり。

新宮造營里仕奉志仁。今全久其事竟奴禮婆。聞えたるが如し。本社仁遷座奉牟刀志氏。御祭仕奉留。是迄の假殿より、御本社に遷し奉らむとして、先、御祭申すとなり。

大神乃御稜威波志。御饌殿乃烟刀共仁高久。御惠波之。御前乃大庭刀共仁廣久。大神の御威光は、御饌殿(神饌所)より立ち上る烟と共に高く、御惠は御前の御庭の廣やかなると同じく廣しとなり。

神職諸御井乃眞清水。清支心仁。相輔介相勤美氏。神職等は皆、境内なる

祝詞作文便覽 語例作例の六

御井の眞清水の如き、清き心にて、相助けあひ相つとめてとなり。

神アカラツケル殿造事始米多留乎。大神乃神靈毛安那々比坐志氏。御殿を造ることとを始めたるを、大神の神靈も助け守り給ひてとなり。

今那毛新神アカラシキアラカ殿波。造里治米奉里竟太留。只今新しき御殿は、造り畢へ奉りたりとなり。

今與里後波。彌其御稜威波。眞玉成御階爾。朝日乃磨禮昇留事乃如久。今より後は、この新殿の玉の如く美しき階段に朝日の影の照り映えて昇るが如く、大神の御稜威の光も、かゝやき給はむとなり。

其恩頼波。鏡如板戸爾。夕日耀支照留事乃如久。大神の御恩頼は、新殿の板戸の鏡の如く美しきに、夕日影のかゝやき照るが如くに、ますます、恩頼をかゝやかし給はんとなり。

高々仁仰支依良牟人等波。貴支賤支差无久。遠支近支隔无久。大神の御威稜、御恩頼の高きを仰ぎ尊みて、依り参り來る人は、貴賤の差別もなく、途の遠近の隔てもあらしとなり。

男女打群參來氏。廣前毛狹仁拜美奉良牟。男も女も、打ち群れ参り來りて、

神の廣前も狹きほどにて、拜み申さむとなり。

〔作例〕

地鎮祭祀詞

(六人部是香例所載文)

掛卷母畏支。大地主神。埴山姫神。産土神乃御前爾白久。此乃新室敷居牟地乎。齋鋤齋鋤乎取持天。石切平均。地曳平均掃清氏。家居乃地登。齋定牟止爲氏。奉留幣帛波。由紀乃御饌。御酒波囊戸高知。囊腹滿並。山野乃物波。甘菜辛菜。青海原乃物波。緒乃廣物緒乃狹物。奥津藻菜。邊津藻菜爾至迄爾。如横山置足波志。奉留幣帛乎。安幣帛乃足幣帛止。皇神乃御心毛。平久所聞食。此乃新墾宮地乃。底津磐根乃極美。下津綱根。波布蟲能禍无久。夜守日守爾。護給比矜美給閉止。鹿自物膝折伏。宇自物頸根突拔。稱言竟奉久止白。

同上

(祝詞文集)

何國何郡何村。何某賀家代乃地乎。地堅爲。掃清米水打灌。其中央

爾小柴差立。懸卷者畏加禮。伊邪那岐神。伊邪那美神。并國靈神。并
 埴山彥神。埴山姬神。五柱神。乃御魂乎。奉齋久。天地初發之時。此大地乃
 久羅下那須多陀用幣。琉時。天之御中主神。高御產靈神。神御產靈神。諸
 命以。伊邪那岐命。伊邪那美命。仁。是多陀用幣。流國乎。修理固成。世止。
 天沼矛乎。賜。言依賜志。其御言乃隨仁。修理固成。給比。國島乎。生成賜
 耳。終仁皇御孫命。乃御食國。止成禮里。然有里耳。今家造爲仁。先地堅爲
 奈流者。多陀用幣。流國乎。修理固成。給比。志仁依里。其上仁柱立爲奈留
 者。淤能基呂島仁。天沼矛。衝立給比。國之御柱。止定米給比。之。貴支幽
 支。御由緒。乃例仁依禮流。業仁耳。有比婆。此二柱大神。乃守護給比。其二
 柱神。乃成志。給比。志。國魂神。乃幸給比。埴山彥神。埴山姬神。相資成給比
 耳。家造乃業仁。津々美無久。速仁令成。畢給比。其家乃成里。奈牟後者。
 常磐乃崩流々。事無久。大地乃傾久。事無支。賀如久。平介久。安介久。守幸
 給。閉止。奉流幣帛者。安幣帛。乃足幣帛。止聞看止。鹿自物。膝折伏。鵜自物。

頸根衝貫天。畏美畏美母白須。

杣祭祝詞

阿夫利神社祝詞集

掛卷毛畏伎。阿夫利大神。乃大前爾白左久。豫耳奉告奉乞之。如久。瑞乃
 御殿奉造斗。此乃御山。乃御標。乃內外爾所立。大木小木乎。工匠等。我事
 量乃隨爾。木工丁等。乎喚集。反天。使伐取斗。仕奉留爾。元來巖根。凝久。峻
 嶮支。御山爾之有禮婆。容易可良。奴業爾。奈毛。因平常與利。殊爾。齋敬美
 勤。締利。天仕奉留物可良。愚弱爾。拙劣支。工丁等。爾有禮婆。思量乃至良
 奴。隈爾。或波物乎。破利。或波誤里。耳身乎。傷比。無端支。凶事乃。出來良。牟
 毛不可知斗。深久心乎。痛米。甚久胸乎。病萬之米。侍利。大神等。乃廣支。厚
 支。大御心止。憐美賜比。惠万比。賜比。耳。取持天留斧。鋸乎。齋部乃。齋斧。齋
 鋸斗。令在。取懸久。留大綱小綱乎。國引乃。三身乃。綱斗。令在。伐取留事。波。
 大峽小峽。仁所立木乎。齋匠等。我。齋斧。以耳。伐取里之事。乃如久。引寄留
 事。波。三身乃。綱打懸介天。久留耶々々爾。毛曾呂々々斗。國引支。坐

之々事乃如久。凝之支巖毛安介久。峻嶮支山毛平介久。思布我隨。爲須我隨爾。過事無久。傷事無久。伐得之米。引得之米。日爾異仁。効令在賜。反斗。祈祝支供奉。留宇豆乃御酒。御食乎聞食天。朝爾夕爾。守賜反幸賜。反斗。畏美畏美母白須。」

新始祭

(祭文例)

挂毛畏伎。手置帆負命。彥狹知命乃大前爾。畏美畏美母白久。此度木工姓名我。此神乃御舍乎。(或ハ幣殿、拜殿、御門、其餘殿)今日乃生日乃足日爾。造初牟登須。如此不容易事波。吾皇神等乃。廣伎厚伎御惠爾依氏之。平久安久功成竟牟。思議氏。禮代乃幣帛乎捧持氏。恐美恐美毛。稱辭竟奉久。登白。故如此之狀乎。皇神乃御心爾。神隨聞召氏。今日與里日々爾。勞務牟留木工乃道爾。恩賴乎幸閉坐氏。思慮乃悟深久。緩怠事无久。勤利令務給比。打墨繩乃法乃任。違過事无久之氏。速久令功卒給登。恐美恐美母白。」

柱立祭

(同上)

挂毛恐伎。手置帆負命。彥狹知命乃大前爾。恐美恐美母白久。木工何某我。此神宮(同上)作流業乎。大神等乃廣伎厚伎御惠爾依氏。打繩毛執留手斧毛。無違事無過事。柱桁梁乎始。其外乃物等乎。可有狀爾作訖。故是以氏。今日乃生日乃足日爾。齋柱建始牟止爲氏。大前爾。大御酒居竝。稱辭竟奉狀乎。平久安久聞召氏。今毛往前毛。彌益々爾。恩賴乎幸閉坐氏。不事過。令建訖給閉登。恐美恐美母白。」

上棟祭

(同上)

挂毛畏伎。手置帆負命。彥狹知命乃大前爾。恐美恐美母白久。先爾木工姓名我。此大宮乎(同上)造始留時爾。祈申之久。如此不容易事乎。吾皇神等。守給助給氏。法乃任。平久安久事成竟之米給閉登。祈白伎。然乎祈白之毛。驗久。無違事無過事。令造竟給留事乎。貴美喜美。今日乃生日乃足日爾。謝乃禮代登。大御酒大御饌乎。凡物爾置足之氏。恐美恐美毛。稱辭

竟奉狀乎。神隨聞召氏。今毛今毛。此大宮乎。(同上)安宮止。(正殿ヲ去ル此)吾皇神乃御靈給比氏。築立多留柱。取舉多留棟。桁梁乃錯比無動鳴事。打堅多留釘乃緩毘。取葺留葺乃噪伎無久。千代常登波爾。守給幸給登。恐美恐美母白。

同上

(諱辭集)

是乃神床爾。神籬居。招奉里齋奉留。掛卷母恐支。手置帆負命。彥狹知命。二柱乃大神乃宇豆乃大前爾。是乃神田神社爾。仕奉留。本居豐穎。畏美畏美母白。左久言卷母恐可禮。伊邪那岐命。伊邪美命。二柱乃大神。淤能基呂嶋爾。天降座。天之御柱乎見立。八尋殿。見立給比志。大御業乎受繼給比。汝命二柱乃奇久妙奈留。御量以。創米給比。教閉給比。志與利現身乃人乃世止成。豆毛木乃道能工等。莫越山。山乃岩賀根高々爾。飛驒人乃打墨繩乃一筋爾。大伎御稜威乎畏美仰支。尊比奉里。三枝草乃三端四端。乃殿造。彌精久彌美久成。行久爾毛。尙真木柱。

本乃心乎忘禮受。注連引延。幣立奉里。御祭事仕奉留。手風乎。工等賀家爾毛。殘志。負々那々。其形婆可里毛。仕奉留。慣在留。波大神乃御心爾毛。然古會宇牟賀志久聞食米。故今日乃生日爾。是乃神殿乃上棟。乃御祭式仕奉留。止。手人等諸。朝日乃豐榮登爾。群鳥伊競比參集比。拜美奉留爾。依。神職等。式乃隨々。大神乃御靈乎。招座奉利。禮代乃物。捧介奉利。慎美敬比。治米齋比。奉良久乎。美良爾廣良爾。聞食相宇豆那比。給閉止。恐美恐美母白須。

社殿造營奉告祭祝詞

(祝辭作文集成)

掛卷母恐支。某大神乃宇豆乃御前爾。姓名恐美恐美母白。左久。吾皇神乃鎮麻里座須。此乃御殿毛。許々太乃年。月經奴留隨々。最甚久古備。荒禮爾荒。禰禮婆。今度某等相議利。大神乃氏子乎語良比。大殿修繕比。仕奉良牟止須。故年乃中爾月乎選備。月乃中爾日乎選定。米。今日乃吉日乃足日與利。其乃工事爾。取懸良牟止爲留狀乎。聞食宇豆那比給

比互。始終事幸久。枉事無久成畢。閉志米。給閉止。恐美恐美母告奉良久。止白須。

同上

(祝詞作文集成)

此乃神殿乃相殿爾。假乃御座止鎮麻里坐須。掛卷母恐支某大神乃御前爾。姓名恐美恐美母白左久。曩爾。御殿改造良牟止志天。告奉利志與利。大神乃恩賴乎被禮留人等波。一日片時毛休牟事無久。息布事無久。勤美務米互。執留手斧。打都墨繩乃一筋爾仕奉禮婆。最嚴志久。神殿波落成奴。故今日乃吉日乃足日爾。竣功仕奉禮留事乃狀乎。告奉良牟止志互。御祭仕奉良久乎。平介久安介久聞食世止。恐美恐美母白。

假遷宮本殿

(祭文例)

掛卷母恐伎。吾大神能大前爾。恐美恐美母白久。天能御蔭。日能御蔭登。隱理坐須。此大宮能(註替ノ時ニハ、此間ニ上登流板能下云フ五字ヲ加フ)許々良乃年月衰經氏。自然爾朽損禮奴流衰。此度新久(註替ノ時ニハ、新久ノ二字ヲ替フベシ)仕奉流爾依氏。今日能今

夕能吉日能吉夜爾。恐美恐美母。假宮爾遷奉牟止須。此狀衰平久安久聞食氏。神隨遷幸勢登。禮代能幣帛衰捧持氏。恐美恐美母。稱辭竟奉久登白。

假遷宮假殿

(祭文例)

掛母恐伎。吾大神能大前爾。恐美恐美母白佐久。大宮造功竟(註替ノ時ニハ、大宮ヲ終トス)奉良牟日麻傳波。此行宮衰。志豆宮止。神隨平介久大座坐勢登。恐美恐美母白。

正遷宮假殿

挂母畏伎。吾大神能大前仁。恐美恐美母白久。瑞乃御殿既仁仕奉竟奴。(註替ノ時ニハ、)是仁依氏。此某月某日能夜衰。吉日能吉夜登齋定氏。恐美恐美母。返奉牟止須。故如此乃狀乎。大神乃御心仁。平久安久聞食氏。神長柄還幸行勢登。恐美恐美母白。

正遷宮本殿

(祭文例)

掛卷母恐伎。吾大神乃大前爾。恐美恐美。母白左久。天之御蔭。日之御蔭止。造仕奉禮流。(拜替ノ時ニハ)瑞之御殿乎。安宮乃志豆宮止。故能如。安久穩爾。鎮座氏。天皇賀朝廷。袁。堅磐爾常磐爾。守奉里幸奉理。天下平介。惠賜閉助給閉止。大御饌大御酒乎。机物爾置足波斯天。恐見恐見母。稱辭竟奉良久止白。

○神社合祀、及び、分祠の奉告祭等

〔語例〕

何縣乃知事我。持分介氏治奉留。此乃何國何郡何乃里仁鎮坐志氏。

何縣知事の職掌として治むる、此の里に鎮りましてとなり。

御氏子等我。千代百代仕奉里來志我賀大神。御氏子共が、是まで幾久し

く、古より仕へ來りし我が大神となり。

今般朝廷乃大御掟乎以氏。皇神乃御前仁。廣久厚久稱辭竟奉良奉事

乃阿良麻志仁。このたび朝廷の御命令を以つて、皇神の御前に、御祭りせむ爲め、

のかねての用意に」となり。

近支邊乃社社乎合世奉禮刀。仰世賜布賀故仁。近邊なる社々を、一社に

合祀せよと、政府より仰せらるゝが故に」となり。

御民等諸。相謀相語比。掛卷毛恐支大神乃御靈乎。何神社乃同殿乃内

仁。遷志奉里座世奉里氏。御氏子共が、互に相談を遂げて、申すも畏き大神の御

靈を、何神社に遷し座させ奉り」となり。

某里乃御氏子等刀。力乎協世心乎一仁志氏。今與里行先。廣久重久嚴

志久。御祭仕奉良奉。行先廣くとは、末々の世までも長くといふに同じ。他は聞え

たるが如し。

御氏子等我。心乃底比思謀禮留。此度乃業乎。咎賜布事无久嫌賜布事

无久。御氏子等が、心の底より相談して、今回合祀することを、咎め給ふことなく嫌ひ

給ふことなく」となり。

御心穩仁。此乃御殿乎出立多世坐志氏。彼所乃神奈備仁遷呂比坐世。

御心穩かに、此の御殿を出で立ちなされて、かしの神社に遷りませ」となり。

先仁告介奉里志事乃如久。大神乃御靈乎。何神社仁遷志奉里。齋支奉

良牟刀志氏。聞えたるが如し。

草木毛眠留。小夜中仁。僕我弱肩仁。太禰取懸介氏。草木も眠るといへる

真夜中に肩に太き襪をかけてと次句につく。

大御靈乎。頂仁戴支奉里氏。八重絹垣仁差籠里氏。御神靈を頭上に戴き

奉りて、八重絹垣幾重にも絹の幕を垣の如くに引き廻らすものの中にこもりてとなり。遷宮の途中の状なり。

御氏子等波。種種乃神寶乎持撃介氏。御前仁列並美御後仁群立知氏。

氏子共は、いろいろの御神寶を持ちて、御前後に群り列りてとなり。

某等我思慮乃列良奴隈仁。過犯左牟事有良牟。某共が思ひの及ばぬ場合、に過ち犯さむことも有らんとなり。

今宵乃遷座。事過多受麗志久仕奉里終閉志米給閉。聞えたるが如し。

御氏子等乎阿登母比。庭雀宇須受末里居氏。御氏子共を誘ひ立て、庭雀の如く群り集り居てとなり。

此乃敷座世留大宮内仁鎮座寸。何大神乃御前乎始米氏。此乃瑞乃御殿乃内仁。今志毛遷志奉里座世奉里氏。鎮米奉里齋支奉留。聞えたる

が如し。語の解前に在り。

政府乃御趣仁。隨奉里與曾里奉里。政府より、合祀せよとある御趣旨に従ひ奉りてとなり。與曾里とは、依り従ふこと、準ふることなり。

何里里乃公民等諸我。力乎戮世心乎同久志氏。聞えたる如し。

相睦比相親美津々。清支明支真心仁。嚴志久賑賑志久。折節乃御祭乎仕奉里。御氏子共相親睦しつゝ、清き赤き真心にて、嚴めしく賑々しく、時々の御祭を仕るとなり。

前仁告介奉里志如久。大御分靈乎遷奉良牟力。前に、大神の御分靈を請ひ祀りたし、と申し、如く、今これを選し申さむとてとなり。

此乃鏡乎御璽刀齋比定米氏。畏加禮杼毛。大神等乃大御靈乎移志奉良牟。この鏡を、御靈代と齋み清め定めて、畏けれども、大神等の御靈を、この鏡に移し奉らむとなり。

奇魂幸魂。無窮仁留米賜閉刀。奇魂幸魂は、和魂とて、平和なる神靈の御徳用を申す名なり。その魂を、神璽に留め給へとなり。

何某伊。豫氏神乎敬布志深久。平常仁大神乃大御德乎慕奉里。聞え

たるが如し。

此乃社仁世世鎮座氏。數多乃年月乎歷給比志毛。聞えたるが如し。
仕奉留氏子乃家數毛少久氏。終仁荒蕪牟事乎恐禮氏。聞えたるが如し。

近支渡乃加會氣支社社乎。集閉奉里合世奉禮刀。仰世賜布御掟乃隨仁。近邊の小さ加會氣支社どもを合祀せよと仰せらるゝ政府の御掟によりてとなり。

何里仁鎮座寸何神社乃。伊豆乃御璽代乎。吾我大神乃御殿乃内仁。移志奉里坐世奉里。合世奉留事刀付成志多留。伊豆乃御璽代は尊く殿しき御神體なり。他は聞えたるが如し。

某神乎。大神乃御座邊近久座世奉里齋支奉良久乎。咎米賜波受。嫌賜波受。許賜比諾賜閉。聞えたるが如し。

今般此乃神殿乎仕奉里。畏久毛大神乎招奉里氏。尙大御幸乎蒙良麻志刀。このたびこの神殿を造營して、畏れ多くも大神を招き奉りて、尙一層御幸福を蒙らむとてとなり。御分靈鎮座祭の語なり。

此乃御殿乎。天乃御蔭日乃御蔭刀鎮座坐志氏。語の解前にあり。
天地日月刀共仁。無窮仁大御坐世。天地日月と共に、長へにこの宮にましませとなり。

此乃何山乎。咲花乃美麗志山。照月乃清潔介支山刀撰定米氏。この何山を咲く花の麗はしき山、照る月のさやかに清らなる山と、擇び定めてとなり。
瑞乃御殿營立氏。遷奉里齋奉留。聞えたるが如し。

大神乃御鎮座須事壽祭里仕奉留刀。供奉留物波。大神の鎮座を祝ぎ奉り申すとて、供へ申すものはとなり。
此乃御山仁繁立留樹樹波。大御稜威乃立榮衣牟徵兆奈里。此の御鎮座の山に繁り立てる樹々は、御威光の立ち榮えむとするし、さざしなりとなり。

此乃御山仁並立氏留巖波。常磐堅石仁鎮坐左牟祥瑞奈里。聞えたるが如し、解前に在り。

大神乃大御德乎仰尊美。啼子奈寸慕奉里。仰乞祈美迎奉里志忠士等波更那里。大神の御德を仰ぎ尊みて、幼兒の母を慕ふがやうに、慕ひ申し乞ひ願ひ迎へ申し上げし、忠實なる人々はいふも更なりとなり。

此乃里内仁住米留御民等我。家内安久穩仁作寸業乎。月仁日仁異仁進米志米。聞えたるが如し。

〔作例〕

神社合祀(合併)奏上詞案

(神職必携)

掛卷母畏支。何神社乃御前仁。社格何神社神職姓名。慎美敬比母白左久往古與里。此乃所爾天御蔭日御蔭仕奉互。尊美敬比仕奉里來奴留乎。進行久今乃世乃性止。萬事良漸漸爾移呂比津々。彌事繁久成持行久奈反爾。或波不意事乃起良比。或波異變爾觸互。御垣乃下崩壞衣。御軒乃端朽傾加牟事等乃在良武爾波。恐支事乃極美爾志有禮婆。千代掛互。斯有留枉事乃出來邪羅牟由母我止。何時毛。不樋行水乃人知受。思煩比津々有留母。不便心乃美古曾進毘津禮。猶事八行波禮受互有乎。今回政府乃仰言以氏。諸神社爾。無禮遺憾支事乃發生良奴前仁。善久良久事議里確定奉禮止。訓令坐世留古曾悅志久嬉志介禮。爰乎以

氏。御氏子(信徒)諸。慎美議里重美議里互。畏加禮杆(社格何神社爾遷志)〔此郷乃地名〕乃可怜地乎宮所止撰定互。何神社何神社止同御殿爾合世坐世奉里。更仁御社乃御名乎。何神社止稱奉互。常久仁仕奉良武事乎。先政府仁請願白志々可婆。即願乃任仁許可坐世里支。〔又八往古與里。此乃地仁鎮坐互。人民乎守幸方給布我故仁。尊美敬比仕奉里來奴留乎。今般政府乃訓令乃任爾。社殿乃永遠爾確實仁。御榮座左牟方法乎設備方奉良六止。御氏子(信徒)諸。詳細仁相議里議里津禮杆。御氏子(信徒)乃家數毛最多加良奴我故仁。其力乃及倍久毛有良彌婆。宮柱太久堅支神社仁。遷志合世祀里互。千代萬代仁仕奉良六由乎。先政府仁請願。即許可座世留任仁。畏介禮杆何村何神社仁移志合世仕奉良武止須。故恐美恐美母此由奏上奉良久乎。平穩仁聞食相諾比給比互。種種仕奉良武事仁。漏落六事乃有良無乎婆。見直志聞直志給方止。禮代乃物乎捧持互慎美敬比毛白須。〕

合祀先神社奏上詞案 (同上)

掛卷母恐伎。社格何神社乃御前仁。何神社職姓名。恐美恐美母白左久。今回畏加禮杖。嚴乃御殿乃內仁。社格何神社乃御樋代乎。遷志合世坐世奉良牟止須留我故爾。此由奏上奉良久乎。相諾比聞食世止白須。如此聞召豆婆來牟良日仁。御遷里乃式仕奉良牟。故今日與里始米豆。御殿乃內外齋比回里。種種乃業仕奉良牟事乃洩落牟乎婆。神直日大直日爾見直志聞直坐豆。輔比助介給方止。禮代乃物捧持豆恐美恐美母白須。

合祀 合祀先神社奏上詞案 (神職必携)

掛卷母畏支。何神社乃御前爾。職氏名慎敬比母白左久。先日爾。社格何神社乃御樋代乎。此乃御座爾遷志。合世坐世奉良牟事乃由乎。奏上奉里支。故今日乃此日爾。遷志坐世奉良牟止爲留狀乎。平穩爾聞食世止。慎敬比母白。

合祀(合併)社動座奏上詞案 (神職必携)

掛卷毛惶支。社格何神社乃御前爾。社格何神社職姓名惶美惶美毛白左久。去志何月何日爾。社格何神社爾何神社乃同御殿爾。遷志合祀良牟事乃由乎。奏上奉里支。爰爾。種種爾御裝束乎整幣奉里豆。今日乃良日乃良辰爾。御氏子(信徒)等齋回里清回里。參來集豆。御尾前仕奉里。慎美敬比御遷行乃式仕奉良武止須。故此。事狀乎。平介久知食豆。伊須呂許毘不志許理給布事無久。大御心毛平穩爾。遷行座世止。禮代乃物乎捧持豆恐美恐美毛白須。

合祀(合併)鎮座奏上詞案 (神職必携)

掛卷文畏伎。某神等能御前爾。社格何神社職姓名畏美畏美母白左久。言卷波畏加禮杖。天皇陛下能。深支遠支大叡慮爾。依會留。官々乃旨趣能隨爾。宇豆乃御前乎。彌永久爾齋比治米奉良牟止。今志。此乃何神社乃高御座爾。遷志(合世)鎮米坐世奉里奴。尊支加毛。愛支加毛。自今以後。

此乃御殿能千木乃彌高爾。此乃御垣乃岩乃彌固爾。御山乃松之根彌遠爾。神園乃竹能長代爾。廣久厚久仕奉良牟。天晴。此由神隨母平介久聞食。安介久鎮里座。御心乎一毘。御力乎協世給比。天皇我大御世乎。天壤乃與彌長仁。彌隆爾隆志米奉里給比。御氏子信徒等乎。月日乃共。彌遠爾撫給比惠給幣止。禮代乃色色乃物乎捧持。畏美畏美母稱言竟奉良久乎。開手乃音乃彌高爾。聞食世止白須。辭別。何神社乃御前爾。白左久。今由後。某神等止御力乎協世給比。天夜乃守日乃守仁。守里幸方給幣刀。恐美恐美母白須。

遷靈祭祝詞

阿夫利神社祝詞集

挂覓久母畏支。阿夫利神社登稱奉留。大山祇大神乃大御前爾。祠官權田直助。畏美畏美母白須。志那佐加流越後國。南魚沼郡東泉田村乃御民。今成茂吉乎始米。同志乃四人乃者等。年來大神乃綾爾奇之久。綾爾妙奈留御靈德乎仰伎尊美。朝暮仁齋奉里。仕奉里都々在里介留。尙月

爾日爾異爾。大御幸乎蒙禮留事乎之。畏奉利辱奉利天。爭此乃里內爾鎮奉利天。此乃里乃守護神登之天仕奉利天。各毛各毛。我家內平安爾。子孫乃幸乎毛祈奉良婆耶斗。相共爾思起之天。其乃村內奈留姥澤山乎。朝日夕日乃直刺所。山川乃清介伎處。此所會宜之伎鎮坐處斗撰定米天。既久大御社乎營立天天。大神乎招奉良万欲之斗。其乃地乎管轄留。同國奈留新潟縣廳反左反申出天々。其乃許可乎受介。即此乃御山仁參上來天。大神乃大分靈乎。移奉里天與斗乞出天多利。其波甚畏久容易加良奴事爾之有禮婆。一回二回波言斷之可杼毛。仍止万傳。數回爾奈母成禮利介留。爰爾僕等。其乃事情乎考布留爾。雲居遙介支國邊與里。數數參上來之。其乃心盡之毛。勞之久。且其乃真心爾感介天。一向爾波辭難久天。其乃乞爾任世都留爾奈毛。故畏久毛大分靈乎乞奉利天。彼所反送奉良牟斗仕奉良久乎。神隨所聞食世斗白寸。如此所聞食天婆。此乃明治十四年斗云布年乃。四月乃二十七日乃日乎。活日乃足

日乃吉日斗齋定米天。照徹禮留眞澄鏡乎。此乃御山乃高嶺與里。佐久那大利爾落激都。二重乃瀧乃瀧瀨爾振濯支天。御靈璽登之天。御靈遷之乃行事仕奉良久乎。御心毛多親爾所聞食之諾賜閉止白寸。如此乞奉利天。今日乃御饗止供奉留物波。御酒波饗邊高知利。御食波杯上爾盛並倍。甘菜辛菜種種乃物乎置足波之天獻良久乎。甘良爾所聞食世斗白須。

○神門、石垣等、その他營作の奉告祭

〔語例〕

某伊。大神乃御前仁。參來拜美仕奉留。赤心乃眞心乃餘仁。某が大神の御前に詣うて來て、拜み申す眞心の赤心の溢るゝ餘に、云々のことをなすと云なり。今回、此乃御社乃御門仁通布直道乃末仁。新仁。鳥居乃云布御門乃形乎。造里立仕奉里奴。このたび、この御社の御門に通ふ眞直なる道のはてに、新に鳥居といふ門の形したる物を造り申したりと云なり。

玉鉾乃道行通諸人毛。道行振仁此御門乎仰支氏。是乃御前乎遙仁拜美奉良牟。玉鉾のは、道の枕辭なり。道行振は、道を行く時になり。他は、聞えたるが如し。

大神乃御稜威波。此乃鳥居乃彌高久。御垣乃松乃千代掛介氏。現波衣行牟。大神の御威徳は、この鳥居の高きがごとく、いや高く、御垣にそひて立てる松の千代の末の齡かけて現れ行かむとなり。

大神乃恩頼乃千重乃一重乎志。報奉良牟我爲仁。聞えたるが如し。御前乃御坂與里始米氏。其乃右左仁玉墻乎。建築仕奉良牟刀思起志氏。神社の御前なる御坂より始めて、其の左右に、玉墻を作りわたさむと思ひ立ちてとなり。

此乃何年何月。工匠等乎喚集閉氏。事始米仕奉里。この何年何月に、工匠共を喚び集めて工事始をなさしめてとなり。

御社近久住米留許多乃者等毛。力丁刀志氏。手力盡志氏仕奉里。御社の附近に住める多くの人共も、人足となりて力役を致してとなり。

此乃玉墻暴風暴雨乃災害無久。常石仁堅石仁守幸給閉。聞えたるが

如し。

如此勞支仕奉禮留者等我赤心乎。神隨毛阿波禮刀見行志。語の解前にあり。

如此須牟也介久。其事竟奴留波。かやうに速に其の事を成し終へたるはとなり。

夜中曉時刀休息無久。淨支明支心。正支直支言以氏。諸人乎誘布仁依里。晝夜を分かつ休むこともせず、人々を誘ひ催し立て、工事につとむるによりてとなり。

眞木佐苦檜乃孀手乎乘世太留舟波。棹柁不干海川仁滿都都氣。眞木佐苦は、檜の枕詞なり。古は、斧などもて、材木を析きて用ひたる故、檜にかけて、いへり。檜の孀手は、荒づくりの材木なり。これを乗せたる舟は、棹柁の干る間もなく、絶えず海川に多くの舟を滿ちついでてとなり。

石積美多留車波。長道間無久立續介氏。石を積み載せたる車は、長き道に絶間なく立ちついでてとなり。

御馬屋乃軒傾支。下奈留板毛朽知氏。由々志久荒奴留乎。宮司等歎愁

氏。神馬を飼へる御廐の軒傾き、敷板も朽ちて、甚しく荒れたるを、神職たちの歎き愁ひてとなり。

神税乎不用志氏。美麗久造里奉里奴。神社の費用をつかはすに、美麗に造り奉りたりとなり。

御馬乃前足爪。後足爪志氏。石根仁踏堅米氏。馬の前後の足もて、地下迄も踏み堅めてとなり。廐を建つる時の祝詞に用ふべし。

被雇多里志。木工瓦葺等毛。怠緩事无支仁依里氏志。如是在良志。雇はれたる大工や、瓦師なども勉強せしに由つて、かやうに速に出来上りしならむとなり。

然有禮婆。皇神乃御心仁毛。喜志久念寸倍志。かやうにあれば、皇神の御心にも、嬉しく思ひ給ふべしとなり。

此事仁預里多留人等乎。長久平久護惠美給比。聞えたるが如し。並立津巖波。劔刃如寸曾里立知。並び立つ所の巖は、劔刃の如く聳え立つとなり。

樹樹乃根延波。蛇如寸蟠里氏。樹々の根の廣れる状は、蛇の如く蟠りてとなり。

仰支見留左閉仁。心醉比魂消江氏。參登里得倍支仁有左里介里。その山を仰き見てさへに、心るひ魂も消えて、參り登りうるることかなはざりきとなり。

〔作例〕

鳥居工事始祝詞

〔祭文私稿〕

此乃(地名)乃底津石根仁。宮柱太知利。高天原仁氷木高知利天。美豆乃御殿仁。天乃御蔭止隱坐之天。敷坐須是乃里人乎。夜乃守日乃守仁守幸給布。掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母白佐久。今度。某伊眞木柱太伎心乎思起之天。大神乃高久尊。伎御稜威乎良。堅磐仁常磐仁顯之示之奉良武止。諸人仁議良比。東行西行伊往伎毛止保利。許許太久乃里人乎説誘比。太久高伎石乃鳥居乎築伎立奉良武止。今日與里始天。石工仁誂底。山乃堅石乎切始米。工事仕奉良久乎。宇豆那比給比。異伎怪之伎禍事無久。麗之久造竟反之米給反止。種種乃幣帛乎捧奉利天。恐美恐美母白須。

同落成式祝詞

〔祭文私稿〕

掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母白佐久。先仁。大神乃大前仁禱白之天。造奉良武狀乎告奉里之鳥居波之毛。思起世留某乎始天。石工手人。諸人。旦暮仁忘留々事無久。晝夜不知仁緩怠留事無久。彌進仁進美。彌締仁締利底。心足比仁麗之久。太久高久築建奉利介良久波。即大神乃大御心止。嬉美尊美。今日乃生日乃足日爾。如此諸乃人等。大前仁參來集比天。御祭仕奉利。種種乃幣帛捧奉利天。伊波比拜奉良久乎宇豆那比給比。過犯之介武事乃有良武乎婆。神直日大直日仁。見直之聞直之萬志天。奉留幣帛乎。安幣乃足幣止。大御心毛多親仁。平介久安介久聞食世上。恐美恐美母白須。

神社石垣工事始祝詞

〔祭文私稿〕

此乃(地名)乃底津石根仁。眞木柱太知利。高天原仁氷木高知利天。天乃御蔭日乃御蔭止鎮坐須。掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母

祝詞作文便覽 語例作例の六

白佐久。大神乃大宮處仁。今度石垣乎築回之天武止。某等思起之天。諸人仁議良比。入紐乃同心仁手力戮世天。今日與利始天。遠近乃山乃堅石切採持來天。事始爲武止。宇豆乃幣帛捧奉利天。禱白佐久乎。相宇豆那比聞食止。恐美恐美母白須。

同成功奉告祝詞

(祭文私稿)

掛卷久母綾仁畏伎。某大神乃大前仁。齋主姓名恐美恐美母白佐久。先仁。某等我深伎心爾思起之天。諸人仁議良比合世氏。同心仁夜半曉忘留事無久志婆之毛息波受勤美務米天。築成奉禮留大宮處乃御石垣波。障留事無久落留事無久。麗之久功畢奉利奴禮婆。今日之母。宇豆乃幣帛捧奉利。神職等乎始天。諸乃人等。如此大前仁參來集比天。齋知利嚴知利。伊波比拜仕奉良久乎。聞食宇豆那比給反止。恐美恐美母白須。

造竟廊石垣祝詞

(藤井高尙祝詞文)

黑田廬戶宮爾座。天下所知食氣留天皇乃。御子奈賀良爾。不奉國乎

治爲止。依左志賜比乃麻爾麻爾。大御身爾太刀取帶之。御軍士乎安登毛比賜比。吉備國遠言向和賜之與利。此處爾神止毛神止。伊都支祭禮流我大吉備津日子命乃大前爾申久。中山乃下津岩根爾。眞木柱太敷多天。細谷川乃奈我禮爾都豆支豆。帶乃如久廻禮留。瑞能廊由由斯久荒奴禮婆。我輩歎愁而國中能人人爾加多良比天。半波新爾造奴禮杆。事竟受之豆。是能年乃年己呂在都留乎。八多部乃里能龜山道本翁去年乃秋。心乎起志豆。山田乃邑乃邑長那理之菊池。親芳年老豆。今者問乃人爾在遠。伊佐奈比須々米奴。此親芳老翁。此里乃眞野守貞翁。鳥羽自馨翁止。言合勢力乎合世天。美麗久造利奉禮里。如此須牟也計久。其事竟奴流者。四人乃翁。夜中曉時止休息無久。淨明心正直言以而。諸人乎伊佐奈布爾依天之。皇大神乃敷座留里能五百里墜事無久。民等參來集比。眞木佐苦檜乃孀手乎能勢多流舟波。棹柁不干。海川爾滿都都氣。石積多流車者。長道間無久立都々氣兵。麓乃野方爾。如橫山積置豆。

造成多留故爾奈母在計留如此造成都留爾依豆今年文政乃元能年乃八月五日乃日乎生日乃足日止撰定豆由貴能御酒御贄雜物乎皇大神乃大前爾置足波志豆宮司祝部等言壽白志後爾宇事物頸根衝拔豆祈禱申事者仕奉留吾輩已乖々不令在護惠比幸倍給比廊石垣奈爾止造留爾物獻利志人々其事取志四人乃翁參來集比之民乎母平氣久木綿花乃佐加叡志米賜倍止恐美恐美申爾奈毛

造竟御廐祝詞

(同人 同上)

我皇大神乃大前爾申久御馬屋乃由々志久荒奴流乎宮司等歎愁而年經爾之乎今年此國能賀夜郡山內登云所爾住流中西恒高心遠起志豆國中乃人諸乎伊佐奈比須須米天遠山近山能大木小木乎打伐採豆持參來豆神稅遠不用志天美麗久造理奉利奴伊登毛以止母勤志久大那留功爾奈母有氣流曾曾毛毛御馬波振立留耳能高支貴支神乃祭爾者古昔與利必牽立流事爾豆古伎祝詞爾毛御馬爾御鞍具

氏止言支然伊倍婆神乃乘利給布物爾豆其屋母大與曾爾波思布麻自伎事爾奈母有流乎如此造利奉禮留者喜志久與呂許保志伎事爾有氣利太敷立志柱乎御馬能前足爪後足爪志豆石根爾踏堅米豆波萬千年爾動事無久皇大神乃敷座須地佐夜宜無久恒高我壽波手長乃壽止幸倍給比其家內乃人又恒高爾伊佐奈波禮都留諸人毛平久安久此中山乃松葉奈須常磐爾堅磐爾令榮給倍止恐美恐美申須

開始御山道祝詞

(阿夫利神社祝詞集)

掛卷母畏支大雷神乃大御前仁祠官權田直助祠掌若菜廣道宮西諸助及神部諸齋志里嚴志里畏美畏美母白須言卷母畏可禮杼母風乃音乃遠伎神世仁伊莽諾伊莽冉乃二柱乃大神大八洲國乎始米所々乃島々乎生賜比又八百萬乃神乎生賜比之時仁眞名弟子仁火産靈神乎生賜比其神乃御靈仁因里豆大神等乃生坐志支斗現身乃世仁語次言次來介利然留故仁相共仁神議々坐氣留爾耶此乃御山乎朝

日乃直刺地。夕日乃日照地。見我欲山。可美山止見行之。各母各母愛所
 思地仁。鎮座都留中仁。大神波母。大御名乎。御山乃名仁佐反。負世給比。
 此乃高嶺仁。宮柱太知立。高天原仁。氷木高知里。豆鎮座里。故仕奉留神
 官等。爭大御前仁。參上里。豆御祭美之久。仕奉在止。爲留仁。大神乃大稜
 威仁也。並立都巖波。劔刃如寸。曾里立。樹々乃根延波。蛇如寸。蟠里天。仰
 支見留左倍仁。心醉比。魂消江。豆參登里得倍支仁。有左里計留乎。今度
 某等。畏次母御坂道乎。開支天在止。思起之天。老乎忘禮。利心發之天。去
 之三月乃二十三日。巖根攀知。木根踏裂美。豆。梶弓乃始米。豆。親久大御
 前仁。參上里得田里志波。大御許乎。蒙禮利介利登。嬉奉里悅奉里。豆。祠
 掌若菜廣道。宮西諸助斗相議里。豆。神部等諸乎。率。豆。同心戮力。豆。勤美
 仕奉里。事速久。其事成介禮波。此乃明治八年四月乃十四日乃日乎。活
 日乃足日止。撰定米。豆。御山開乃御祭仕奉留斗。獻留物波。榮留物止。五
 百枝真坂樹仁。和介支物斗。青幣白幣。輝久物斗。八坂勾玉乎。取著介。八

十玉籤。登持捧介。御酒波。囊乃上高知。囊乃腹滿並倍。御饌波。餅乎彌高
 仁取重禰。天乃真名井斗。汲取禮留。岩井乃水。須磨乃海士乃清支。渚仁
 燒凝世留。真白鹽。大野原仁。生榮留。甘菜辛菜。大海原仁。繁生留。鱒乃廣
 物鱒乃狹物。奧津藻。邊津藻仁。時自久乃香乃木實乎。取加反。豆。横山乃
 如久打積置。豆。稱言竟奉良久止。白須。如此稱言竟奉良。婆皇孫命乃大
 御代乎。手長乃御代乃。足御代乃。嚴志御代止。奉齋親王等。臣等。百官乃
 人等乎。五十榎彌桑枝乃如久。令立榮賜比。天下乃公民乃。將取作。奧津
 御年乎。八束穗乃茂穗仁。成幸比。賜比。今日與里始米。豆。大御前仁參詣
 里。豆。大御幸乎。乞祈奉留者共波。更那里。此乃町内。此乃鄉中仁。住米良
 牟者等我。爲業乎。彌進仁。進萬志米。賜比。集禮留神官等乎。彌遠長仁。御
 祭美志久奉仕志米。賜閉斗。鶉成伊波比。回里。畏美畏美。白須。

七、官公私の建築、及び土木に關する諸祭の祝詞

○基礎祭、上棟祭、室壽等

〔語例〕

公民乎撫給比。治給波武刀志天。何乃官衙乎建兵。官人乎増志給波牟刀。人民を撫で治めむとて、何々の役所を建て、官人を増し給はむとてとなり。

此乃里仁。何官衙乎置支兵。事執里麻加奈波志米牟刀兵。事執里麻加奈波志米牟刀は、事務をそれ／＼に執り行はしめむとてとの意なり。他は、聞えたるが如し。

今日志毛。其基礎乎据初米牟刀志天。今日、其の建築の土臺を据ゑむとてなり。

何銀行乃大室屋乎建牟刀。大地乃底津石根築固米事始米、爲牟刀志天。何銀行の大家屋を建てむとて、大地の底に石を入れて築き固めて、工事始をなさむとしてとなり。

東南乃隅乃大柱根乎。堅磐仁築居始牟留乎以兵。基礎祭、地鎮祭などに用ふる語なり。聞えたるが如し。

大工小工乃工事乃本末過多受。聞えたるが如し。

手人等乃手躰足躰有良志米受。上に解けり。

金銀花咲久大御世刀。與仁榮江。金銀の花咲く如き、み盛りの御世と、共に此の建物も榮えとなり。

火乃災无久。雨風乃難无久。匠等丁等。相親美相睦比兵。己賀向々爲左志米受。工事中の願ひごととなり。語の解前に在り。

日仁異仁。取用布留器械乃。幸久眞幸久。聞えたるが如し。勤勉すれば、勤米波勤未牟隨。勉牟禮婆勉牟留隨仁。効有良志米給比。勤勉すれば、するほどに、効果あらしめ給へとなり。

家内饒毘榮衣。産業乃事毛。年々仁榮衣往久隨爾。聞えたるが如し。塗籠乃藏造事始米牟刀爲兵。塗籠とは、土藏のことなり。

荒金乃。此乃大土平介久。荒金は、土の枕辭なり。置並留百千乃基礎動受。置き並べたる多くの基礎の土石などの動がすとなり。

去年乃冬。某我居處乎。此處止定米兵。聞えたるが如し。

何月乃頃與里。木匠等勤美勞支。聞えたるが如し。

祝詞作文便覽 語例作例の七

今日乎吉日乃吉時乃撰定米氏。新室建築。卒乃志氏。聞えたるが如し。
新室は新宅に同じ。

皇神等乃御前乎。齋比奉里氏。地鎮祭仕奉良卒刀。聞えたるが如し。

此乃家地波。上津岩根乃極踏堅米。下津岩根乃極美突凝志。土地の上
部にも、底の方にも、岩石を入れて、踏み固め突き固むるをいへり。

動事无久崩留事无久。常地乃靜庭刀。幸久眞幸久在良志米賜閉。建
物の敷地を、常地かはらぬ地靜かなる庭として、幸に幸福に在らしめ給へとなり。

突立留柱波堅久。打互須桁梁波平加仁。撓卒事无久緩布事无久。壁草
乃曾々伎亂落受。語どもの解前にあり。

此家乃門彌高仁。此家乃業彌廣仁。聞えたるが如し。

今志此新廳。清久嚴志久高久廣久。工事毛全久畢奴留乎以氏。今、こ
の新なる役所が、清く嚴めしく高大に、工事毛全く畢りたるを以てとなり。

引居志五百箇石垣。動久事無久。引き來て居るし數多の石の垣の、動くこと
なくとなり。

築建志百八十柱。傾久事无久。築き建てし、あまたの柱のかたぶくことなく

となり。

入居氏事執留人等毛。彌進仁彌勵仁。勤米結里氏。役所なり、學校なりに

入り居て、事務を扱ふ人々も精勵してとなり。

公民諸乃爲仁。便乎得志米。利乎受志米。人民一般のために、便利を受け得
しめとなり。

手置帆負。彥狹知命乃。傳給比志家造乃業。上の二神の傳へ給ひし家屋建

築の業をとなり。

工匠等賀思過事无久。調和成多留此新室。聞えたるが如し。

五百年千年毛住卒倍支家居。家居は、家屋と同じ。

大神等乃御惠仁依里氏。築建畢奉禮留此室。聞えたるが如し。

竹乃根乃伊波布家。薦蔓乃長支舍。竹の根の長くはふが如く、薦蔓の長き

が如き、長くつづく家と祝ひたるなり。

打堅米多留板乃。廣支厚支御守。この家に打ち堅めたる板の、廣く厚きが如

き、廣く厚き神の御守となり。

火結神乃荒毘无久。科戸邊神乃進比无久。火の神の荒びによりて起る火

災なく、科戸邊神の進びにて起る風害なくとなり。科戸邊神は風神なり。

家内乃者乃齡波。突立太留柱乃。太久長支賀如久。聞えたるが如し。

子孫乃末波。取並多留蘆葎乃。彌繁支賀如久。蘆葎は、榎の上におくものに

て、蘆葎及小竹などを用ふ。故に繁きにいひかけたり。他は聞えたるが如し。

荒山乃真木乃大木乎。本打切末打斷氏。荒山即ち奥山なり。大木の本末を

打ち切りて、中間を取りてとなり。

柱波太次高久。板波廣久厚久打堅米氏。聞えたるが如し。

此乃高樓乎。伊豆乃真屋刀齋比定米氏。伊豆乃真屋云々は、清く美しき祭

場と、齋ひ定めてとなり。

天津奇護言以氏。言壽鎮米白左久。天つ御國より傳はれる、奇しき靈驗ある

賀詞を以て、言ほぎ鎮め申すとなり。

此乃燬舍乎。可美舍乃。嚴志舍刀。守給比幸給閉。この學校を、美しく嚴め

しき校舎と、守り幸へたまへとなり。

身體健康仁。精神剛強久。事有良婆身毛棚知良受。勇美進美氏。清支名

乎顯寸倍支物仁有里。

棚知良受は、ただ知らずと云ふに同じ。他は、聞えたるが

如し。

今志。天下仁立列。連留國々島々。互仁競比爭比津々。只今、天下に列れる

國々島々、何れもく互に競争しつゝとなり。

心乎鍊里身乎鍛比氏。苦仁耐閉。難仁忍布力乎志毛。養比育氏々那毛

有留。身心を鍛鍊して、苦難に耐へ忍ぶ力を養ふとなり。

愈此乃事乎擴張牟刀。此度新仁。此乃會場。清久嚴志久建設介奴。い

よく、某會の事業を押しひろげむとなり。他は、聞えたるが如し。

會員諸乎集閉氏。新室壽執行布刀。聞えたるが如し。

細戈千足乃名毛著久。養比育氏牟人乃骨格固久。皮肉肥衣志米氏。

細戈千足は、よき武器の充足せる由の國名なり。此の名にかなふやうに養ひ育てむ

人の體格を剛健に、皮肉肥えしめてとなり。

内仁波。廣久豊介支。産業乎興志。大御國乃富乎増志。國內には、廣く豊に

産業を興して、富を増進してとなり。

外仁波。武久雄々志支稜威乎振比氏。大御世乃光乎輝志。外國には、武

く雄々しき威光を振ひて、今の大御代の光を輝してとなり。

高支功。芳志支名乎。萬世仁立。氏志米給。聞えたるが如し。
〔作例〕

官衙建築基礎祭祝詞

〔祭文私稿〕

此乃地乃荒草刈拂比。芥塵掃清米。土搔平之。石取除。伎天。忌竹刺立。注連曳回之。神籬立天々。招奉里齋奉留。此所乃產土大神。大地主大神。屋船久々能智大神。屋船豐受姬大神。工匠乃祖神止座須。手置帆負大神。彥狹知大神乃大前爾。齋主姓名恐美恐美母白佐久。皇御祖天神乃大勅以。皇御孫命乎。天津高御座仁令坐奉里。豐葦原乃千五百秋乃瑞穗國。萬千秋乃長五百秋仁。安國止平介久知食世止。事依給比天。天石座放知天。八重雲乎伊都乃道別仁道別伎天。天降之依給比之。天津日嗣乃隨仁。歷代皇統唯一系仁傳來座之。天壤無窮爾。公民乎撫愛給比。掟治給波武斗。官衙乎增之。官人乎殖之給波久斗。此町仁毛。何乃官衙乎置伎天。執務志米武斗。今日之毛。其基礎乎据初奉良久斗。

進留禮代乃幣帛乎。安幣帛乃足幣帛斗。所聞食受給比天。此官衙乃作畢。反武日萬傳波。雨之降留登母長伎事無久。風乃吹久斗母荒伎事無久。工匠手人等賀。不意過有利斗母。神直日大直日爾。見直之聞直之坐之天。咎給波受。崇給波受。夜乃守里日乃守爾。守幸反給比天。落留事無久。漏留事無久。高久廣久堅久美之久。造營美成就之米給反斗。恐美恐美母白須。

日本銀行建築地基基礎祭詞

〔諄辭集〕

是乃齋場爾。神籬建。豆招齋比請祈奉留。此地乃產土大神乃御靈乃御前爾。齋主大教正本居豐穎畏美畏美毛白佐久。是乃地爾。日本銀行乃大室屋乎建都刀。大土乃。底津石根築固米成之。今日乃生日乃足日爾。東南乃隅乃大柱根乃堅磐爾。築居惠。事始奉留乎以。先大神乃宇豆乃御前乎拜美。神壽稱辭竟奉留事狀乎。平氣久聞食相宇豆那比給比。此大工事乃本末過多受。手人等乃手躡足躡有良志米受。速氣久

事成竟志米。是乃日本銀行乃事業乎毛。金銀花咲久御世乃大御代乃。春乃朝日乃豐榮登爾。彌遠永久立榮衣志米給幣刀。今與里後乃年月久爾掛豆。齋比乞祈奉留禮代乃物波。豐御酒。豐御饌。海川山野乃多米津物乎。置滿足波志捧氣奉里。手掌膠亮爾拍上豆。恐美恐美毛白須。

帝國劇場基礎式祭典詞祝

(久保直隣稿)

此乃神籬仁招齋比坐世奉留掛卷毛畏支。產土大神乃宇豆乃御前仁。齋主位氏名畏美畏美毛白左久。古乃遠皇祖乃大御詔仁宣給波久。上下乎齊倍和介氏。動无久靜仁有良志奉留仁波。禮刀樂刀二都並毘氏志。平介久長久有留倍志刀。宣給閉里。禮乃事波置支氏白左受。歌舞乃伎波。其乃源遠久神代與里出傳氏。流乃末波世々仁絕衣受。今乃現仁傳波里氏。或波雅仁。或波俗仁。其乃派波種々仁分禮來奴禮杆。大御詔乃本乃心波。一筋仁亂禮左里介里。加久氏今乃世仁行波留々。歌舞乃伎波種々有禮杆。斯賀中仁歌舞伎刀云布俳優波志毛。其乃伎殊仁巧

仁精久氏。時世乃勢仁毛。人乃情仁毛克久適閉留乎。是將萬乃物事日仁月仁開介行久。此乃新世乃大御代仁當里氏波。尙彌々研支究米氏。益々改米進麻志奉倍久。繼支氏波。此乃伎執行布場毛。當昔乃狀仁氏波。便良加良奴。事多加留波。自然那留世乃理奈里。是乎以氏。此乃伎仁志篤支人等。去之明治三十八年乃頃與里思起之氏。同心乃人々乎毛誘比催志。互仁相談良比事議里氏。遂仁此乃地仁。和邪遠伎乃場。新仁嚴久美久造里設久倍久事定米氏。其名乎毛帝國劇場刀負世氏。今日乃生日乃足日仁。大柱根乃礎石築支固米事始米奉刀須。故先此乃事乃狀乎。大神乃大前仁告奉良久刀御酒御饌。種々乃物等捧奉里氏。御祭仕奉里。拜美言壽稱閉奉良久乎。平介久安介久聞食志氏。此乃工事。過津事无久違布事无久。速介久事成竟志米給比。此乃場乃底津岩根彌固久。高知藁彌高久。立榮衣奉事波。白寸毛更那里。此事業仁勞支關留人乃上乎毛。今與里後乃年月掛氏。守給比幸給比。彼乃大御詔仁宣

良志給比志事乃如久。上下齊比和支氏。動久事无久靜介久。平介久。遠長仁功立之米給附刀。畏美畏美毛。祈奉良久刀白寸。

倉庫新築地鎮祭祝詞

(祭文私稿)

此乃齋庭仁。注連曳回志。比母呂伎立天。招奉里令坐奉留。掛卷母綾仁畏伎。大地主大神。屋船久々能智大神。屋船豐受比賣大神乃大前仁。畏美畏美母白左久。此家乃主某伊。是里仁住美天與里。已來日夜大神等乃。廣伎厚伎恩賴乎之。被奉里豆。年麻禰久家內饒毘。產業盛仁。種々乃財。日仁異仁添行伎天。今度塗籠乃藏造良武止。今日乃生日乃足日乎。吉日止撰定天。大地平介久。石礎爲武止。先其事乃狀乎。大神等仁禱白志天。御祭仕奉利。種々乃幣帛捧奉里。拜奉良久乎。相宇豆那比給比天。雨降里風吹伎。地震布留止毛。居惠多留石乃動傾久事無久。取舉多留棟木。桁梁乃動鳴事無久。壁草乃亂落留事無久。迦具土神乃。神荒仁燒亡。須事無久。怪志伎麻賀事有良志米受。麗志久造成左志米給反止。恐

美恐美母白須。

同上棟式祝詞

(祭文私稿)

此乃齋場爾。忌竹挿立。注連曳延反。比母侶伎立天。齋回利清回利。招奉利令座奉留。掛卷久母畏伎。屋船久久能遲大神。屋船豐宇氣比賣大神。手置帆負大神。彦狹知大神。大地主大神。宇夫須奈大神乃大前爾。恐美恐美母白左久。今日乎生日乃足日止撰定天。此某我塗籠乃藏乃上棟式仕奉利。宇豆乃御酒御食。海川山野乃種々乃物乎。八取乃机仁置足波志天。進利。玉串持捧介天。伊波比拜奉良久乎。相宇豆那比給比天。底津石根乃伎波美。青雲乃靄久加岐利。波布蟲。登夫鳥乃禍無久。火之加具土乃踈備荒布留事無久。此藏內仁這入利這出留家人男女仁。異志岐怪志伎災事無久。此家乃門彌高仁。此家乃業彌廣仁。春秋遠久富足良比。牟久佐加仁立榮衣志米給反止。恐美恐美母白須。

新室壽詞

(同上)

此乃神床乎。嚴乃神床止。齋回利清回利。招奉利令坐奉利。齋鎮奉留掛。卷久毋畏伎。宇夫須那大神。屋船久々能遲大神。屋船豐宇氣比賣大神。生井大神。榮井大神。津長井大神。阿須波大神。波比岐大神。奧津比古大神。奧津比賣大神。豐磐牖大神。櫛磐牖大神止。御名波申志天。天津奇志祝言以天。言壽白左久。大神等乃廣伎厚伎大神。惠仁依利天。築建舉奉禮留此室乎。今日乃生日乃足日仁。祝比奉里壽伎奉良武止。大御祭仕奉良久乎。平介久。安良久。所聞食受給比天。此乃某我新室波毛。千年萬世年經止毛。下津綱根。波布蟲乃禍無久。天乃血垂飛鳥乃禍無久。柱桁。梁。戶牖乃錯動鳴事無久。引結倍留綱目乃緩毘。取葺留草乃噪無久。竹乃根乃伊波布家。蔦蔓乃長伎阿良加止。打堅米多留板乃。廣伎厚伎御守乎得天。築建天多留。柱乃太久高久。立榮延武事乎誓奉里約奉里天。進留禮代乃幣帛乎。安幣乃足幣止。相宇豆那比給反止。畏美畏美毋白須。

皇典講究所國學院大學新室祭祀詞

(久保直鄰稿)

荒山乃真木乃大木乎。本打切末打斷氏。柱波太久高久。板波廣久厚久。造里設介都留。此乃皇典講究所國學院大學乃高樓乎。伊豆乃真屋刀齋比定米氏。招鎮米奉留屋船二柱大神乃御前仁。天津奇護言以氏。言壽鎮米白左久。此乃新室波。底津岩根乃極太敷久。礎昆蟲乃災无久。高天原波青雲乃靄久。極高知留薨飛鳥乃災无久。築立留柱。取舉留棟。梁動鳴留事无久。取葺介留板屋。取置介留椽。椽擾支損布事无久。平介久安介久護給布神乃御名波。屋船久々迺運命。屋船豐受姬命刀。御名乎婆稱奉里氏。此乃饗舍乎。可美舍乃嚴志舍刀。守給比幸閉給布。廣支厚支大御稜威乎。仰奉里尊奉里氏。古乃例乃隨。八尺瓊乃御富岐乃玉仁。明和幣照和幣乎附氏。四隅仁取掛介。禮代乃大幣帛乎忌机仁。置足波志氏。齋主位姓名忌麻波里清麻波里都々毛。言壽鎮奉留事乃。漏落牟事乎婆。神直日大直日仁。見直志聞直志氏。平介久安介久知食世刀。畏

美畏美毛白寸。

二六〇

日本體育會場新築落成式祭典祝詞

(久保直鄰稿)

掛卷毛綾仁畏支。皇祖皇宗。又天神地祇等乃大神靈乎。招支奉里齋奉禮留。神籬乃大前仁。恐美恐美毛申左久。現身乃世仁有留人波。尊支卑支乎問波受。男女乎言波受。身體健康仁精神剛強久。平常仁產業乎勤美勵美氏。功乎立氏。事有良婆身毛棚知良受勇美進美氏。清支名乎顯寸倍支。物仁有里。今志天下仁立列。米留國々島々。互仁競比爭比都々。心乎練里身乎鍛比氏。苦仁耐困難仁忍布力乎志毛。養比育氏々那毛有留波。宜然留事那留乎。況志氏。神乃御裔皇乃奴刀誇良留留。我大御國乃國民諸波。爭氏加毛徒然仁過支奴倍支。故此乃日本體育會乃會員諸波。既久與里。此事乎良深久遠久思比議里氏。常仁心乎盡志力乎極米勞支務米都留仁。漸々仁眞盛仁成以氏行久乃美仁有受。政府與里毛。其乃費用乎補比助介給布事刀成奴禮婆。愈此乃事乎押波留計

張里擴米奉刀。此度新仁此乃會場清久嚴志久建氏設介奴。是乎以氏。今日乃生日乃足日仁。會員諸乎齊。閉集閉氏。新室壽執行布刀。先大前仁宇豆乃幣帛捧奉里。拜美畏美毛言賀支奉留狀乎。平介久安介久聞食志氏。今與里後。此乃會乃業乃。彌進美仁進美。彌榮衣仁榮衣奉事波更仁毛言波受。會員乎始米氏大御國乃國民諸仁至留迄。細戈千足乃名毛著久。養比育氏奉人體乃骨格固久。皮肉肥衣氏心爽仁命眞幸久。內仁波廣久豐。介支產業乎興志氏。大御世乃富乎增志。外仁波武久雄雄志支稜威乎振比氏。大御國乃光乎輝志。高支功。芳志支名乎。萬世仁立氏志奉可。守給比幸給閉刀。會員乃末仁列禮留位姓名。今日乃齋主仕奉里氏。畏美畏美毛白寸。

邸宅倉庫新築地鎮上棟合併祭詞

(諱辭集)

是乃地乎靈時止。注連引回志。神籬立豆。招奉里齋奉留。掛卷毛畏伎。神田大神。大地主大神。屋船久々能智大神。屋船豐受比賣大神等乃神靈

祝詞作文便覽 語例作例の七

二六一

乃御前乎。仰伎拜美奉里豆。齋主權大教正本居豐穎恐美恐美毛白佐久。此家乃主人鶴岡辰五郎伊。年麻禰久是乃神田乃地爾住豆。家内饒毘榮衣。産業乃事毛。年々爾廣久盛爾成行久事波。專皇神等乃大伎恩賴。廣伎御惠乃御蔭爾依留事止。畏美尊毘仰伎奉留。赤心乃真心乎本津柱止築立。年々爾廣里行久家乃榮乎。嚴八百土止積重禰豆。塗籠乃藏造事始奉止爲豆。今日乃生日乃足日爾。皇神等乃御前乎。乞祈奉里拜美奉里氏。稱言竟奉良久。皇神等乃宇志波伎治米守里幸弊給波婆。安羅加根乃是乃大土平介久。置並留百千乃石居動受傾受。取舉留棟桁梁戶脯動鳴受。壁艸乃曾々伎亂落受。迦久土乃神乃千早振荒振事無久。是家内爾這入出留家人。男女諸爾至留麻傳。禍津日乃神乃踈毘爾。相麻士許理相口會事無久。此家乃門彌高爾。此家乃業彌廣爾。五百重乃山爾成出留木實乃登袁々々々爾。千町乃畑爾生出留青菜乃牟久佐加爾。春秋遠久。富足比立榮衣志米給布賀故爾。今日乃神事仕

奉良久止。奉留宇豆乃御饗乎。平介久聞食世止。畏美畏美毛。稱言竟奉良久止申須。

家遷祝詞

(堀秀成祝詞文集)

年乃中爾十麻里二月止月者在村母。月乃中爾三十日止日者阿禮村母何月何日止云日乎。吉月乃吉日止撰定豆。懸卷者畏加禮村。屋船久久能知神。屋船豐宇氣比賣神乃御前爾。奉獻幣帛者。山野爾生物波甘菜辛菜。青海原爾住物波鱈廣物鱈狹物。奧津海菜邊津海菜爾至萬氏爾。齋机母撓爾打積置兵。稱言竟奉良久。言卷者畏支。手置帆負。彥狹知命乃傳給比志。家造乃業乎。工匠等賀思過事無久。調和成太流此。新室爾。五百年千年母。可住家居止。今日乃生日乃足日爾。家遷爲太流。此家爾波。火産靈神乃荒比毛無久。科戶邊神乃進比毛無久豆。家内乃者乃齡波。突立太留柱乃太久長支賀如久。子孫乃末波。取並太流蘆藿乃彌繁支賀如久。長久久久守護給榮昌志米給閉止。畏美畏美母白寸。

○道路、鐵道、橋梁、水道等の起工竣工の諸祭

〔語例〕

天益人日仁異仁増里天。人里乃年仁月仁開計行久隨仁。人民の數が日々に増して、そのすむ村里が、年月に開け行くにつれてとなり。

四方八方仁路波有禮村。何里與里何里迄。馬車往通布倍支路作良車刀。四方八方に路はあれど、何村より何町まで、馬や車の往き通ふ、ひろき路を作らむとてとなり。

此業仁與加禮留人々。手人諸仁至迄。この工事に關係せる人々や、人足や工夫共に至るまでとなり。

成功迄。山崩地之乃禍仁遇。布事無久。速仁事成良志米給。聞えたるが如し。

新墾乃道作開支畢。奴禮婆。此乃新道乃美路乎往通始米牟斗爲兵。聞えたるが如し。

夜晝分加受往來布諸人我。根國底國與里踈里荒里來牟物仁。相率里相口合布事無久。この道路を、晝夜往來する人々が、根國底國といへる穢き醜國

より、世の人を疎んじて、荒び來る惡鬼に、互に交はりて、惡業に引き入れらるゝことなくとなり。

何山乃山乃末與里。佐久那陀理仁落多伎津早川仁兵。何山の頂山乃末より真下り、佐久那陀理に落ち激り流るゝ早き川にてとなり。

大雨連雨仁水増寸時仁波。忽然仁岸仁溢禮。丘仁登里。大雨や長雨に水増す時には、忽ちに岸や丘に、河水が溢れ上りてとなり。

土乎崩志石乎轉志。遂橋乎押流志。河水が土を崩し、石を轉がし、遂に橋を押して流してとなり。

彼是乃通路斷衣。便利乎失布事甚大奈里。落橋の狀なり。聞えたるが如し。争彼乃水乃激流仁堪閉兵。破壞留々事無久。落墜留事無支。高久長久堅固良可奈留。大橋乎架渡志。如何にして、かの激き流にも堪へて、破るゝことなく落ることなき、高く長き堅固なる大橋を架けわたしたしとなり。

高山短山與里。許々陀久乃谷水出來。長雨降重久時波。得渡留倍久毛有良受。舟泛計豆濟良牟手著毛無志。高き山、低き山より、多く谷水出で、長雨降りつづく時には、川を渡り得ること、亦舟を浮かべて濟らむたよりもなしとなり。

打橋乃高橋架介牟刀相議里。打橋(假橋のことなり)の高き橋を架けわたさむの相談してとなり。

物負運布牛馬車乃渡留毛危介禮婆。聞えたるが如し。
堅固仁作改米奈婆公民乃生業乎助久留端刀毛成里奈牟。橋を堅固に架けかへたならば、人民共の産業を助け起す、一端とも成らむとなり。

漲留水仁毛傷禮奴許乃。高橋乎架渡左牟。聞えたるが如し。

大工小工波。橋柱橋梁乎造成志。聞えたるが如し。

土工波土乎平均志。石工波石乎碎支石乎積美。土方や石切りは、土地をならしたり、石を砕きたり、石垣を積みたりしてとなり。

心乎共仁志力乎戮世。怠慢留事無久。聞えたるが如し。

大神等毛憐禮刀見行志。愛志刀思行坐之兵。扶賜比幸賜比。大神等も、可憐と御覽になり、可愛と思ひ給ひて、扶け賜ひ幸へ賜へとなり。

事速介久。事美志久成竟。閉奴禮婆。何橋刀稱閉兵橋開支仕奉良牟刀。公仁毛聞衣上兵。渡始乃式行波牟刀。聞えたるが如し。

此乃橋床斗築固米多留彼方此方乃築土波。岸仁横保留巖賀根乃崩留々事無久。築地(こゝ)にては土手をいふは、川岸に横たはる岩の根の如く、崩る、ことなくとなり。

築立天多留此乃橋柱波。底津岩根乃動久事無久。解前にあり。

打亘世留桁梁乃。速久朽留事無久。損布事無久。聞えたるが如し。

遠長仁遠久仁。此里及諸人乃便利乎得志米。聞えたるが如し。

國乎富志兵乎強久寸留波。公民乃生業乎起志。農業乎勵末須乎本刀爲禮婆。國を富まし、兵を強くすることは、人民の産業を起し、農業を勵ますを本とすればとなり。

神等乃恩頼。天皇乃御德化仁報奉良牟會。人多留倍支。物乃勤務那留倍支。神等の御恩や、天皇の御德に報い奉ることが、人たるべきもの、義務なるべしとなり。

某我。眞木柱太久雄々志支銳心乎思起志兵。某が眞木柱の太きがことき、太く雄々しき銳き心を思ひ起してとなり。

此乃處乃草根木根取除介燒掃比天。土地開墾の狀なり。

狹支乎廣久志。險志支乎平介。低支乎埋米。狹き所を廣くし、險しき所を平にし、低き所を埋めてとなり。

昨築支溝掘里樋渡志氏。新墾里始米牟。新田開發の狀なり。

先仁思起志氏。荒野乎事無久喪無久治里畢氏。以前に思ひ起して、荒野を、何のさよりはりなく、開墾し畢へたりとなり。

穀物作良牟田畑乎。麗志久忼伶仁墾竟閉津留波。穀物を作る爲の田畑を、立派に美しく開墾し畢りたればとなり。

逝久水乃最速介久。如此志毛成禮婆。流れゆく水の如く、いと速に、かやうに成就したればとなり。

萬乃物事乃。月仁日仁開行久大御世仁。便宜支事乃多大奈留賀中仁。萬の事物の、口々に進みゆく大御世に、宜しきことの澤山あるが中にとなり。

鐵道敷支車走良世。人乎毛物乎母乘世積美氏。百里千里。時乃間仁往來寸留事波。意は聞えたるが如し、鐵道工事をいへるなり。

大御國乃洪益仁志有禮婆。爭此業興左邪良米也刀。我が國の大なる利益なれば、いかにもして、この業を興さざらむやとなり。

深久思起志氏諸人乎語良比。心乎一仁志力乎戮世氏。聞えたるが如し。

先仁大神仁乞禱白志氏。事始米志。鐵道乃工事波志毛。聞えたるが如し。

鐵道工事竣工祭の詞なり。

飛驒人乃打墨繩乃一筋仁。鐵道直久遠久遙介久敷聯禰。飛驒人の解前にあり、他は聞えたるが如し。

黑雲如寸煙吹立氏。大地乃底毛登杼呂仁。空翔留龍加有良奴加。野邊走留虎加有良奴加刀。諸人乃於備由流迄仁。黑雲のやうなる煙を吹き立て、大地の底も轟きて、空を翔る龍にてもあるか、野邊を走る虎にてもあるかと、人々がおびえ驚くまでにとなり。

今日與里始氏。東行西行人乎乘良志米。彼處此處乃品積載世氏。運輸乃業始牟刀。汽車開通式の詞なり。

食國乃水波。天乃眞名井仁沸出留。天津水乃清支水仁之有留乎。食國(天皇の治め給ふ國)の水は、天の眞名井より沸き出でたる、天の水の清き水であるを以てとなり。

食國乃水波。荒水仁在里介里刀。天忍雲根神參里氏。天津水乎請奉里志仁。天乃玉櫛乎事依志給比。天乃八井出支。天皇の知しめす此の國の水は、荒き水なりとて、天忍雲根命の高天原に參る上りて、天上の水を授け給へと請ひ給ひしに、天神の天の玉櫛を授け給ひしによりて、それを持ち降りて、神事を行ひ給ひしかば、天の八井といふ良き水涌き出でたりとなり。

百船千船乃出入繁支仁。家居乃月仁日仁異仁建續支天。數多の船の出入繁き土地のこととて、人の家屋が月々に日々に増加して建ちつづくとなり。人草年々仁増殖里來志加良仁。人々年々増ふえて來しが故にとなり。

此國中仁在里刀在留青人草乃。飲氏活支汲美氏世渡留水波志母。重久貴支物奈賀良。この國內にあらゆる人の飲みて活き、汲みて世をわたる水は、重く貴き物にてありながらとなり。

飲氏活久倍支井乃水乃。年遍久。或波濁里。或波足波受成行久乎。人の飲みて生活すべき井の水の、年まねく(多年)濁りたり、又は不足に成り行くをとなり。他は聞えたるが如し。

今回隧道刀云布物乎造里。山布刀許呂乃底津磐根乃。清久潔支天乃

眞名井乃眞清水如寸。味支水乃甘支水乎取引來里氏。このたび、隧道を作り、山々に包まれたる處の、底の磐根より出づる清潔なる天の眞名井の清水の如き、味よき水を引き來りてとなり。天乃眞名井とは、高天原なる良き水の涌く井なり。

此地波。別氏眞名井乃良水少久。又家居繁久人口多支賀故仁。聞えたるが如し。

山井乃清水乎毛引來天志毛。街仁分知家々乃便善加良志米牟刀。山の井の清水をも引き來て、市に分配し家々の便り善からしめむとなり。

此水乎街仁分里。蜘蛛手仁引通波世。この水を市街に配り蜘蛛の手のやうに八方に引き通はせとなり。

道乃遠近處々乎宇斯波伎座須大神等仁毛。神議里相議里座之。水道の通るあちらこちらを領し給ふ大神等にも御相談なされてとなり。

此業乎勤美成左牟人々。及手人等諸仁至迄。過事無久怠事無久。解前にあり。

引水乃唯一筋仁。速介久事成竟志米。引水の如くに、唯一筋に、速に事業を成祝詞作文便覽 語例作例の七 二七一

し竟へしめ給へとなり。

公民賀心足比仁。良支水乃甘支水乎志得志米給閉。人々共が満足するばかりに、良水甘水を得しめ給へとなり。

〔作例〕

道路開拓起工祭祝詞

(祭文私稿)

我宇夫須那大神止以齋久。掛卷久母畏伎。某大神乃大前。及殊仁招奉利令座奉留。掛卷久母畏伎大地主大神。八衢比古大神。八衢比賣大神。久那斗大神止御名波申之天。皇神等乃大前仁。齋主恐美恐美母白佐久。天津御神。國津御神乃大御心以天。天乃益人乃日爾異仁生出天。人里乃年爾月爾殖榮行久隨仁。四方八方仁道波有禮止母。其道足良波受成以行氣禮婆。今度更仁議定天。里與利里仁至迄。馬仁車仁。往止往通布辨伎。正之久直伎。大道乎作開加武止。今日乃生日乃足日仁。御祭仕奉利天。其乃事始爲武止。宇豆乃大御酒大御食乎始天。海川山野乃

種々乃物乎。禮代乃幣帛止獻利。由志利伊都志利。拜美仕奉良久乎。相宇豆那比給比。進留幣帛乎。安幣乃足幣止。平介久安介久聞食天。此業乎勤之美成佐武人々。及手人等諸仁至迄。成過都事無久。緩怠留事無久意乃外仁。起利來武事乃障無久。速介久事成良之米給反止。鹿兒自物膝折伏世。鵜自物頸根突貫天。恐美恐美母祈願奉良久止白須。

道路開通式祝詞

(祭文私稿)

此里乎領坐須。掛卷母畏伎産土大神乃大前。及殊仁招奉里令坐奉留。掛卷母畏伎八衢比古大神。八衢比賣大神。久那斗大神乃大前仁。齋主某恐美恐美母白左久。汝大神等乃廣伎厚伎恩頼仁依天。何年月日與里何年月日仁至迄。喪無久事無久。新治乃道作開伎畢奴禮婆。今日乎生日乃足日止卜定天。大神等乃大前仁御祭仕奉里。往來始奉止爲。氏宇豆乃大御酒大御食。海川山野乃種々乃物乎置高成天。禮代乃幣帛止捧奉里。手拍拜奉良久乎。相諾比給比。安幣乃足幣止。平介久安介

祝詞作文便覽 語例作例の七

久聞食天。夜晝分加受。往來布諸人與。根國底國與里疎比荒比來牟物
仁。相率里相口合布事無久。枉神乃上與里往加婆上乎守里。下與里往
加婆下乎守里。夜乃守日乃守仁守幸給閉止鹿兒物膝折伏世。鵜自物
頸根貫拔氏。恐美恐美母白須。

架橋起工祭祝詞

(祭文私稿)

掛卷久母畏伎。瀨織津比咩大神止御名波申之天。大河小川乃落瀧津
速川乃河路乎知食須。皇神乃大前。及此里乎領座須。宇夫須那大神乃
大前仁。齋主姓名恐美恐美母白佐久。是乃某川波之母。遠近乃高山短
山與利。許々太久乃谷水出來。渦流禮天。霖雨降濺具時波。諸人等得渡
留辨久母。有良受。將舟泛介天濟佐武手着毛有良禰波。此度某伊思起
之天。打橋乃高橋架介武止。諸人仁相議良比。官仁願得天。今日乎生日
乃足日止撰定天。事始爲之天武止。預禮留人々。右寄利左寄利寄來集
比天。御祭仕奉良武止。宇豆乃御酒御食乎始天。海川山野乃種々乃物

乎。置足波之天進利。由志利伊都志利拜奉良久乎。相宇豆那比聞食天。
夜乃守日乃守仁。守利幸給比。工事畢良武時萬傳。異之久怪之伎禍事
無久。工匠等我緩怠留事無久。諸人乃心足比仁。疾久速介久功畢反之
米天。報賽乃御祭仕奉良之米給反止。恐美恐美母白須。

同成功式祝詞

(祭文私稿)

此乃齋場仁。忌竹刺立。注連繩曳延閉。神籬立氏。齋回里清回里。招奉里
令坐奉留。掛卷母綾仁畏伎。瀨織津比賣大神。產土大神乃大前仁。齋主
姓名恐美恐美母白佐久。先仁祈願奉里志與里。工匠等諸夜半曉。忘留
事無久。怠留事無久。晝波母日乃盡。夜波母夜乃盡。務仁務米彌締仁締
里氏。架渡世留此乃高橋乎。某橋止名附天。今日乃生日乃足日乃朝日
乃豐榮登仁。渡始乃式行波牟止。諸乃人等。此處仁參來集比天。大神等
乃廣伎厚伎恩賴仁依豆。喪無久事無久。嚴之久麗志久造畢閉志米給
閉留事乎。尊美奉里忝美奉里豆。嚴重仁御祭仕奉里。大御酒大御食乎

始米天。種々乃味物乎。禮代乃幣帛止。八取乃机仁置足波之天。進里宇
豆乃太玉串乎捧持知。進退仁匍匐比拜仕奉良久乎。相宇豆那比給比。
奉留幣帛乎。平介久安介久聞食天。霖雨降里水溢留止母。風吹伎地震
布留止母。落留事無久崩留事那久。彌遠仁彌長仁。彼方此方乃諸人我
渡良牟任仁。守惠萬比幸給閉止。恐美恐美母白須。

新橋祭詞

(阿夫利神社祝詞集)

此乃處乎。嚴乃岩境登掃清米。神籬立豆々招奉里坐奉留。掛介麻久毛
畏支速秋津日子大神。速秋津比賣大神。美都波能賣大神。又。萩日吉大
神等乃御前爾。郷社出雲伊波比神社祠官紫藤宣安齋志利。嚴志利畏
美畏美母白左久。國乎富志兵乎強久須留波。天皇乃天下乎政知給布。
止事無支大御業那留事渡。今更爾事舉介須留迄爾有良受奈毛。然禮
婆大御世乃御蔭盛斗共爾。萬乃道開行久隨爾。大地球上爾在里登在
留。百八十乃國々與利。慕參來留共爾。其乃國々乃干々乃事物參渡利

來豆。彌々益々榮行久倍伎時爾遇比天。狹地波廣久。峻地波平介久。國
產波日爾異爾蕃殖里。器械波月々爾增行久事斗奈毛成利爾多留。斯
在禮婆公民乃生業乎助介。農業乎勵志。商業乎獎米。穀物乎始米。萬乃
物品乎成出志米。漸々爾本都御國乃富美榮由倍久。心乎深米力乎盡
之。神明乃御恩澤。天皇乃御德化爾報奉良牟會。人登有留者乃勤米爾
波有留辨伎。爰爾此乃平村乃村中乎流留々川有利。都幾川登云布。此
乃川乃上瀨爾渡世留橋波。狹久低久志豆。大雨降里。洪水漲留每爾壓
流佐禮豆。諸人乃往來乎妨害。下瀨爾渡世留橋波。許多乃年月乎經
豆。自然爾朽損。二橋共仁產物乎負運布牛馬車乃渡留毛危布介奈
禮婆。爭堅固爾作改米豆婆。彼乃公民乃生業乎助久留端斗毛成利奈
萬之斗。戶長峰岸茂三郎。雄々志久母思起之。村內乃志深支人等睦魂
合世豆。彼乃漲留水爾毛傷禮奴許乃。高橋乎架渡佐婆耶登議定米天。
其事狀乎。埼玉縣廳爾乞白之豆。其乃御許之乎得豆。諸工匠等乎喚集

反豆。姓名乎長斗爲天。其乃事乎委托禰。去之明治十六年八月何日乃日爾事始米豆。樵夫柚人等爾彼方此方乃大峽小峽爾立豆留。眞木乃大木乎伐取利豆。本末乎婆山神爾祭里豆。中間乎持出來豆。大工小工等波橋柱橋梁諸乎造成之。土工波士乎平均之。石工波石乎碎支石乎積美小走。丁里人等爾至留迄。心乎共爾之力乎戮世。怠慢留事無久倦。牟事無久。勤勞久狀態乎。大神等毛憐之登見行之。愛之登思行坐之豆。扶賜比幸賜比介留爾耶。工等諸。手乃躡比足乃躡比無久。思布我隨爲須我隨爾。其乃功進美。事速介久事美之久成竟閉都留爾奈毛。故。上瀨乃大橋爾波。此乃川乃名乎負世豆都幾川橋登稱反。下瀨乃小橋爾波。里乃小名乎負世豆小幡橋登稱反豆。其乃事由乎縣廳爾聞延上祁豆。八十日日波有禮秤毛。此乃何年何月何日乃日乎。活日乃足日乃吉日登齋定米豆。大神等乃大前乎祭里。此乃橋開支仕奉良萬之登。進留禮代乃物波。此乃里乃片山蔭爾生立天留。五百箇眞神乎根據自爾

掘自豆。上枝爾波眞澄鏡乎取懸祁。下枝爾波青和幣白和幣乎取垂。八十五玉串斗擊介。此乃里乃長田狹田爾成禮留和稻乎。五百度千度搗白介豆。取炊支多留赤飯。千杵八百杵搗練里豆取圓介多留鏡餅乎。高杯乃彌高爾盛上祁。此乃里乃酒造等我持齋波利持清波利。歌比都々舞比都々釀免留御酒乎。甕乃上高久滿竝倍。大野原爾生出留物波。甘菜辛菜。大海原爾成出豆留物波。鯖乃廣物鯖乃狹物。奧津藻邊津藻爾至迄爾。横山如須置成之豆奉良久乎。平介久安介久。相嘗爾聞食世登白須。如此久聞食之豆婆。曝雨洪水爾毛。築立天多留彼方乃川岸。此方乃川岸乃崩傷布事无久。架渡世留二橋乃。朽留事无久動事无久豆。朝夕爾往反布諸人波更奈利。重荷負布牛馬車爾至留迄爾。大地乎踏牟我如久。心安久渡良之米給反。又此乃齋場爾參集閉留縣官乎始米。郡吏村吏。及此乃事爾力乎盡之。費乎助祁之人等乎毛。其乃分々爾惠給閉幸給閉止。鶉如寸伊波比回里。鹿自物伊波比拜美。祈祝奉良久登白須。

祝詞作文便覽 語例作例の七

新玉橋雲井橋開橋祝詞

(阿夫利神社祝詞集)

瓢形乃天下。荒金乃地上。仁有登有留。大川小川乎領。支坐寸。河神乃御前。仁白佐久。此乃阿夫里乃山乃末與里。左久那太里。仁落瀧郡。此乃早川。乃此乃渡瀨。仁渡世留橋乃。許多乃年經留問仁。幾千度可雨風仁。遇比介牟。漸々仁朽果都留隨仁。此乃大山町乃町長家長等。相議里豆改米作里。豆牟止。此奧山乃大峽小峽。仁立天留木乎取里豆。此乃新年乃新月仁事始之天。朝夕仁怠留事無久。大匠小工等母。日仁異仁勤美勞支天之隨。幾日母不在天。其乃事畢都留爾那毛。斯在波今日志茂。新橋開乃祝事仕奉良牟止志天。大前仁種々乃御幣帛供置豆。稱言竟奉良久波。此乃早川水乃荒布留事奈久。雨風乃損布事無久。天津真橋乃不驚不動。此乃里人乃渡留波更奈里。遠近乃國々與里。此乃御山邊參上罷下留人等乃。行支乃躓爾踏過都事無久。長久久立榮延志米給反斗。老斗奈久少止奈久。男止奈久。女斗奈久。相伴比。相誘比。庭雀蹲居天

稱言竟奉良久止白須。

新地開墾工事始祝詞

(祭文私稿)

此乃齋場仁招奉利令座奉留。掛卷母畏伎。大地主大神。宇夫須那大神乃大前仁。恐美恐美母白左久。今度某我真木柱太久雄々之伎。敏心仁思起之天。顯志伎青人草乃。食比天活久倍伎。物作良武止。大御國乃爲官乃許乎請得天。是乃(地名)乃草乃根。木乃根取除介。堅石持去利。高伎乎平介。低伎乎埋米。畔築伎溝掘利。樋渡志。大歲御年乃皇神等乃依給波武大御惠乃隨仁。手肱仁水沫搔垂向股仁。泥搔寄世天。種々乃物取作良武止。今日乃生日乃足日仁事始爲武止。御祭仕奉利。大御酒大御食。海川山野乃種々乃物乎。置足波志天進利。宇豆乃玉串乎持擊介。伊波比拜奉良久乎。相宇豆那比給比天。喪無久事無久。乞願奉留心足比仁。事麗志久作竟反志米給反止。畏美畏美母白須。

同竣工式祝詞

(祭文私稿)

此乃齋場仁注連曳回志。比母呂伎立天。招奉利令座奉留。掛卷久母畏支大地主大神。宇夫須那大神。大年大神。御年大神。乃大前仁。恐美恐美母白左久。某我思起之天。荒野平介。穀物作良武處乎。麗志久。柯恰仁委曲仁開竟反豆良久波。奧津藻乃毛止毛難支業成利介牟乎。逝久水乃最速介久。如此志母成禮留波。毛波良大神等乃。廣支御惠。厚支恩賴仁古曾依利介米止。其處乎尊美。此處乎嬉美。忝美奉利天。今日乎生日乃足日止撰定天。御祭仕奉利。豐御酒豐御食。種々乃多米津物乎良。禮代乃幣帛止。弱肩仁太禰取懸介天。持齋回利持清回利。百取乃机毛。拆竹乃登袁袁登袁々仁。置足波志天進利。手掌毛夜良々仁拍上介天。拜奉良久乎。相宇豆那比給比天。今與利後波。雨降留止毛流留々事無久。地震布止毛崩留々事無久。作止作留物乎。荒支水惡志支風。又波布蟲飛鳥乃禍仁逢波志米給波受。夜乃守日乃守仁守幸給比天。茂穗乃足穗止成幸給反止。恐美恐美母白須。

東京市街鐵道會社起工式祭典祝詞

(久保惠鄰稿)

此乃神籬爾招伎齋比奉留。掛卷母畏伎產土大神乃御靈乃大前爾。齋主位氏名畏美畏美母白佐久。神素蓋鳴大神乃。黃金白銀目耀久寶乃國乎見行之豆。吾御兒乃知良佐牟國爾。浮寶有良受波可加良自刀詔給閉里之波。遠都神代乃故事奈利。開介行久此乃新世乃今乃大御世波之母。年每爾彌進美進美。月每爾彌整保里整保里氏。海路爾波大船乃煙絕衣受。陸路爾波鐵乃道敷伎通禮婆。萬乃便博久普久。千々乃利滿知足良比豆。大神等乃廣伎御蔭波。天乃下落留隈無久。天皇乃高伎御威波。四方乃海至良奴方無之。爰爾此乃東京市街鐵道株式會社波之母。其乃廣伎御蔭爾與會里。高伎御威乎仰伎豆。今般公乃御許蒙里。電氣鐵道刀云布乎設介備閉豆。都大路乃日乃縱日乃橫。影面背面。左行伎右行伎。行伎交比廻良布便乎開加牟刀。今日乃生日乃足日爾其乃王事起之始牟留儀式執行波牟刀寸。故先此乃地乎宇斯波伎知食

寸。我大神乃大前乎。齋比拜美乞祈奉良久乃。御酒御饌。種々乃物共置足波之弓。立奉留事乃狀乎。平介久安良久聞食志豆。此乃會社乃事業乎。敷渡寸眞金乃道乃一筋爾。守給比幸給比弓。行伎回留車乃轍乃彌長爾。立榮衣志米給閉乃。畏美畏美毋白須。

鐵道敷設起工祭祝詞

(祭文私稿)

此乃齋場仁忌竹刺立。伊都乃注連繩曳延。神籬樹天。招奉利令坐奉利齋奉留。掛卷久毋畏伎。八衢比古大神。八衢比賣大神。埴安比賣大神。金山比古大神。金山比賣大神。迦具土大神。及此里與利(里名)乃里仁至留。處々乎領坐須宇夫須那大神等乃大前仁。齋主某恐美恐美毋白佐久。萬乃物事乃月仁日仁開行久天皇乃大御世仁。便宜伎事乃佐波奈留我中乃便宜伎事止。鐵道敷伎車走良世。人乎毛物乎毛積美成之天。百里千里毋時乃間爾往來須奈留波。一人二人乃小利乃美仁有良受。即大御國乃公益仁之有禮婆。伊加傳此業興佐邪良米夜止。某等與津藻

乃最毛深久思起之天。諸人乎說誘比力戮世。官乃御許乎請得天。今日乎生日乃足日止擇定天。事始爲之天武止。御祭仕奉利天。宇豆乃大御酒大御食仁。海川山野乃種々乃味物乎良取添反天。今日乃御饗止進利。入紐乃同心仁。宇豆乃太玉串捧持知。由麻波利清麻波利。齋拜美仕奉良久乎。相宇豆那比給比。奉留幣帛乎。安幣乃足幣止。平介久安良久久聞食天。夜乃守日乃守仁。守幸給比。異之久怪之伎禍事無久。諸人我勤勞久心足比仁。疾久速介久功畢之米。大伎績乎建天之米給反止。恐美恐美毋白須。

同落成式祝詞

(祭文私稿)

此乃齋場乎祓清米氏。招奉里令坐奉留。掛卷久毛畏伎。某大神等乃大前仁。齋主姓名恐美恐美毋白左久。先仁大神等仁乞禱白之豆。着手世留鐵道乃工事波之毛。與津藻乃毛止毋難加留業仁之有留乎。大神等乃妙仁奇久。伊都乃御靈乎幸給比。廣久厚久守惠萬比給反留仁依里

耳。諸人我心足比仁。喪無久事無久功畢反耳。飛驒人乃打墨繩乃一筋
 仁。鐵道直久遠久遙介久敷聯稱。許々太久乃車室造備反。黑雲成須煙
 吹立。大地乃底毛登杼呂仁。空翔留龍加有良奴加。野邊走留虎加有良
 奴加止。諸人乃於備由流萬氏仁。今日與里始天。彼方此方乃人々乘良
 志米。彼處此處乃品積載世天。往來乃業事乃始爲武止。恩賴乎重美尊
 美忝美奉里耳。此事思起世留某。及預禮留長乃何驛乃長某等乎始天。
 事執人。手人等諸。大前仁參來集比天。由之利伊豆之利齋拜美仕奉良
 久乎。相諾比給比。禮代乃幣帛止捧奉留。種々乃味物乎良。大御心毛多
 志仁。平介久安介久聞食天。今與里後毛伊與々萬須萬須。彌遠仁彌長
 仁守給比幸給反止。恐美恐美母白須。

東京市水道起工祭詞

(詩辭集)

掛麻久毛畏伎。彌都波能賣神。天之水分神。國之水分神。天之久比奢母
 智神。國之久比奢母智神。刀御名波稱敵耳。招齋比請祈奉留皇神等乃

前爾。畏美畏美毛白佐久。是乃大日本乃國乎安國刀知食須。皇賀大御
 祖皇孫命乃。肇國知食志々時爾。食國乃水波。荒水爾在氣利刀。天忍雲
 根神參上利耳。天都水乎請奉利志爾。天乃玉櫛乎事依志。天乃八井出
 支。是乃國中爾在利刀在留青人草乃。飲豆活伎汲豆世渡留水波志毛。
 重久貴伎物那賀良。登母爲禮婆濁利淀美耳。清久乃美波得在良奴乎。
 是乃東京乃地波。別豆眞名井乃良水少久。又其家居波多伎賀故爾。多
 摩川乃水乎引來。神田川乃流乎回志耳。街爾分禮留道波雖有。尙其工
 乃術波精志加良受耳。或波其水濁利穢禮。或波其榎朽損波衣耳。全久
 波得有良奴歎有留乎。何事毛足比具波利整保利行久此大御代刀。今
 回新爾事量利造利設氣牟刀定米多留。大伎工乃事波志毛。然留方爾
 意盡世留物識人等乃。深久遠久議禮留思兼以耳。遺留方無久脫留隈
 無久。事定米豆之在禮婆。今與利波是乃東京爾在利刀在留町々。住美
 刀住牟人々。千年五百年乃後掛耳。水波意乃隨爾叙任世牟。今此事乎

起志始牟刀。今日乃生日乃足日爾。先皇神等乃神靈乎請祈齋比拜美奉良久乎。平氣久。聞食志互。此水乎街爾分利。蜘蛛手爾引通波世牟。道乃遠近處々乎宇斯波伎座須大神等爾毛。神議利相議利座之。此業乎勤志美成佐牟人々。及手人等諸爾至留麻傳。過事無久怠事無久。又意乃外爾出來牟事乃障無久。引水乃唯一筋爾。速氣久事成竟志米。千萬乃公民賀心足比爾。和伎水乃甘伎水乎之。長伎樋乃長久。匏乃久爾得志米給敵刀。海川山野乃机代物乎。禮代刀置足波志捧氣奉利互。心毛廣久掘穿郡。大池水乃多々幣言竟奉良久乎。相宇豆那比聞食世刀。齋主仕布留神田神社祠官大教正本居豐穎。畏美畏美毛白須。

八、公私の會合、結社等の諸祭の祝詞

○勅語奉讀、議會始、卒業式、講習會等の奉告祭

〔語例〕

安見知志我大君乃。最毛尊伎大叡心爾天。安見知志とは、天の下を安らかに

に見そなはし治らしめすといふ語にて、大君の枕詞なり。

皇祖乃。高天原仁事始米給比志。惟神奈留大道。皇祖天神の高天原にて、その事を始め給ひし、神の御心のまゝなる大道となり。

天地乃共無窮仁。食國天下刀。此乃大八洲國乎奉寄掟給比志隨爾。

天地と共に、長久なる食國(解前)にあり天下なりとて、この大八洲國を、大御神の皇孫命に授け給ひて、御掟を立しめ玉ひしまゝにとなり。

源清支五十鈴川乃濁禮留事无久。唯一系仁受傳來坐志。伊勢神宮の御前を流るゝ源清き五十鈴川の如く、濁れることなく、唯一すぢに、皇統を受け傳へ來ましてとなり。

影高支神路山乃眞神乃。榮衣仁榮衣天。唯一色仁在經坐世留波。

天つ日の影高くかゝやく、神路山の眞神の如くに榮えて、唯一色にして、雜る色なく皇統の存在して、經行きませるはとなり。

外國仁例無伎。惟神乃大道乃。世仁立通禮留故奈里。かやうに、皇統の萬世一系にますは、外國に例なき、惟神の大道の世の中に立ち通れるが故なりとなり。此乃大勅波志。帝業乃基礎仁志兵。敬神尊王。愛國要道奈禮姿。この

教育に關する勅語は、帝業の基礎を述べ給へるものにして、その基礎とは、敬神尊王愛國の肝要なる道なればなり。

學校乃教刀。布教乃道刀波。二途分別在津々毛。其乃淵源波。全一致奈留倍支。學校教育と、神道各派の布教の方とは、今は二途に別れ居れども、其の本源は、全く一致してあるぞとなり。

普通教育乃學制仁則里。益斯道乎演說伎。彌斯道乎普及米牟刀。國民普通教育の制に則り、益々大道を説き聽かせ、推し弘めむとなり。

此乃真心乎。慈志愛志刀。所聞食志受介給比。前に申せる所の、この真心を、いとほしく惠むべくありと、聞き給ひて受納し給へとなり。以上勅語奉讀式の祝詞の用語なり。

高皇產靈大神乃大命以氏。八百萬神等乎。神集々閉氏。神議々良志米給比志。故實仁儉奉里。天照大御神の、岩戸隱の御時に、高皇產靈神の神勅を以て、八百萬の神を集まらしめて、八百萬の神等に、種々の事を議定せしめられし、故實に倣ひ奉りてとなり。

許々陀久乃事乃善惡乎良。議里論波牟御掟乃隨仁。誓奉里請祈奉里

仕奉良久波。數多の事の善惡を講論せしめむとの、御掟のまゝに、是より會議を始

むるに由つて、誓ひ祈奉ることとはとなり。

公私乃怨以氏。恨美憤里詈留事无久。穢伎行卑志支言語動作无久。

聞えたるが如し。

赤支清支直支誠乃心以氏。善事毛一言。惡事毛一言。仁言定米。可美良

仁委曲仁事議良志米給比。善事も一言云々とは、善事惡事ともに、議員等が誠

實の心にて、これは善しこれは惡しと、直言を以つて言ひ定めてとなり。他は聞えたるが如し。以上は、議會開きの祝詞の用語なり。

此乃神社教會仁。教場乎設整閑。講師教職何某乎聘氏。この何神社内に、教場を設け、講師何某を聘してとなり。

神隨直支正志支神代乃御手振。大神達乃御功德乎始米氏。大朝廷乃御掟人身乃行比乎眞具仁。説明志教諭左志米牟。神代の御手振は、神代

よりの御ならはしなり。眞具は、眞につぶさにとなり。他は前に解けり。

外國乃異教仁慈布事无久。清支明支大和心乃真心仁成幸閉給比。

前に解せり。

神漏岐神漏美命以氏。皇御孫命乎。豐葦原乃水穗國仁。天降座左志米給布止。神議里議里給比氏。幽事顯事。宣別定米給比志隨爾。神漏岐神漏美尊の神勅にて、皇孫命を、この國に天降りまさしめ給はむとて、神々等の御相談なされて、幽事顯事解前にありを宣りわけ定め給ひしまゝに」となり。

天下乃公民諸乎。教閉導加志米給布大御慮乎。伊那多伎仁捧持氏。

天下の人民を、教へ導かしめ給ふ天皇の大御心を受けて、そのことを、伊那多伎(頂頭上なり)に捧げもちて」となり。

神職(教職)等己毛己毛。劍太刀嚴志利心振起志氏。勤志美勞支。神職

等各自面々に、劍太刀の如く嚴めしき銳心を振起しつゝ、つとめ勞づきて」となり。

天神等乃御稜威乃。高久尊支本乃心乎辨閉明志。天神等の御威光の高くして尊き本來のわけを、明かに辨へ知りて」となり。

國津神乃恩頼乃。廣支厚支事乃由乎説諭志。聞えたる如し。

天下乃公民諸乃。惑閉留心。荒夫留魂乎。和志鎮平牟刀。天下の人民等

が、事理に惑へる心、惡事に携はりて荒ふる魂を、やはらげ鎮めて平定せむとの意な

今日與里始米氏。時々仁某人々乎此所仁集閉。聞えたるが如し。

大神乃御前乎拜麻志米。大道乃心乎毛説諭左牟止寸。聞えたるが如し。

如是乃狀乎。皇神乃大前仁宣申寸刀爲氏。かやうの次第を、皇神の大前にのべ申さむとの意。

笛吹琴引支遊比氏。大御慮乎宇良介奉里。遊びは、樂なり。宇良介は、面白く

慰むる意なり。

神乃御垣乃彌弘仁。彌遠長仁結比行牟。是乃教會乎志氏。神社の玉垣

の、緩みなくしまり廻れる如くに、彌々弘く遠く長く、多くの人々を結合し行かむとする、この教會をして」となり。

千尋栲繩百結比結比結比氏。只一筋仁張廣米。千尋栲繩(栲といへる木

の皮にて絡へる千尋もある長き繩なり)にて材木を結びて、家を建つる如く、多くの人々を結び集めて、たゞ一筋に張り廣めん」となり。上の栲繩の縁語なり。

此乃社務所乎發開氏。事始米仕奉良武。この社務所を開きて、事務を執り

始めむとなり。この句は、新に社務所を開く時にも、年の始めに開く時にも用ひらる。

此所仁參集閉留者等。各毛各毛相睦比相和支。持分留職務乎。過事无久失事无久。聞えたるが如し。

年内乃大支小支御祭乎。事美久仕奉良志米賜比。聞えたるが如し。

教布留事乃脱留事无久。學布事乃誤津事无久。違布事无久。教閉得志米學得志米給比。こは學校の祭に用ふべし。意は聞えたるが如し。

此乃學塾乎。月仁日仁進米榮衣志米。聞えたるが如し。

教乃道乎。彌廣仁廣米得志米。學乃道乎。彌榮仁榮衣志米。聞えたるが如し。

此所仁參集閉留人等。君乃御爲國乃御爲刀。各自勤勞支天。聞えたるが如し。

天下乃公民。上刀无久下刀无久。教布留隨受得志米。聞我隨仁覺得志米氏。天下の人民上下の別なく、教ふるまゝ聞くがまゝに、受け覺り得しめ給へとなり。

他國與里來居留者等乎毛。諭得志米導得志米。外國より御國に來り居る人々をも、諭し導かしめ給へとなり。

潮沫乃畱留限。白雲乃墜居向伏限。敷施良志米給閉刀。海の潮沫の至り留まる限、即ち陸地のある限り、また白雲の墜り居て此方に向ひ伏せる限り、即ち

諸外國の果までも我が國の大道を敷き施さしめ給へとなり。

武士の道乎。國乃木道乃要刀。定米給比。掟氏給閉留隨爾。武道を以て、國家建立の我が大道の要と、定めおきて給へるまゝにとなり。

大御自幸矢手挾美。太刀取佩志氏。千萬乃大御軍乎誘比給比。御代々の天皇、御躬ら幸矢もとは獵矢なり、脇狭み、太刀取り佩びまして、大軍を誘ひ立て、

帥の給ひてとなり。

梓弓緩奉事无久。怠留事无久。武士乃上矢乃鏑一筋仁。仕奉里來志事乃狀波。梓弓梓の木の弓の弦の緩むといふやうに、ゆるみ怠ることなく、武士の背に負へる矢筒の守なる上矢(鏑矢なり)の、たゞ一筋に仕へ奉り來りし事の狀はとい

へるなり。

嘲也外國人毛。怖知畏美羨美慕思比豆。嘲也は、外國の枕辭なり、外國人も、我が武藝を畏れ羨み慕ひてとなり。

空沍由留冬乃極乃朝奈朝奈落知受。降雪乃凍由留乎毋耐閉。空の

一寒く近え渡れる極冬の一朝も休まず雪降りて凍え寒きにも耐へ忍びてとなり。
相共仁鍊里磨支勤美勵美津留。武藝を鍊るなり聞えたるが如し。

高久尊支大神等乃恩頼仁依里豆。障事无久滞事无久。事了奴禮婆。
解前にあり。

〔作例〕

勅語奉讀式祝詞

（神道本局祝詞集）

高光留日乃御子。安見知志我大君止坐寸。天皇陛下乃遠津皇祖乃大
御前爾。慎美敬比恐美々々母白左久。神代乃昔皇祖乃高天原爾。事始
米給比之。惟神奈留大道乃隨仁。皇孫命乃生御子乃彌繼々。天地乃共
無窮爾。食國天下止。此乃大八洲國乎。奉寄里掟天給比伎。是乎以豆。歷
代乃天皇波。其乃御掟乎大御心斗爲給比都々。國衰治米民乎惠美給
閉留賀故爾。神武天皇乃大御代與里毛。今志御代波一百二十二代。年
波二千五百五十餘年。源清伎五十鈴川能流濁禮留事無久。唯一系爾

傳來坐之。影高伎神路山乃柳榮衣爾榮衣豆。唯一色爾在經座世留古
會。外國爾例無伎國體爾之豆。惟神乃大道。世爾立通禮留故奈里介禮。
阿波禮此乃惟神乃大道波母。天皇陛下乃御上與里奉稱里奈婆。帝業
乃基礎爾志豆。臣民乃上與里。奉申里奈波。敬神尊王愛國要爾奈母有
里介留。此乃要波。吾等教職賀大命乎持畏美奉仕里豆。常爾人民表教
導久。三條乃教憲奈里介里。斯在禮婆。今日乃生日乃足日爾。御酒御食。
又種々乃物乎奉供里。大御前乎齋志里嚴志里奉祭里豆。教育勅語乃
奉讀式奉仕里。學校乃教登。布教乃道止波二途爾別在都々毛。共爾俱
爾皇祖皇宗乃遺訓爾出傳都禮婆。其乃淵源波。全一致奈留辨伎理由
乎明爾之。普通教育乃學制爾則豆。益斯道乎演說伎。彌々斯道乎普及
在止。爲留爾古會。阿波禮。此乃真心乎慈之愛志止所聞食之受介給比
豆。玉垣乃内外乎言波受。刺竹乃遠伎近支乎問波受。青雲乃棚引久極
美。白雲乃下居向伏寸限里。布教加在事爾。神靈幸閉給閉止。慎美敬比

恐美恐美毋白寸。

議會開院式祭祝詞

(祭文私稿)

此乃齋場仁比毛呂伎立天。招奉利令坐奉留。掛卷久毋畏伎。八意思兼大神。一事主大神。及天津神國津神。八百万乃大神等乃大前仁。齋主姓名恐美恐美毋白佐久。上津代仁天照皇大御神乃天。石戶乎閉天刺許母理坐之天。高天原毋葦原中國毛。常夜往久皆闇久。萬乃妖悉仁發利之時仁。高皇產靈大神乃大命以天。八百萬乃神等乎。神集々反天。禱白之招奉良武狀乎。神議議良之米給比之。大御故實止。晝波五月繩成須水沸伎。夜波火瓮成須光久神在利。石根木立。青水沫毛事問比天。豐葦原乃瑞穗國乃。荒備仁荒備天有利之時。天照大御神。高木大神乃大命以天。八百萬乃神等乎。神集々反天。御言向乃神乎。神撰仁撰婆之米給比之。大御故實止仁。做奉利天。種々乃事乃善惡乎良。議利論波武御掟乃隨仁。今日與利議會開始米天武止。議長乎始天諸乃議員。及事執人

等。大前仁參集比天。種々乃幣帛捧奉利。宇氣比拜美祈願奉利仕奉良久乎。相宇豆那比給比。公私乃怨以天。恨憤利留事無久。清伎明伎直伎正之伎誠乃心仁違布事無久。惡事毛一言仁。善事毛一言仁云放知天。柯怜仁委曲仁事議良之米給比。皇大御國乃御爲仁。玉垣乃内外乃政策修成反。大伎功績乎建天之米給反止。鹿兒自物膝折伏世。鵜自物頸根突貫天。恐美恐美毋。祈願奉良久止白須。

皇典講究所始業式學神祭祝詞

(杉迺舍諱辭集)

此乃學費乃講堂乎。齋庭止拂比清米。嚴神籬起立。招伎奉里坐世奉留。皇祖天神。八意思兼神。天太玉命。又副豆齋比坐世奉留久延毗古神乃御前仁。姓名恐美恐美毋白久。吾大御國乃高支貴支皇典乎讀講支。稚爾美之支禮式乎習比學夫所止。此乃學費乎起立。彌勉爾勉米彌勵爾勵美。且年月重之隨仁。既久第何年第何期乃學業事卒奴。故是乎以兵。今日乃生日乃足日仁。更爾第何年第何期乃業事始乃禮式行布

爾依_レ互。殊仁大神等乃廣支厚支御恩賴乎蒙奉良奉止爲_レ互。御前仁奉留物波。御酒御饌乎始_レ互。海川野山乃種々乃物乎。横山乃如久置足波之互奉進良久乎。平久安久聞食宇豆奈比給比_レ互。自今以往。彌益々仁怠留事无久緩奉事無久。勤美學波志米給比。吾大道乎熟久明良米。國乃御爲仁大伎功乎令立給比。此乃學費乎遠長仁令榮行給反止。祈乞乃美奉良久止。恐美恐美毋白須。

神職講習會開始式祝詞

(久保惠鄰稿)

此乃神籬仁招支齋比坐世奉留。掛卷毛畏支。天神地祇等乃大前仁。皇典講究所副總裁位勳爵氏名畏美畏美毛白左久。皇大御國波。神乃御國刀。遠皇呂岐乃大御世與里。神等乎齋比奉留禮式乎。食國乃常乃典刀。定米給比掟氏給閉留隨仁。神隨嚴志久正志久傳閉來仁志乎。移比行久世乃慣刀。中都世與里。漸々仁衰閉廢禮志加婆。專其乃職仁仕奉留神職等太仁。己我乖々亂禮果氏々。古乃正志支

御式波知留人稀仁成里奴留古曾。甚飽加受口惜支極奈里計禮。今志新世乃嚴志大御世刀成里氏波。千万乃事毛物毛彌進美仁進美。彌整保里仁整保里行久乎。此乃式乃美如何傳可波。如此奈賀良得有留倍支。故此乃皇典講究所波。此處乎志毛。深久思比遠久慮里氏。公仁毛請比申志。御許乎得都禮婆。此回神職講習會乎設介開支氏。月波五月日波百餘五十日乃程。國々所々乃。志厚支人等乎選里集閉氏。斯乃道乃。蘊奧乎研支究米習比修米志米奉刀。今日乃生日乃足日仁。其乃會乎始奉留儀式執行布事乃狀乎。平介久安介久聞食志氏。此乃會乃立榮衣奉事波白寸毛更那里。教布留人毛習布人毛。祭乃式過津事無久。學乃術違布事無久。疑志支波明仁思比得志米。覺里難支波速仁考閉知良志米給比氏。惟神奈留正志久嚴志支皇大御國乃國風乎。彌高仁彌弘仁。張里弘米興左之米給閉刀。畏美畏美毛白寸。

本教學會發會祭祝詞

(杉乃含諄辭集)

此乃小床乎掃清米豆。荷田大人。岡部大人。本居大人。平田大人。乃御靈乎。招奉里坐奉里。畏美毛白久。我神隨乃大道波母。造化乃首止坐寸。天津御祖乃大神乃御靈仁因里。二柱御祖神乃始米給比。天照坐日大御神乃授氣給比。天皇我御代々々傳給反留。直支正支廣支明支大道仁志在留乎。不言舉國風奈里志。故仁。外國乃教共乃美保比許理都々有止志母不被知成仁支。於是吾大人等乃次々仁出坐。其大道乃意旨乎。真悉仁教諭給比志仁因。拙支劣支吾輩毛。道乃片端奉伺事止奈母成奴留。故身仁不負業仁波在禮止。教導職乃列仁入禮々。婆我大神乃道乎世仁說教留事乎。勤美勉米萬久欲志。同心乃友籽知打集比。今日乃生日乃足日乎。其乃學事乃會乎始在留吉日止定米。御酒御饌及海川野山乃味物乎。禮代止捧奉。御祭仕奉久乎。平久安久聞食豆。學乃御靈幸附給比。我大神乃道乎。彌廣仁彌益仁弘米志米榮延志米給比。其乃功績乎高々仁令立。其乃名乎遠々仁揚志米給反止。

畏美畏美母白須。

講演奏上祝詞

(神職必携)

掛卷毋恐伎。此乃町(村)乎總宰坐須大神(臨時神座ヲ設クル時)八十日日八雖有。今日乃生日乃足日爾。是神床乎忌清米掃清米天。令坐奉里鎮奉留。掛卷文畏伎某大神乎始奉里。八百萬神等乃御前爾。慎美敬比白左久。皇我大御國八志毛。二柱御祖大神乃。修理固成給比天。殊爾御恩賴乎蒙良志米給方留我故爾。奇伎尊伎大御威稜左方備里天。國中仁生出類蒼生乃。食物衣服住家。袁始米。萬乃事等。勉留隨仁幸給比。勤平隨爾授給比。神勅乎相受相繼天。人乃人多留道乎盡志。各各產業乎勉米勵美天。皇乃御爲國乃爲。許々多久乃功績乎令建給八奉登乃。廣伎厚伎神議爾叙有留可伎。某(講演者ノ氏名)男道無介禮杆母。大神乃高伎尊伎稜威乎頂伎奉里。皇上乃廣伎厚伎大命乎蒙里奉里。幽顯乃中取持豆。仕奉留職爾志在禮婆。皇神登皇上乃尊支由緒乎。明加爾說示志。

祝詞作文便覽 語例作例の八

大神刀御氏子(信徒)登乃厚伎緣故乎。詳加爾教導伎天。大御政乃補助
 遠爲之。御氏子乃日本心乎振興左志米牟刀須。故同心乃人々刀共仁。
 心乃及限里力乃至極美。說諭左牟言乃美之久。教示左牟事乃正志久。
 過知違布類事無久。熟良爾具良爾說明左志米給比。嚴速久功乎建志
 米給比。是乃場爾集方留御氏子。老多留母。若支母。講談乃條々聽過津
 事無久。思惑布事無久。良久聞手持志米。好久思得志米給比天。大神乎
 敬奉里。皇上乎尊奉里。父母乎慕親武。惟神奈留真心乎。萬事乃大本刀。
 眞木柱太心乎築固米。兄弟夫婦朋友乃情義爾至迄。千尋拷繩乃一筋
 仁。各毛各毛力乎協世。心乃綱根結固女。醜人乃狂言爾惑布事無久。
 異國人乃凌侮乎受流事無久。皇御國乃大御稜威乎。四方八面仁耀加
 左志女給比。大神等乃本御國乃人登在流。人乃本分乎盡之得之女給
 方登請祈奉類仁依。獻流幣帛乎。平計久安介久聞食天。相宇豆那比。
 相阿奈那比給方刀。鹿自物膝折伏世。鵜自物頸根突拔天。恐美恐美母

白須。

開社務局祝詞

(阿夫利神社祝詞集)

此乃小床乎拂比清米。奉招奉坐。挂卷母畏伎雨降大神乃大御前爾。
 神職諸。齋清萬波里畏美畏美母白須。此乃新年乃新月乃四日乃日乎。
 生日乃足日止齋比定米。此乃社務局乎發開。事始米仕奉良武止
 之。禮代止奉留御酒御饌種品乃物乎。足幣乃安幣止。所聞食相諾比
 賜比。此乃席仁參集留者等乎。各母各母相睦比相和支。持分留職
 務乎過事奈久。失事奈久。又年內大支小支大御祭乎。事美久仕奉良志
 米賜比。局內平介久安介久。日仁異仁榮志米賜閉止。畏美畏美母白須。

開塾祝詞

(阿夫利神社祝詞集)

掛卷母畏伎。學乃神止稱閉奉留。八意思兼神。忌部神。菅原神。久延毘古
 神。及荷田大人。岡部大人。本居大人。平田大人。乃大御前乎。慎美敬比畏
 美畏美母白寸。此乃新年乃新月乃四日乃日乎。生日乃足日止齋比定

米互。此乃學塾乎發開支互。事始米仕閉奉良牟止之互。獻留宇豆乃幣帛乎。平介久安介久聞食互。教留事乃脫留事奈久。學布事乃誤津事奈久違布事奈久。教閉得志米學得志米。大御國乃大道乎。彌遠爾推廣米志女此乃學塾乎。月仁日仁異仁。進萬志米榮衣志米賜止。畏美畏美母白須。

學問始祝詞

(阿夫利神社祝詞集)

此乃新年乃新月乃七日乃今日乎。活日乃足日止撰比定米互。齋主持齋萬波里持清萬波里。此乃小床乎拂比清米互。奉招奉座留掛卷母畏伎。教乃大神止稱奉留天之御中主大神。高皇產靈大神。神皇產靈大神。天照大御神。學乃大神止稱奉留八意思兼大神。忌部神。菅原神。又。荷田大人。岡部大人。本居大人。平田大人乃大御前仁。慎美敬比畏美畏美母白左久。今日乃事始米仁。禮代登供留物波。御酒御饌美母比堅鹽魚菜菓種々乃物乎備置互。稱言竟奉良久乎。所食知相諾比給比互。教乃道

乎彌廣仁廣米得志女。學乃道乎彌益仁榮衣志米。教布留道乃誤津事奈久。聞受留事乃違布事奈久。傳得志米受得志米。日仁異仁進美月爾異仁盛成志米給閉止。祈奉事乃由乎。平介久安介久。駒乃耳彌高仁所聞食互。相扶比相助介給閉止。畏美畏美母拜美奉良久止白須。

國學院同窓會體育部寒稽古終了式祭典祝詞

(久保惠鄰稿)

挂卷母畏伎。武甕槌命。經津主命。二柱大神乃大前爾。畏美畏美母白左久。天地乃分禮志初。天神諸乃命以氏。伊邪那岐。伊邪那美。二柱乃大神乃。大八洲國修理。固成給比志時爾。天乃瓊矛。國中乃御柱乃突立給比之與利。武士乃道乎。國乃本道乃元刀。定米給比掟互給閉留隨。遠皇呂岐乃御世々々受繼傳邊互。食國乃大御政所知食志。事有留時爾波。大御自幸矢手挾美太刀取佩志互。千萬乃大御軍。誘比給比。頑狂醜乃賊等訖知罰米平介給比。人民諸毛。常爾其乃大御心乎心止志互。梓

弓緩武事無久。怠留事無久。武士乃。上矢乃。鏑一筋爾。仕奉利來志事乃。狀波。御史乃。上爾毛著加利計利。是禮即。我賀皇大御國乃。國風乃。清久嚴志久。敷島乃。倭男心健久。雄々志伎。本乃。由緣爾志。其乃。中爾毛。劔術。鎗術。及柔術。乃。藝乃。天下爾比類無久。轉留也。外國人毛。恐知畏美。羨羨慕比。思留事波。世乃。人皆乃。知禮留賀如志。如此。是乃。國學院。乃。同窓會波。志毛。體育部。取設介。劔術乃。道。柔術乃。法。習修米。特爾。其乃。事業乃。一刀志。空。由留冬乃。極乃。朝奈朝奈。三十日程一日毛。落受。降留雪乃。凍。由留乎。耐倍吹久風乃。寒。衰厭波受。志篤伎人等打寄。集比。相共爾。鍊利磨伎。勤美勵美都留爾。高久尊伎大神等乃。恩賴爾與。利。障留事无久。滯留事无久。事了奴禮婆。今日波其乃。最終乃。式執行。布刀之。是乃。擊劔場乃。與床。假乃。岩境刀掃比。清米。大神等乃。大御靈。招伎。齋奉利。拜美仕奉留狀乎。平介久安良介久聞食。今毛往先毛。大神等乃。大御德乃。隨。此乃。道。衰廣久厚久守給比。幸給比。此乃。

會乃。人等諸。劔太刀。鞆爾治麻留大御代爾毛。益良男乃。利心彌研伎磨伎氏。嚴矛嚴志久正志伎道乃。蘊與乎。究米得志米給比。君乃。御楯國乃。守止仕奉志米給倍刀。稜威乃。高。爾。仰伎乞祈美畏美畏美母白寸。

教導始祝詞

(阿夫利神社祝詞集)

此乃。新年乃。新月乃。六日乃。今日乎。吉日止撰定女。教導職諸。持齋萬波里持清萬波里。此乃。小床乎。拂比。清米。掛卷毛畏伎。教乃。大神止奉稱留天之御中主大神。高皇產靈大神。神皇產靈大神。天照大御神乎。奉招奉座。大御前乎。慎美敬比畏美畏美母白須。今日乃。事始仁。禮代止奉捧御酒御饌魚菜菓種々乃。物乎。足幣乃。安幣止所聞食。此。席仁參集。留教導職等。君乃。御爲國乃。御爲止。各自勤勞支仕奉留教乃。道乎。日仁。異仁令盛。彌廣仁令廣。此乃。相模國內波更奈里。八隅知之吾大君乃。所知食食國仁。成出奉天乃。益人等。上止無久下止奈久。教布留隨。

令受得米。聞我隨令覺得米。外國乃異之。支教仁惑布事無久。又他國與里來居留者等乎母。令愉得女令導得米。久方乃天乃下。潮沫乃留留限。白雲乃墜居向伏限。敷施良志女給閉止。鶉成伊波比毛止保里。畏美畏美母白須。

○學校郵便電信局開始、及び諸會社結成の奉告祭

〔語例〕

黄金仁毛玉仁毛優里氏。貴支波人乃智仁奈毛有里介留。黄金にも玉にも優りて、貴き物は人の智識にて有るぞとなり。

國乃共仁身毛榮衣天。公益乎計里。民福乎益須事毛。其智乃深久弘支故仁古曾。國と共にその身も榮え、公益を計り、民福を益すことも、其の人の智識の深く弘きが故にこそあれとなり。

此乃新世乃嚴志大御世波志毛。人乃心月仁日仁彌開介。この明治の新らなる嚴めしき大御世にはとなり。他は聞えたるが如し。

學乃道年仁月仁彌進美仁進美行介婆。聞えたるが如し。

大御國內仁波。都毛鄙毛邑々里々落受。學校乎立氏志米給比天。皇國內には都會も邊鄙の地にも、至る所の邑々里々に、遺る所なく、學校を立てしめ給ひてとなり。

内外乃書學波志米。種々乃業習波志米給布隨仁。學生どもに、外國の書物をも學はしめ、種々の業を習はしめ給ふにつれてとなり。

此食國天下波。打見留島乃崎々。搔見留磯乃前不落。學校有良奴里无久書讀牟聲聞衣奴家无久。この天皇の御國なる、國中には島のはてにも、磯の崎にも、學校のなき所なく、書讀む聲の聞えぬ里なくとなり。語の解前にあり。

學柱太久高支大御稜威乃光亮仁照里徹里。學問を柱にたとへて、學柱といひ、其の柱の太く高きが如き、太く高き御威光、明かに照り徹り行はれてとなり。教草深久遍支大御惠乃露。滋久潤比渡禮里。教科の多きを草にたとへて、教草といひ、その教草は天皇の深く遍き御惠みの露に、滋く潤ひわたれりとなり。

今日與里始米氏。教閉牟人々毛。道踏違布事无久。學婆牟子等乃。教乃則乎過津事无久。授業始めの今日よりして、教師等の、教への道をふみたがふることなく、學生らの、學校の教則にそむくことなくとなり。

皇祖皇宗乃遺左世給比志御訓仁。違布事无久。即ち教育に關する大勅の御旨に、皆々違ふことなくとなり。

夏野往久道乃松蔭。依里氏宜支事共乃多奈留中爾。夏の野の道を往く人々の松蔭に依りて憩ふは心ちよしといひて、宜しき序詞とし、さて世に宜しき事の多くある中にてといへり。

男鹿乃角乃束乃間仁。玉章乃書通志。男鹿の角をつかむと言ひかけて、束の間(短き時間)の序詞とせり。玉章は、美しき文なり。即ち、寸時に電信の通ずるをいへり。

電信波志毛。電氣乃力以氏。針金乃絲乃至良牟極美。彼方與里此方仁。傳閉。針金乃絲乃至良牟極美とは、電線の張りてある所は、どこまでもといへるなり。

百里千里乃遠方人刀。座奈賀良仁言問比交志天。百里も千里も遠方なる人と、居ながらに言語をかはずとなり。

此乃銀行乃事業乎。金銀花咲久御世乃。大御代乃春乃朝日乃豊榮登仁。彌遠永久立榮衣志米給閉。この銀行の事業を、其の名になみある、金銀

の花も咲くべき榮ゆる御代の云々となり。次句は、前に解けり。

月遍久日遍久。彌饒仁饒毘。彌榮仁榮衣志米給閉。毎日毎日、いよく富饒にして、彌々榮えしめ給へとなり。

今度某等思起志氏。公益乎謀里。其業乎押擴米押張良牟刀。聞えたるが如し。

今日乎生日乃足日刀。其業創米行布刀爲氏。聞えたるが如し。

此人々等。年頃神乎敬比尊布心仁。先神事乎仕奉里氏。このたび、事業を起さむとする人々、常に神を敬ふ心より、先始めに神の祭を仕へ奉りてとなり。

入紐乃同心乃人々。己我家乃程々仁。財乎持來集米天。入紐乃は、同じの枕詞なり。同志の人々が、家の富みの程によりて、貨財を持ちより集めてとなり。

共々仁清支赤支真心以氏。世間乃便宜乎專刀志。聞えたるが如し。

爲我隨利益在良志米給閉。得我隨蓄息良志米給閉。事を爲すがまゝに利益あらしめ、利益を得るにつれて殖え増さしめ給へとなり。

出入人々波。村鳥乃群里來里。鶉奈須伊波比回里。日仁異仁賑比。月々仁榮由留會社。語句の解前にあり。意は聞えたるが如し。

祝詞作文便覽 語例作例の八

三二三

數多乃忠實人慈悲人乎。誘導支語勸米氏。聞えたるが如し。

大神等乃。青人草乎惠美給比。憐美給比。救比給布大御心乎心刀志氏。

聞えたるが如し。語の解前にあり。

浮草乃憂瀨仁沈美氏悲牟人等。足乳根乃親仁別禮志孤兒等乎養比。

浮草の(憂きの枕詞)憂きつらき處に沈みて、苦難に陥れる人や、足乳根の(親の枕辭)親に早く別れたる孤兒等を養ひてとなり。

手末乃事。或波物作留業乎毛教導支氏。手先の細工や、或は種々の物を作る仕業をも教へ導きてとなり。

〔作例〕

四谷第一尋常小學校開學式祭典祝詞(久保惠鄰稿)

此乃神籬爾招伎齋比奉留掛万久母。恐伎皇祖皇宗及天神地祇等乃大前爾。宇豆乃御幣物。御饌御酒種々乎捧介奉里氏。惶美惶美母稱言竟閉奉良久。此乃新世乃嚴志大御世波之母人乃心月爾日爾。彌開介爾開介。學乃道。年爾時爾。彌進美仁進美行介婆。此乃食國天乃下波。打

見留島乃崎々。搔見留磯乃前落知受。學乃校有良奴里無久。書讀牟聲聞衣奴家無久。學柱太久高伎大御威乃光。明亮爾照里徹里。教乃草深久。遍伎大御惠乃露滋久潤比渡禮里。如斯且此乃東京市那留四谷區波之母。皇朝廷乃大御趣介乃任爾。既久四谷尋常高等小學校乎設置伎介留乎。今回又此乃處爾第二尋常小學校乎築伎建且都留爾依里且。今日乃生日乃足日爾。其乃爨舍乎開伎始牟留儀式行波牟刀寸留賀故爾。先大神等乃大前爾。仰伎拜美言壽伎奉留事乃狀乎。平介久安介久聞食之且。今與里以往。此乃學校乃。彌饒里爾饒里。彌榮衣爾榮衣往可牟事波白寸母更那里。參入里罷出留人乃悉。守里給比幸波閉給比且。教師等波。教授乃法乎誤留事無久。勤之美務米之米給比。生徒等波。學習乃業達布事無久。獎米勵萬之米給比。又業卒且世爾出牟人等波。行高久智深久。內爾波國乃眞柱刀敬波禮。外爾波人乃鏡刀仰可留可久守給比幸波閉給比且。天加々志國加々世留大御國乃御光乎。彌

加々志加々左之米給比。天足良志國足良世留大御世乃御惠乎。彌足良之足良左之米給閉刀。齋主某神社職位姓名畏美畏美母。稱言竟閉奉良久刀白須。

四谷第三尋常小學校々舍安鎮祭祝詞

(久保直鄰稿)

掛卷毛畏支。此乃里乎宇斯波伎坐寸產土大神。又此乃家地乎守給布屋船大神乃大前仁。齋主職位姓名畏美畏美毛白左久。天皇乃大命以氏。定給比掟給閉留大御令乃隨爾。學乃道乎彌獎米仁獎米。彌弘米仁弘牟刀志氏。此乃東京市那留四谷區波志毛。既久第一尋常高等小學校乎設介置支介留乎。爾後第二尋常高等小學校。鮫橋尋常小學校等次々仁出來氏。今波第三尋常小學校乎建設久留事刀成里奴。如此氏其乃工事功畢奴禮婆。今日乃生日乃足日仁。學校開支創牟留言壽乃式行波牟刀寸。故先大神等乃大前乎拜美乞祈美。古乃法乃隨天津奇護言以氏齋比鎮米奉良久波。此乃學校波。天津御空高知留薨吹立風

燃立火乃禍事无久下津岩根築固留柱。寄來留地震溢留々水乃災无久。入居岳勤美仕布留教員職員等。教育乃法過津事无久。來通比立勵美勉牟留男女生徒等。學習乃道違布事无久。學柱太久嚴久興志進萬志米給比。教草廣久遍久繁里榮志米給比。夜乃守日乃守爾守幸閉給閉刀。齋鎮米奉良久乎平久安久聞食世刀。御饌御酒種々捧持津々。畏美畏美毛乞祈奉良久刀白寸。

郵便電信局開業式祝詞

(祭文私稿)

此乃神床乎伊都乃御阿良加止由麻波利天。招奉里令坐奉留掛卷母畏伎產土大神乃大前。及天御柱大神。國御柱大神。天鳥船大神乃大前仁。齋主姓名恐美恐美母白左久。現身乃人乃智乃。彌進仁進行久隨仁。種々乃物事開行伎天。夏野往久道乃松蔭。依里豆宜之伎事共乃多奈留中仁。郵便波之母。使遣佐傳小鹿乃角乃束乃間仁。玉章乃書通之。電信波之毛電氣乃力以天。針金乃絲乃至良牟極。彼方與里此方仁傳反。

此方與里彼方仁傳反。百里千里乃遠方人止。座奈賀良仁言語良波衣奴。此二業波最毛貴久最毛重伎事仁有禮婆。今度此處仁如此麗之久家築建天。今日乎生日乃足日止撰定天。二業乃事始爲之天武止。官々乃人等。及預禮留諸人等。大前仁參來集比天。持齋回里持清回里。宇豆乃大御酒大御食仁。海川山野乃種々乃物乎取添反天。禮代乃幣帛止捧奉里。手拍知拜申奉良久乎。相宇豆那比聞食天。今與里後波彌遠仁彌長仁。不意發良武諸乃禍事有良之米給波受。夜乃守里日乃守仁守幸給反止。恐美恐美毋白須。

新聞發行祝祭祝詞

(祭文私稿)

此乃與床乎假乃眞屋止。由麻波利清麻波利招奉利令坐奉留掛卷久毋畏支。宇夫須那大神天津神國津神。八百萬乃大神等。國々處々仁鎮座須諸乃大神等。及久延毘古命乃御前爾。齋主姓名恐美恐美毋白佐久。八十日日波有禮籽毋。今日乎生日乃足日止議定天。何々新開止名

附久留書乃初號乎發行波武止。御祭仕奉利天。大御酒大御食。海川山野乃種々乃物乎置足波之天奉利。社長姓名乎始天。諸乃記者事執人手人等。皆大前仁參侍利。宇豆乃玉串乎捧持知。鶉成須伊波比毛止保利。拜仕奉良久乎。相宇豆那比給比。進留幣帛乎。安幣乃足幣止。平介久安良介久聞食天。四方八方與利告來武人乃。書誤留事無久。賣販我武紙數乃。年月每爾彌增仁增行伎天。絕留事無久。彌榮仁榮延之米給比。夜乃守日乃守仁守幸給反止。恐美恐美毋白須。

株式會社結成祝詞

(祭文私稿)

是乃小床乎假乃眞屋止。由麻波利清麻波利。神籬立天招奉利令坐奉留。掛卷久毋畏伎。宇夫須奈大神乃大前。及天津神國津神。八百萬乃大神等乃大前仁。恐美恐美毋白佐久。今度某等思起之天。公益乎計里。其業乎押張利押廣米武止。諸人乎說誘比說獎米天。何乃株式會社乃云布牟禮乎組成之。入紐乃同心乃人々。己我家乃應分仁財乎持來集比

天。今日與利始天。事執始米武止。大神等仁禱白之天。御祭仕奉利。宇豆乃御酒御食。海川山野乃種々乃味物乎良。禮代乃幣帛止獻置豆。已我自志。玉串捧持知。由志利伊都志利。齋拜奉良久乎。相宇豆那比給比豆。安幣乃足幣止。平介久安良久久聞食天。此牟禮乃絕留事無久。退久事無久。彌進仁進美。彌締仁締利天。遠伎止近伎止乃隔絕無久。貴伎止賤伎止乃差別無久。月々爾公益乃効乃表行加武麻邇麻邇。多久乃利乎獲之米給比。富榮衣之米給反止。恐美恐美毋白須。

慈善會開會式祝詞

(神道本局祝詞集)

此乃齋庭乎。嚴乃磐境斗神籬建豆。招奉里坐世奉留。掛卷毋畏伎造化三柱大神。天照大御神。豐受姬大神。大己貴少彥名大神。直日大神等乃宇豆乃大前爾。頸根突拔伎拜美豆白左久。此乃慈善會波之母。去之年何誰賀。燒鎌乃敏心起之豆。數多乃忠實人乎誘導伎語勸米豆。此乃東京奈留。某區某町爾取設介志乎始斗之豆。其執行布事業波母。大神等

乃。天下乃青人草乎。大御寶斗愛傳給比。惠美給比。憫美給比。救比給布。其大御心乎趣旨斗爲豆。寄邊奈久憂瀨仁沈美迷布貧志伎人。或波足乳根乃親仁別禮志孤兒等乎。養比都々在介留程爾。漸々爾世乃心有留人乃助乎得豆。其事業母日爾異爾進榮衣豆。此乃何郡何町爾波。何々園斗云乎佐附設介。感化院施療院乎母次々仁設備閉豆。貧志久苦米留人等乃疾病乎療治志。又波八十禍日仁相交里。不良奴行有里豆。哀禮監獄爾繫禮志少年乃塵居曇禮留心乎母。神直日大直日乃神乃御靈賜里豆。眞澄鏡眞佐夜加爾立知返里奴倍久。說伎感化豆。或波手末乃事或波物作留業乎母教導伎豆。世乃爲爾善伎事乎母勤米行比。遂仁波玉幸布神斗君斗乃。深伎大御惠爾母報奉留倍久成奈牟事乎志母。彌進米仁進米。彌廣米仁廣米牟物止勤勞伎介留。故今年母。年每乃例乃隨。此乃十一月何日乎。生日乃足日斗齋定米豆。御祭仕奉里。又貧之伎人爾波物施之賑佐牟止。大御前爾。百取乃机代乃物乎。置高

成豆捧奉良久乎。哀斗思志坐之豆。某賀如此思起志勞動奉留隨爾築立留心乃柱乎。太久堅久築固米之米。彌益々爾殿乃雄心振里起之。勤締里豆怠留事奈久。漫奉事奈久令在給比。又此事業乎相助介相穴奈布人等波。八十綱打掛豆引寄須留事乃如久。日爾月爾此所爾來入集比豆。彌廣爾彌遠爾普加良之米給閉斗。今日乃御祭乃事仕奉良久止。謹美敬比畏美畏美毋白須。

地久社開業式祭典祝詞

(杉乃舍諱辭集)

武藏國豐島郡駒込里千駄木乃坂下奈留。此乃所乎齋庭止掃比清米氏。五百枝眞賢木仁眞麻木綿取垂傳。神籬止指立飾里豆。掛卷毋畏支皇產靈大神。及此乃府下乃里々町々所々仁鎮坐須大神等乎。招奉里坐世奉留宇豆乃御前仁。位姓名畏美畏美毋白左久。天下乃青人草波。天津御祖乃大神乃御靈仁因里豆生出豆。其乃大御寶止愛傳給比惠美給布乎。其我生留々時仁出留胞止云布物波之母。胎内仁在豆波專

良身乎守里豆在禮杆毛。既爾生出豆波無用奈留物乃如久所思故仁。等閑仁爲留者乃有里豆。多久波家庭中。又波床下仁埋米。或波塵塚仁打棄。溝川仁流寸毛有留波。甚久情无支業奈留乎。殊仁波遂仁腐敗豆。其惡氣自然人乃身乎害布本止毛成奴倍久。憂多久慨之支事仁奈毋有介留。故於是神保半四郎伊思比起之豆。府下乃人民乃生留々每仁其乃胞乎埋米治奉留所乎。此所止定米豆。今日之母其乃場乎開設式行布止之豆。大神等乃御前仁。神官諸參來集比。御酒御饌供奉里。敬比拜美奉里豆。自今以往。日爾日爾生出奉人等乃。彌益々仁蕃息茂里。彌常方仁榮延行久倍久。守里給比幸波。閉給波奉事乎。乞比祈美奉留狀乎。平介久安介久。聞食宇豆那比給閉止。畏美畏美毋白寸。

○著作、實業、演藝等の開始奉告祭

〔語例〕

我皇國乃言語波志毛。風乃音乃遠支上代與里。其乃定格有里氏。違不

留事無有介留乎。我が國の言語は、風の音の遠きの枕辭遠き古より、其の格が定まり居て、誰も言ひ方を違ふることの無かりしを」となり。

三粟乃中昔與里。言噪具漢國學乃渡來氏。其語等乃率禮里志與里。漸々仁其乃定格毛。刈菰乃亂禮仁多留。三粟乃は、中の枕辭。言噪具は、から國の枕辭。刈菰乃は、亂れの枕辭なり。中昔に至り、漢學渡來して、漢字音などが、我が國語に雜りたるより、國語の規則亂れたり」となり。

某負氣無久毛。今回其乎補比氏牟刀。思起志氏。某が身のほどに過ぐれども、このたび、其の亂れたる國語の規則を、補ひ直さむと思ひ起して」となり。

今日乎吉日刀撰定米氏。事始米仕閉奉良牟刀。今日を吉日と撰び定めて、著述の端緒を開き、その御祭する」となり。

神隨毛憐美給比惠美賜比氏。畏久毛。此乃業仁御靈幸閉賜比氏。神の御心のまゝに、我が志を憐み惠み賜ひて、畏れ多けれど、我が語格を補正する業に、大神の靈徳を幸ひ賜へ」となり。

書集牟留事乃漏留々事无久落留事无久。誤津事无久違布事无久。事幸久事速介久成得之米。事畢志米給閉。これより、我が書き集むる事の、漏

れ落ち、又は誤り違ふことなく、そのことを、無事に速に成し畢へしめ給へ」となり。

拙久劣支某伊。大神等乃廣支厚支恩賴乎蒙奉里。晝夜不分書著志編成志多留書乃。障留事无久過津事无久成終奴禮婆。聞えたるが如し。

此國土乃初發乃時。天神乃深久遠久神議里議里給比氏。事依志給比志大御言乃隨仁。此の國土の初めの時に當りて、天神が深く遠く謀議し給ひて、

國土經營の事を任じ給ひし御言のまゝに」となり。

汝二柱乃（大穴平運大神 少名産大神）大神兄弟刀成氏。此國乎修里固米給比。青人艸乃爲仁。種々乃事業乎毛創米給比。敎閉給比氏。病乎治留醫藥乃法乎毛定米置志々。大御業乎受續傳閉氏。汝二柱の大神は、兄弟と成りて、この國を修り固め、人民のために、いろくの事業をも創め給ひ教へまして、病を治むる醫藥の法をも定め置きなされたる、其の大御業を某がうけつぎ傳へて」となり。

此乃某乃家乃業刀。年月博久學毘詳仁問比。實地乃經驗乎毛成竟閉氏。この何といふ家の業として年月かけて、醫學を博く修め、詳に問ひただし、實地の經驗をもことごとく成しをへて」となり。

顯志支青人草乃。苦瀨仁落知氏阿津加比惱米留乎。助給比救給比志

事乃如久。解前にあり。

今度某我思起志事業始米牟刀爲留波。素與里。容易可良邪留。事仁志有禮婆。聞えたるが如し。

一人二人乃家門興左牟私乃爲仁波有良傳。大御國乃利益刀爲留倍支公乃事那里。一個人の利益を計るにあらずして、國家の利益となるべき公けの事業なり」となり。

共仁相議、氏事執留人々。己我向々不令在手乃躓足乃躓不令爲。共に評議して、互に其事業に當る人々をいふなり。他は前に解けり。

彌睦毘仁睦毘。彌和美仁和美。親魂令相賜比氏。解前にあり。爲業乎日仁異仁進米。彌益益仁盛奈良志米。聞えたるが如し。

世乃人々。心乎盡志思乎深米氏。外國乃人仁劣良自刀。種々乃物造里出志。其術仁思乎凝世婆。聞えたるが如し。

眞心乎以氏勉米行加婆。何事可成良射良牟。聞えたるが如し。人々慨美渡里氏過來介留乎。許多乃年頃。思乎凝志心乎盡志氏。國內乃利刀毛成良牟事乎思議里。世の人々の成し得ずして、慨き過ぐして來りけ

る某の事を多くの年頃思ひをこらし、心を盡して、國內の利益ともならんと思ひ考へて着手せり」となり。

某國某郡某乃里乃何某伊。今回何々乃商業乎營始米牟刀寸。聞えたるが如し。

清支赤支眞心以氏。世間乃寶乎融通乎專刀志。世間乃寶乎云々とは、世間の寶なる、金錢の融通の道を專一として」となり。

貪留事无久欺久事无久。僞留事无久曲留事无久。聞えたるが如し。私心乎置加受勉強里氏。朝夕仁勸美勞久商業仁御靈幸賜比。私心乎置加受とは、一身の利益を計るやうの私心を持たず」となり。他は聞えたるが如し。

物取扱布僕等我。手躓足躓仁物損布事无久。語の解前に在り。爲我儘仁利益在良志米。得留我隨蕃息良志米。語の解前にあり。

出入人々波。村鳥乃群里來里天。日仁異仁賑比。月々仁榮由留門刀令在給閉。出入する人々あまたありて、口毎に、愈々富み榮ゆる家となし給へ」となり。語の解前にあり。

今乃世乃人乃心乎取里慰牟留和謝袁伎毛種々有禮杆。和謝袁伎と

は、演劇の類をいふなり。他は聞えたるが如し。

加夫都々伊加夫伎刀云比。小柴垣志婆爲刀云比弓。加夫都々伊は、次の

加夫伎(歌舞伎芝居)の序詞、小柴垣は、次の芝居の序詞なり。

俳優人毛。彌其技乎眞玉成研磨支。俳優をする人も、いよく其の技藝を、玉をみがく如に研き磨くとなり。

天宇受賣命乃。天石戸乃前仁歌舞比給比志故實。俳優は、神代に、天宇受賣命の、天石戸の前にて、歌ひ舞ひ給ひし故實なりとなり。

火闌降命乃手乎延倍足乎舉介氏。水仁溺禮苦留狀。また、俳優には、天津彦火々出見尊の御兄なる火闌降命の手を延べ足をあげて、水に溺れて苦まれし状

を、後に、隼人の演せしより起れりとなり。

古乃神事等仁倣比基支氏。今乃世仁在里刀有留事乃狀乎。前條の如く、俳優のわざは、古の神事に基きて、今の世にあらゆる人情世態をうつすものぞとなり。

或波悲志久或波樂志久。嗚呼志久。憤志久。眞似毘作設介成調反多留演劇。嗚呼しくは、馬鹿らしくなり。他は聞えたるが如し。

築立留柱波。此場乃千年乃堅米。植竝留草木波。此業乃春秋乃榮衣。

築き立つる柱は、此の場所の、千年も永續すべき堅めなるぞ。植る竝ふる草木は、此の

業の千春萬秋に榮ゆるしるしぞとなり。

來入集波牟人等波。大木戸乃多久。四方仁聞衣牟名波佐受伎乃彌高仁。打鳴須鼓乃多志々々仁。立榮衣志米給閉。この劇場に、見物に來入り集

まらむ人々は、大木戸の多くして、良き批判の四方に聞えて、その名聲は、棧敷の高きが如くいや高く、また打ち鳴らす鼓の多志々々に(確かに)立ち榮えしめ給へとなり。

波自弓乃始氏。舳解放知艦解放知氏。旗立笛吹支鼓打知。歌比津々舞比津々。運轉式仕奉良久。波自弓乃は、始めての序詞なり。舳舟の前の方づなを

解き、艦(舟)の後の方づなを解き放ちて、旗を立て、笛を吹き、歌ひつ、舞ひつして、船の試運轉式を行ふとなり。

今與里後波渡良牟海中。泊氏牟湊仁。暴風乃立事有里刀毛。荒浪乃起留事有里刀毛。破留々事无久壞留々事无久。聞えたるが如し。

大神等乃靈幸給比氏。其所乃浦彼所乃灘刀。世仁名立多留畏支海毛。事无久喪无久渡良比。名立たるは、世に名の聞えわたれるをいふなり。他の語

の解は前にあり。

又船子乃者共。手乃躓足乃躓仁。棹柁過都事无久。聞えたるが如し。

〔作例〕

奉告著書編纂祝詞

(祭文私稿)

掛卷久毛畏伎。天津神國津神。八百萬千五百萬乃大神等。及學乃道乃祖神等。殊仁此里乎。領坐須宇夫須那。大神乃大前乎。慎美敬比拜奉利。豆禱白左久。某伊劣久。怯介禮杆毛。古今乃書等讀悟里天。彼此乃傳事乎良。右仁左仁考別知。正之伎波取利。正之加良奴波。捨天。今度何々乃事乎。編記之書著左武止。今日與利始天其業。仕奉良久乎。相宇豆那比給比。奇之久尊伎御靈幸給比天。夜半曉不知仁。書伎止書伎編美止。編成左武文乃義乎。思違反誤都事無久。後生爾便益有良志武辨久。成左志米給比。逝水乃最速介久。功畢之米給反止。禮代乃幣帛捧奉利。恐美恐美母祈願奉良久止白須。

醫師開業式祝詞

(祭文私稿)

此乃神床乎伊都乃眞屋止。祓清米氏。招奉利令坐奉利齋鎮奉留。掛卷久母畏伎。大名牟遲大神。少名毘古那大神。及此里乎。領坐須宇夫須那。大神等乃大前仁。由志利伊豆志里。太禰取懸介天。大御酒大御食。海川山野乃種々乃物乎置足。波志天。進利進退比。匍匐比拜美祈願白左久。高天原仁事始給比志。神漏伎。神漏美命乃大命以天。二柱乃大神。相並婆志天。大御心乎陸毘給比。大御力乎戮給比天。大八洲國乎作固成給比。諸乃病乎治留藥方乎始給比天。顯志伎青人草乃苦瀨。仁落知天阿都加比惱米留乎。助給比救給反留。奇伎尊伎神術乎。重美忝美天。此乃某我家乃業止。年月普久學毘修米。神習々竟閑天。今日乃生日乃足日仁。事始乃式乎舉行波牟止。御祭仕奉良久乎。相宇豆那比給比天。奉留幣帛乎。安幣乃足幣止。平介久安良介久聞食天。日仁異仁仕奉良武手和邪乎。過都事無久。夜半曉不知仁。考究米武道仁違布事無久。夜乃守

日乃守仁守幸給反止。鹿自物膝折伏世。鵜自物頸根突拔天。恐美恐美
母白須。

實業開始式祝詞

(祭文私稿)

宇夫須那大神止以齋久。掛卷久母恐伎。某大神止御名波申志天。是乃
神床乃伊都乃真屋仁。招奉利令坐奉利。又天津神。國津神。八百萬乃大
神等。國々處々仁鎮座須諸乃大神等乎毛。同御床仁齋奉利仕奉利天。
恐美恐美母祈願白左久。今度某我思成志天事始米武止。企起世留何
乃業波志毛。奧津藻乃毛止母難加留業仁有禮杆。一人二人乃家門興
左武私乃爲仁波有良傳。大御國乃利潤止爲留反伎公乃事爾志在禮
婆。今日乎生日乃足日止撰定天。如此嚴重仁御祭仕奉利祈願奉良武
止。宇豆乃大御酒大御食仁。海川山野種々乃味物乎取添反。禮代乃幣
帛止捧奉利。由志利伊豆志利仕奉禮留太玉串乎捧持知。志自萬比波
良婆比拜美奉良久乎。相宇豆那比給比天。此業仁預禮留諸人波。枉津

日乃云波武惡事仁。相率利相口會布事無久。彌進仁進美彌締仁締利。
緩布事無久怠留事無久。彌遠仁彌廣仁。家母名母聞衣渡里榮衣行久
辨久守幸給比互。打見留島乃崎々。搔見留磯乃崎落知受。此業乃績乃
効乎獲志米給反止。恐美恐美母白須。

唐紙製造所開業祭祝詞

(諄辭集)

是乃地乃鎮米遠長伎守神止座須。掛卷毛畏伎稻荷大神。及秋葉大神
乃宇豆乃御前乎拜美奉里互。齋主仕奉留何某。恐美恐美毛白佐久。豐
年乃秋乃足穗乃水穗國止。是乃大日本乃國波志毛。田爾島爾野爾山
爾生立都。諸乃植物良久立榮衣。青人草乃數毛甚多爾。又其性毛美志
久在禮杆。諸乃器械乃類及世乃中乃利止成留物等乎。新爾造里成出
留術爾波。外國乃人々爾尙及婆奴方有留波。飽受口惜伎事那賀良。此
波上古毛神乃御心止。金銀乃我國內爾在留波。教閉給波受互。外國爾
在留事乎諭志給閉留事乃如久。遠久深伎神乃御量有留事爾叙有良

牟。故今乃大御代止成。次々爾世乃人々毛心乎盡志思乎深米。外
 國乃人爾劣自止。種々乃物造里出志。其術爾思乎凝世。又自然神乃
 助介給布事有里。遂爾其業成得留波。其人乃真心即豆惟神乃精神
 乃作用爾志。此真心乎以豆勉米行波。何事可成射良武。筆取豆物
 書伎記須紙乃類波。我國內爾毛種々雖有。世爾唐紙止號介多留紙乃
 美波。我國爾豆。造禮留波。彼國與里持渡里來留物止。全久同狀爾得有
 良稱。人々慨伎渡里豆過來介留乎。谷傳四郎。所元震二人伊。年頃思
 乎凝志心乎盡之。豆水穗乃國乃名爾負布稻乃藁乎以豆。遂爾其唐紙
 乎。彼國乃物止聊毛違波。奴形爾造里出。後遂爾國中乃利止毛成良武
 事乎思議里。是乃地爾其造留家乎定米。即豆今日與里事始米武
 刀須。故是乃所爾早久與里鎮里座須皇神等乃大前爾。此事狀乎申志。
 人々諸拜美乞祈奉里。稱言竟奉良久乎。平介久安介久聞食豆。皇神乃
 知食須其稻乃藁乃曾々伎亂留々事無久。其火燒久竈乃火氣進美荒

振事無久。五百代小田乃彌遠爾。登陀留烟彌高爾。此業乎立榮衣志米。
 此人々乎助介幸閉給閉止。禮代乃御酒御饌。海山乃物乎。橫山成置高
 成。畏美畏美毛稱辭竟奉良久止申須。

商業開始式祝詞

(祭文私稿)

此乃神床仁招奉利令坐奉利齋鎮奉留。掛卷久毋畏伎。大名牟遲大神。
 少名毘古那大神。事代主大神。宇夫須奈大神。又天津神。國津神。八百萬
 乃大神等乃大前仁。恐美恐美毋白左久。此乃某我家乃那利波比止。今
 日與利始天。賣販具何々乃阿伎那比乎。法乃隨興成左武止。御祭仕奉
 利天。大御酒大御食種々乃物乎進利。手拍知拜美禱白左久乎。相宇豆
 那比給比天。四方四角與利。疎備荒備來武枉津日乃枉事無久。主乃心
 清久明久。親族家族乃行直久正志久。參入利罷出留諸人仁。手乃萬我
 比足乃麻賀比在良志米受。賣留人乃賣過都事無久。買布人乃買違布
 事無久。夜乃守日乃守仁守惠。萬比幸比給比豆。彌高仁彌廣仁立榮延

志米給反止。恐美恐美母白須。

劇場開業屋船祭祝詞

(詳辭集)

是乃家内乎祓比清米。今日乃祭時止。注連曳廻之神籬居。互招奉里齋奉留。掛幕毛文爾畏伎。屋船久々能智大神。屋船豐受比賣大神。二柱乃神靈乃宇豆乃大前爾。恐美恐美毛白佐久。千早振神乃御慮乎。和米奉里招奉留。神遊里乃古伎手風波置。今乃世乃人乃心乎取里慰奉留。和謝袁伎母種々雖有。加夫都々伊加夫伎止云比。小柴垣志婆爲止云比。今乃世爾在里止有留事乃狀乎。或波悲之久。或波樂之久。或波嗚呼之久。或波憤之久。眞似比。立舞布業毛物並。且精之久。成行久。大御代乃光爾。俳優人毛。彌其伎乎眞玉成研磨伎。其座上座本止在留人等毛。種々爾心乎盡之。其業乃榮乎思比。量里互在留中爾。高木秀吉。高濱信範等。劍太刀利心乎振起之。久松止名爾。負布是乃場乎。高久廣久嚴之久。美之久。造里立替。今其家造成竟。閑。俳優人毛。足里奴。故今日乎。

生日乃足日止。其業創米行布止爲。此人人等。年頃神乎敬比。尊布心爾。先神業乎仕奉里。此家乃名乃久松乃。常磐爾立榮衣行奉事乎。乞祈奉良。奉止須。故其眞心乎好之。宇牟賀之止。汝屋船大神等乃神靈乎。招請申之。互。齋比。鎮米言壽白佐久。築立留柱波。此場乃千年乃堅米。植竝留草木波。此業乃春秋乃榮衣。來入集波。奉人等波。大木戸乃多久。四面爾聞衣奉名波。佐受伎乃彌高爾打鳴須鼓。乃多志々々爾。立榮衣之米給閉止。齋主權大教正本居豐額爾代里。互。姓名畏美畏美毛申須。

運轉式祭事祝詞

(祭文私稿)

今回造畢。反多留新志伎船。大久高支屋形乃上乎。祓清米。互。比母呂岐差立招奉里。令坐奉留。掛卷母綾仁畏伎。綿津見大神等。住吉大神。及須佐之男大神。宇夫須那大神等。乃大前仁。恐美恐美母白佐久。諸乃大神等。仁禱白志。互。造禮里志。此大船乎。某丸止名附介天。今日乃生日乃足日。仁。波自弓乃始。互。舳解放知。艦解放知。互。旗立。互。笛吹伎。鼓打知。歌比。

都々舞比都々。運轉式仕奉久止。先大前乃御祭仕奉良久乎。奉留禮代乃幣帛波。洗米神水堅鹽鏡乃餅飯。御酒波囊乃上高知里。甘菜辛菜。波多乃廣物波多乃狹物。奥津藻菜邊津藻菜仁至迄。横山乃如久置高成之豆。宇豆乃太玉串乎捧持知豆。伊波比毛止保利拜仕奉良久乎。相諾比給比豆。今奥里後波。大船乃渡良武海中泊天武湊仁。荒伎波風立多志米給波受。船長乎始米豆。水手楫人仁至留迄。異志伎怪志伎禍事無久。夜乃守里日乃守仁。守矜萬比幸比給比天。彌遠仁彌長仁。五十榎八桑枝乃如久。立榮仁榮延志米給反止。恐美恐美毋白須。

九、農工商の諸業祈願祭の祝詞

農事に關する諸祭

〔語例〕

大神等乃恩頼仁依里氏。高田窪田仁取作良牟穀物乎。暴風荒水仁令遇不給。聞えたるが如し。語の解前にあり。

取作良牟水田津物奥津御年波更那里。陸津物甘菜辛菜仁至迄。水

田津物は、字面の如く、水田に作るもの、即ち奥津御年(稻)なり。他の解前にあり。

霖雨降頻里。河瀬溢禮氏浸損布事无久。長雨降りつづきて、河瀬が溢れて、稻

を浸し損ふことなり。

惡支蟲生出喰損布事无久。八束垂穗仁成幸閉給閉。惡き蟲が出来て、稻

を喰ひ損ふことなく、幾束もある長き満足なる穂と、成し幸へ給へことなり。

千早振何乃神乃御心加。雨知留神乃御心加。量知可支限仁波不有禮

杵毛。千早振は、神の枕詞、何といふ神の御心なるか、雨を掌る神の御心なるか、測り知

らざれどことなり。

此頃霖雨降續氏。陸田水田仁生留物波。日麻根久水仁浸里氏。朽傷衣

牟刀寸。この頃、長雨が降りつづきて、畑や田に生ふる物は、數日間水に浸りて、朽ち傷

去之何日與里。一日毛不落。彌降里仁降頻里氏休止無介禮婆。聞えたるが如し。

はれむとすことなり。

大神乃大御靈德乎仰支尊美。大御幸乎乞祈奉牟刀。聞えたるが如し。

天仁激里落津留雨毛厭波受。御前仁參上來兵。種々乃物供奉里大御
稜威乎乞祈奉留狀乎。天よりたぎり落つる大雨をもいとほす大神の御前に參
の上り來て、いろ／＼の物を奉り、御威靈を以て、雨を晴れしめ給へと、祈り奉る状を
となり。

鶉如寸伊這廻里仕奉里。憂比歎加比乞祈奉良久乎。歎かひは、歎きの延
びたるなり、他の語の解前に出づ。

神隨憐刀所思愛志刀。所見志兵。神幸仁幸比給比兵。神の御心のまゝに、
憐れに可、愛しと御思ひなされ、よく幸ひ給ひてとなり。

速仁天乃村雲乎。級戸乃風仁氣吹拂比。伊照里輝久天津日乃御影乎。
仰加志米給比兵。速に、天に群る雲を、級戸乃風(ただ風をいふ、戸とは風神の座
す所なり)に吹き拂ひて、照りかがやく天つ日の御影(光り)を、仰がしめ給ひてとなり。

伊照の伊は、發語なり。
天乃八重棚雲乎。科戸乃風仁吹拂比兵。天に幾重にも靡きたる雲を、科戸
の風にて、吹き拂ひてとなり。

暴雨波。今日刀毛不言。速仁忽仁令止米。天津日乃御光伊照里徹良志。
暴りに霽れしめ、日光を照り徹らし、照り匂ふ(照りてうつくしく光るをいふ)天つ空
を、元の如く霽れかへらせ給へととなり。

照匂布天津御空乎令霽返賜比兵。あらしき雨は今日の内ともいはず、只今よ
り速に霽れしめ、日光を照り徹らし、照り匂ふ(照りてうつくしく光るをいふ)天つ空
を、元の如く霽れかへらせ給へととなり。

五穀乎始米兵。草乃片葉仁至留迄。朽留事无久傷布事无久。彌繁仁繁
里。彌榮仁榮衣志米給閉。聞えたるが如し。

千早振何乃神乃御意仁可。日乎重禰月乎重禰兵雨不降。太久早奴留
波。何と申す神の御心にてあるか、日月を重ねて雨ふらず、甚しく早りぬるはとなり。

何月乃始(中、末)與里。早魃打續支兵。植志田毛蒔志畑毛。朝每仁萎美。夕
每仁枯損閉留乎。聞えたるが如し。

川溝波乾涸。大土波燥裂兵。四方乃御民乃勤美勞支。播生志多留陸田
物。植生志多留水田物。日仁殊仁枯凋美。川や溝は乾き涸れ、大地燥裂けて

四方八方の御民共の、勤め勞きて播き生ふしたる畑の物も、植る生ふしたる田の物
も、日毎に枯れ凋みてとなり。

漸々仁損盡奈牟刀爲留乎。甚久歎加比悲米留隨仁。だん／＼損ひ盡き
なむとするを、甚しく歎き悲めるに由りてとなり。

祝詞作文便覽 語例作例の九

農民等見悲美思惑波比乍。天津水乎乞祈奉留狀乎。農民共苗の枯れむとするを見て、かなしみ惑ひながら、天津水(雨なり)のふらむことを祈り奉る狀をとなり。

皇神等乃御前乎齋奉里。文仁奇支大御幸乎。請祈奉良牟刀。文には感動の語なり。他は聞えたるが如し。

御心毛明仁看行志。相諾比給比氏。祈り申す狀を、皇神の御心にも明かに御覽じうけ納れ給ひてとなり。

神隨毛憐美賜比慈美賜比。嚴乃御靈振起志賜比。語の解前にあり。今毛今毛。天津水乎降志氏。良水乃甘水刀令受給比。只今直ちに雨を降らせて、田に良き水のうまき水をうけしめ給へとなり。

天津御空乃。雨霧比登能具毛里合氏。忽仁令雨降賜比氏。大空が霧立ち曇り合ひて、忽ち雨を降らしめたまひてとなり。

五穀乎始。草乃片葉仁至迄。潤普久繁立榮衣氏。聞えたるが如し。枯禮盡奈牟刀爲留五穀乎。再比令生返給比。聞えたるが如し。

終仁波。八束穗乃嚴穗仁。令熟得賜比氏。令熟得とは、色よく稻の熟するをいふ。他は前に解けり。

年有留御代乃。賑布御代刀成幸給比。農夫等我心足仁令足給閉刀。豊年にて賑かなる御代と成し幸ひ給ひ農夫共の心に満足を得しめ給へとなり。

公民乃。日頃乃愁乎忘禮。心足比仁。惠良々々仁笑比樂牟。秋仁令遇賜閉。人民共が、日頃の愁ひを忘れ、心に不足なく、笑ひたのしむ秋にあはしめ給へとなり。惠良々々は、笑ひ樂しむさまなり。

時候乃變遷乃。季刀云布那留。二百十日毛近津支奴禮婆。氣候の遷り變るをりといへる二百十日も、近づきたればとなり。

逸速支暴風發起里氏。山仁繁立留大木小木乎打挫支。いとまあらき風起りて、山に繁り立てる大木小木を、打ち挫きてとなり。

或波並立留家屋乎吹破里吹倒寸如。ある時は、並び立てる家屋を、吹き破り吹き倒すがやうにとなり。

暴風惡風令吹給波受。平穩仁和順仁經過左志米給閉。聞えたるが如し。

百姓等我取作留奥津御年波。雨風乃荒比无久。早魃乃災无久。繁榮衣

牟刀爲乎。農夫共が作る稻は、雨風の荒びなく、日でのりの災なく、繁り榮えむとするをとなり。

百姓等我。手肱仁水沫畫垂。向股仁泥搔寄氏。解前にあり。

取作留穀物乎。昆蟲乃沸出飛來氏。食枯志食盡左牟刀爲奈留波。甚支災害刀。聞えたるが如し。

此頃蝗涌氏。害乎爲寸事少加良受。聞えたるが如し。

此波大神等乃御心仁協波奴事有里氏。然良牟毛知留可良受。此は蝗などの生、すること、大神等の御心に協はぬ事が有りて、さやうあらむも知るべからずとなり。

今日之毛諸人等。右寄左寄里寄來參集比氏。御祭仕奉里禱白左牟刀。今日、人々があまた參る集りて、御祭を仕り、禱ぎ白さむとてとなり。

彼蝗乎追却介拂盡氏。秋乃足穗乃八束穗仁茂里登志米給閉。語の解前にあり。

五穀物乎。昆蟲羽蟲乃災害仁合波志米給波受。嚴穗乃足穗仁成幸給閉。聞えたるが如し。

顯身乃人乃命繼具食物仁次支氏。甚要用奈留。物波衣服奈里。現身の人の命を繼ぐ食物に次ぎて、甚だ要用なる物は、衣服ぞとなり。

風音乃遠津神代仁。大神乃妙奈留神德仁依里氏。成出多留蠶波志毛。風の音は、遠きの序詞なり。遠き神代に、大神のすぐれたる神德に依りて、成り出でたる蠶はとなり。

顯見青人草乃。其蘭乎口仁含美氏。絲乎績具可支物會刀。教給比志隨仁。人民共が、其の蘭を、口に含みて、絲を績ぐべき物であるぞと、天照大御神の教へ給ひしまゝにとなり。

貴毛賤毛。其相應仁身乎覆比津々。夏乃日乃暑熱乎遮閉。冬乃夜乃寒乎凌久波。貴きも賤しきも、其の身のほどくに、身を覆ひて、夏の日の暑さを遮へ、冬の夜の寒さを凌ぐこととはとなり。

故其織物乎。彌廣仁彌長仁。織成志織里調閉氏婆。調閉氏婆は、調へたらばなり。他は聞えたるが如し。

彌々益々。人乃利益刀成禮留乎。其我中仁。蠶乃繭乃白絲叙。殊仁勝禮氏。國乃光刀成禮里計留。いよ／＼益々、人の利益と成れるを、其の中に、生絹は

殊に勝れて光澤あるが如くに、國の光ともなれりとなり。
明妙照妙乎始米。綾錦綺繒絶乎織氏。宇津秦衣仁作里。明妙照妙解前に
ありを始め、綾や錦、綺、うすき錦や、繒細やかに織れる絹布の名、絶、繒の類をおりて、多
くのよき衣に作りとなり。

神代與里萬代乃今仁至迄。其恩頼乎蒙里來津留波。最毛尊久辱久。
神代から萬代後の今に至る迄も、其の御恩澤を蒙り來たることは、最も有がたく辱
しとなり。

昔隨仁長久傳閉來氏。今乃世刀成豆波。昔のまゝに、長く傳へ來て(織物の
業を、今の世となりては、一層又云々となり。

其道乃工女等我。天香山乃岩根高々仁。信濃川川瀬乃水乃一筋仁。大
支御惠乎畏美仰支奉里。養蠶の工女共が、天香山の岩根の高きが如く高く、信
濃川の河瀬の水の一筋に流るゝが如く、只一筋に、大なる御惠を仰ぎ願ひ奉りてと
なり。

其業乎葉廣桑押擴米行久任仁。其術乃茂志眞桑彌精細久成行久狀
乎。養蠶の業を、廣き桑の廣くといふやうに、弘く押しひろめ、その術を茂りたる眞桑

(よき桑の、まきはしといふやうに、誠に精しく成しゆく狀をとなり。

皇神等毛。然古會於牟加志刀所思良米。然古會御心足良比仁所思良
米。語の解前にあり。

故此春毛。齋清麻波里氏。養留蠶兒仁。昆虫乃災无久。氣候乃違无久。
この春も、身をきよめ家をきよめて、かへる蠶兒に、害虫の災なく、氣候の變動なくと
なり。

霖雨疾風乃障无久。伊加志八桑枝乃如久殖榮志米。桑の枝の殿めしく、
枝ざしの榮ゆるがやうに、ふえ榮えしめ給へとなり。他は聞えたるが如し。

八百萬千五百萬乃蠶卵乃生卵波。善良蠶乃榮衣牟蠶卵刀。言祝支稱
附氏。數多き蠶の生卵は、悉く善良なる蠶の榮えむ種とことほぎ稱へてとなり。

蠶室仁波。伊豆乃生火乎。所々仁差埋美。蠶場仁波。千座乃棚座乎。八重
仁結毘設介氏。養蠶室には、清めたる火を、所々に埋め、あまたの蠶棚を結び設けて
となり。

白玉乃御統乃眞珠如寸繭乎。小石丸乃固久美久造良志米給閉。白
玉のすべくしられたる珠の如き繭を、小石丸と稱ふる名の如く、固く立派に造らし

め賜へとなり。

人乃利益刀。白濱乃濱乃砂如寸。彌廣仁盛湛閉。蠶を飼ふ人々の利益として、眞白に見ゆる濱の沙の如く、澤山に盛りたへとなり。

國乃光刀。白妙乃雪山如寸。彌高仁積上志米給閉。繭を國の光として、眞白なる雪山のやうに、彌高につみ上げしめ給へとなり。

根紫桑懇仁。葵桑仰支乞祈奉良久刀白寸。根紫桑懇をいはむための縁語。葵桑も同じの懇に、葵桑の仰ぎて祈り奉ると白すとなり。

飼馬某我。千早振荒振神乃御心加。疎布留者乃枉事加。病美惱美天。飼馬が某は、馬の名あらぶる神の御心によりてか、禍する妖鬼の枉事によりてか、病みつきたりとなり。

上田窪田平耕志耘留業乃助仁。畜置留駒乃一疋二疋煩比惱兵。高き田低き田を耕し耘る業を助けしめんとて、畜ひ置ける駒の一二匹が、煩ひなやみてとなり。

朝仁走出留駒毛。夕仁波惱美夜寸良牟。朝には、勢よく走せ出づる駒も、夕には、惱みにかゝらざるかと、獣疫の流行を氣遣ふなり。

今日進米留駒毛。明日仁波煩比夜爲良牟刀。各毛各毛思乎焦志心乎痛米。今日威勢よき駒も、明日は煩ひはせざるかと、各々思ひを焦し心を痛めてとなり。

此乃某等乃飼置久駒波。煩事無久鞭打多兵遠支仁至里。この某等の飼ひ置く駒は、煩ふことなく、鞭を加へずして、自ら進んで遠き所にも至りとなり。

重支乎背負比走出留駒。進左米留駒刀爲在給比兵。重きを負ひて、走せ出す駒の、勇める駒とならしめ賜へとなり。

〔作例〕

年神祭

(祭文例)

大年神。御年神。若年神登。御名波白志兵稱辭竟奉久波。毎年爾春乃初爾。此神棚爾招奉兵。朝夕爾御祭仕奉久乎。平久安久聞食登白須。如此仕奉爾依兵。手肱爾水沫搔垂。向股爾泥搔寄兵。取作牟與津御年乎始兵。穀等百乃草木爾至麻兵。不成傷布事无久。蝗及種々乃病不令有。雨風時節爾協比兵。農業乃便乎失波受。守給幸給閉止。恐美恐美毛稱辭

祝詞作文便覽 語例作例の九

竟奉久登白。」

筒粥祭祝詞

(阿夫利神社祝詞集)

掛萬久母文仁恐伎。大山祇大神。大雷神。高靈神乃御前仁。姓名慎美敬
比畏美畏美母白寸。天下乃公民乃作里斗作留。水田物陸田物乃中仁。
其乃年乃季候仁依里天。良斗不良斗。成里止不成斗有里豆。自然均可
良奴乎。今御前仁種々乃物種乎。有里乃盡供置支氏。筒粥乃行事奉仕
里豆。此年仁吉支斗凶志伎斗乎。卜相豆武斗爲留狀乎。神隨母諾比給
比幸比給比豆。吉支波吉之。凶支波凶志斗。具仁卜正仁見之諭之給閉
斗。畏美畏美母白須。」

祈晴祭祝詞

(六人部是香祝詞所載)

此里乃宇夫須那神止持崇久。掛萬久毛畏支。皇神乎始奉里。高靈神。閻
靈神。天水分神。國水分神。天久比奢母智神。國久比奢母智神。天津神千

五百萬。國津神千五百萬乃皇神等乃御前爾白久。此頃雨雲久久覆比
霖雨降氏。高山乃末短山乃末與利。佐久那太理爾落瀧都川乃瀨溢氏。
百姓乃作止作物波。五穀乎始豆。草乃片葉爾至萬氏。不生傷閉留賀故
爾。百姓等憂歎伎氏。寐毛不安。佐麻與比有乎。大神等相宇豆那比給氏。
雨雲乎科戶乃風乃氣吹掃氏。天津日乃伊照徹良志。百姓乃作止作物
波。五穀乎始氏。草乃片葉爾至萬氏。成幸閉給閉止。禱白須事乎。進留白
伎馬乃耳彌高爾所聞食止。恐美恐美毛白須。」

祈雨祭祝詞

(同上)

此里乃宇夫須那神止持崇久。掛卷毛畏支某皇神乎奉始。高靈神。閻靈
神。天水分神。國水分神。天久比奢母知神。國久比奢母知神。天津神千五
百萬。國津神千五百萬乃皇神等乃御前爾白久。此頃久久雨降受。日乃
累禮婆殖志田毛。蒔志島毛。淵美枯奈止爲賀故爾。百姓等憂左麻與
比。世武爲便不知仰。待天津水乎。大神等相宇豆能比給氏。高山乃末

短山乃末與利。雨雲立保備古里。光神鳴波多多伎氏。速雨頻爾令降氏。貯留端山乃池波堤爾湛閉。塞上氏麻加須流水波。田每爾滿氏。百姓乃作止作物波。五穀乎始氏。草乃片葉爾至萬氏。成幸閉給倍止。禱白須事乎。進留黑馬乃。耳彌高爾所聞食止。恐美恐美母白須。

祭風神祝詞

同上

掛卷毋畏支。志那津比古命志那津比賣命乃御前爾白久。志貴島爾大八島國所知食志。天皇乃大御夢爾諭賜志。神言乃隨意。天御柱命。國御柱命登。御名波稱氏。今年今月今日乎。生日乃足日止齋定。奉留風日祈乃幣帛波。篋笠乎始氏。由貴乃御食。御酒波甕閉高知。甕腹滿並氏。大野原爾生留物波。甘菜辛菜。青海原爾住物波。鯖廣物。鯖狹物。與津海菜邊津海菜爾至迄。如橫山打積置氏。奉留幣帛乎。安幣帛乃足幣帛止。皇神等乃御心爾。平久所聞食。百姓乃作登作留物波。五穀乎始。草乃片葉爾至迄。惡風荒水爾不令相給。與津御年乎。八束穗乃茂穗爾成幸。

幣給閉止。十六事物膝折。伏世。宇自物頸根突拔天。稱詞竟奉久止白。

除蝗祭祝詞

同上

此乃所乎伊豆能磐境登拂清。神籬立。招請坐奉留。御年神。大地主神乃御前爾白久。神代乃往昔大地主神。御田作志志時。田人爾牛。令食給比支。于時御年神乃御子。其田爾至。御饗爾唾。氏還座。父大神爾其狀乎告給伎。於是御年神怒座。其營田爾蝗乎放給比志加婆。苗葉忽爾枯損。籬竹成枯凋。故大地主神。片巫。肱巫乎志。占波志女給比志時。是波御年神乃崇。奈里。故白猪白馬白雞乎獻。其怒乎解給閉止。事教諭奉支。故其教乃隨乎申給。布時爾。御年神答給久。實爾吾御心奈利。故麻柄乎以。持爾作。其葉乎以。拂天。押草乎以。押。烏扇乎以。氏扇。仍不去波。溝口爾牛。尖乎置。男莖形乎作。蕙子。山椒。吳桃葉。及鹽乎添。其畔爾班置給閉止。言教給支。是爾大地主神。其教乃隨爾行給。志加婆。苗葉復茂。年穀豐稔。故此古事爾依。御年皇

神乃御前爾。絹布乎白猪。白馬。白雞。三種乃代爾。取易備奉氏。御祭仕奉留狀乎。平介久所聞食氏。蝗乃災乎拂比除伎。與津御年乎。八束穗乃茂穗爾成幸幣給閉止。鹿自物膝折伏。鵝自物頸根突拔。稱辭竟奉久止。白須。

奉祈養蠶幸祝詞

(阿夫利神社祝詞集)

懸介萬久母。文仁畏支。大山祇大神。大雷神。高靈神乃宇豆乃大前仁。四方八方仁慎美敬比。畏美畏美母白寸。何某我大神等乃高久貴支大御德乎。慕奉里乞願奉留。清伎赤支真心乎。神隨母憐之愛之斗。思行坐之天何某我產業止爲留養蠶乃業仁。神靈幸比賜比。春乃野乃綠彌益之。山乃端乃榮由留共仁。山縣仁生布留真桑乃萌初米。蠶子乃蠢動支出豆禮婆。持齋波里持清波里。蠶屋簪清米豆。伊豆乃真屋斗齋比定米天。麓草乎伊豆乃席斗取敷支。手弱女乃弱肩仁手繩取掛氣。真床取設介。泣子如須米具之愛志斗。朝暮仁養立都留初米與里。繭臥爲留仁至

留萬傳。荒伎雨風波更奈里。時候乃障相事無久。取飼反留桑波。天香具山乃桑止令在米家內相和支豆。已我乖々令成米受。手乃躓足乃躓令在米受。令養得米令育得米豆。取收牟留繭波。大海乃底乃真珠斗光美之。久八百日行久濱乃真砂乃數不知。橫山如寸令取得米賜反斗。祈祝伎請祈奉留事乃由乎。平介久所聞食諾比給比。豆夜乃守里日乃守里爾。守幸比賜反斗畏美畏美母白須。

祈牛馬病氣平癒祝詞

(祭文私稿)

掛卷久母畏伎。保食大神。大己貴大神。少彥名大神止御名波申之天。恐美恐美母拜美禱白左久。明津御神止大八洲國知食須天皇乃。遠御膳乃長御膳止。赤丹乃穗仁聞食須五穀物乎始天。顯志伎青人草乃食比天活久反伎。雜食物作良武助止。保食大神乃成志給比志牛馬乃。此頃佐波仁病臥世留波。如何那留神乃御心叙毛止。占相麻賀那波志牟禮杵毛。卜人乃卜仁毛出傳受。是乎以天。只管大神等仁祈禱白之天。奇久

妙奈留恩頼乎仰仗奉良牟止寸。阿波禮大神等。奇久妙奈留伊都乃御
靈乎幸給比天。一日片時毛速介久。牛馬乃夜米流禍和邪防除加之米
給反止。鹿自物膝折伏世。鵜自物頸根突拔天。恐美恐美母。祈願奉良久
止白須。

○漁獵、獸獵、商業等祈請祭

〔語例〕

姓名我家乃業刀繼氏來之漁獵仁。御靈幸給比。殊更仁海幸乎幸久授
介賜布。皇神乃御前仁白左久。海幸とは、海の幸福にて、多くの漁獵の利あるを
いふ、他は、前に説けり。

某等我家乃業刀。此乃浦和仁網子調、閉氏。たれそれが、家業として、この浦
和(浦)の廻りたる所に、網引く人々を呼ひ調へてとなり。

奥津波邊津波凌支。棹機乃及婆牟限。船舳乃至良牟極。伊漕支回里伊
往回良比海幸獲牟刀。沖邊の大波小波を凌ぎて、棹や櫂の及ばむ限り、船の舳の
至らむ極み、どこまでも漕ぎ回り往き回りて、海の幸福を獲むとてとなり。

此頃如何奈留故仁加。此浦仁諸魚等寄不來氏。この頃いかなる譯か、此
の浦に、魚類の寄り來ずなりてとなり。

海人子等我海幸得邪禮婆。憂比佐迷比津々有乎。漁人共が、漁獲なくて、
憂ひ迷ひてあるをとなり。

海津神乃崇里賜布事无久。惡風荒浪乃歎无久。海神の祟なく、惡き風や
荒浪のために、船出することを得ぬやうの歎きなくとなり。

鰭乃廣物。鰭乃狹物乎追氏。此浦仁魚取爲留海人子等乎守里幸閉給
比。聞えたるが如し。

海上平介久穩仁。乘里廻寸船乃猶豫事无久。前に、解けり。
置網乃網目漏左受。引網乃網手不緩。佐和佐和仁令引揚給閉。延へお
ける網の、網目より魚を漏らさず、海人が引く網の網を緩めず、打ちさわぎて、引くそ
の網を、ほどよく引き揚げしめ賜へとなり。

打垂留々鈎乃空志支事无久。引延布留網仁漏留々物无久。漁人が打
ち垂るゝ鈎の空しきことなく、また引延ふる網より、魚の漏るゝことなくとなり。

鰭乃廣物。鰭乃狹物乎。横山乃如久令得賜比。解前にあり。

其乃海幸毛。己我佐知々々幸得志米。漁獲の幸をもその各自に相應したるだけの幸を得しめ給へとなり。

朝夕登陀留乃烟打靡支。賑比立榮衣志米給閉。朝夕に、炊ぐ烟出しの烟の打ち靡きて、賑ひ立ち榮えしめ給へとなり。

年毎乃秋乃末與里。春乃始津方迄。陸近支海中仁柴垣立氏。毎年、秋の末より、春の始め頃迄、陸に近き海中に、柴垣立て、となり。海苔を採る設備なり。

海苔取留事乎之。營業乃助介刀爲寸隨仁。聞えたるが如し。沖津風甚久吹加世給波受。邊津浪高久立多世給波受。沖の風も、邊の浪も、強く高く立たしめ給はずとなり。

奧津藻邊津藻毛多仁。浪乃共打寄世來氏。沖の海藻邊の海藻も、多く浪の寄すると共に、寄せ來てとなり。

柴垣乃繁久。浪乃秀乃灼久。採獲志米給比氏。海中に、しわたせる柴垣の如く繁く、浪の穂の著しく見ゆるが如く多く、採りえしめ給へとなり。

氣候和順仁。香深久干志令得賜閉。氣候もほどよく、海苔の香深く芳はしく、乾し得しめ賜へとなり。

某大神乃。往昔與里吾地刀。主佩坐寸此山仁波。鹿甚多久氏。大神が昔より吾が所として、領しなざる此の山には、鹿が多く居てとなり。

戴在角波枯木乃末如志。聚閉留脚波若木原如志。噴介留息波朝霧似世里。鹿共の戴ける角の繁きことと冬枯の木枝の如く、その集へる脚の多きこと、小木の繁れる原の如く、その吹ける息は、朝霧の立つが如く、多數の鹿ありとなり。

山麓仁家居志氏。山幸得多留獵夫等波。山の麓に住みて、山獵の利をえたる獵師共はとなり。

奔火乃玉筒負比氏。朝仁異仁。伊行支狩禮杼母盡留事无久。奔火の玉筒即ち鐵砲を負ひて、毎朝山に行きて狩すれども、その獲物は盡ることなくとなり。

隨分利潤乎得津留毛。偏仁大神乃御恩頼那里。其の技の巧拙に隨ひて、利益を得たるも、皆大神の御恩なりとなり。

近支頃與里。鹿等何方閉加散禮失世氏。終日求介杼毛。其迹太仁見衣受。近頃から、鹿共は、何地に散り行きしか、終日求め探しても、其の足跡だに見えずとなり。

然許多有里志物乃。頓仁盡支奴可久波有良自。左様に、多くありし鹿が、俄祝詞作文便覽 語例作例の九 三五九

かに盡くるやうのことはあるまじとなり。

若大神等乃御心仁。不志己里給布事有里氏。隱志給閉留仁加刀。若大

神等の御心に怒り給ふことありて、數多ありつる鹿を隠し給へるかとなり。

獵夫等一同恐懼麻里。大前仁種々乃御饗乎奉里。聞えたるが如し。

往志日乃如山幸恁波受。多仁寄左志給閉。前の如くに、獸獵の利を遠へず、

多く授け下されとなり。

何々乃商業乎。家業刀。晝夜知良仁務米勤美。聞えたるが如し。

商業乎世渡爲刀爲氏。次々仁世乎經留事波。皇神乃恩頼仁奈毛有里

介留。聞えたるが如し。語解前に出づ。

故此度毛大御幸乎。乞祈奉良牟刀爲留狀乎。解前にあり。

諸乃禍事无久。速仁若干乃利益乎得志米給閉。諸の禍事なく、速に、そこ

はくの利益をえしめ給へとなり。

彌遠仁彌長仁。家仁毛身仁毛殃事无久。前に解けり。

親族乃人等異志支心乎持多志米受。惡志支行有良志米受。聞えたる

が如し。

清支赤支眞心以氏。世間乃便宜乎專刀志氏。世間の公益となるべき便宜

の事を專としてとなり。

貪留事无久。欺久事无久。僞留事无久。曲留事无久。聞えたるが如し。

彌勉仁勉米彌締仁締里氏。日々月々仁利益有良志米給閉。語の解前

にあり。

〔作例〕

祈海幸祝詞

（堀秀成祝詞文集）

懸卷者畏加禮杆。現御神止天下知看天皇命乃御食國乃中爾。東乃海
津道止定良衣太流。安房國浦々郷々乃良民乃。天津水止仰支古比乃
牟心乃緒呂乎中取持豆。云卷者畏支。大海津見神乃大前乎。遙爾拜美
敬比畏美畏美母稱言竟奉良久。此大神乃宮所者。浪路乃末乃味御路
乎經豆。遙爾曾支太留所。其往來者。比賣神乃海坂乎塞豆。長久絶太流
所。然爾波在杆母。其御靈者國々所々爾奉齋豆。磯乃前々海部乃浦々。

祝詞作文便覽 語例作例の九